TS-HTGL シリーズ
TS-RHTGL シリーズ

TeraStation

設定ガイド

※本書では、TeraStation PRO を TeraStation と表記しています。

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次のページへ続く に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・本書では原則として TeraStation PRO および TS-HTGL シリーズ、TS-RHTGL シリーズを TeraStation と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 はじめに

TeraStation を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

- **1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ポートを搭載し、LAN に接続された複数台のパソコン (Macintosh にも対応) からアクセスが可能です。※ 1000BASE-T は全二重のみの対応です。**
- **TeraStation の共有フォルダごとにアクセス制限が可能です。**
- **背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を 2 個搭載しています。**
  USB コネクタには、外付けハードディスクを増設して TeraStation の共有フォルダを増やすことができます。また、オムロン社製 USB 接続 UPS(対応製品のご確認は弊社ホームページおよびオムロン社ホームページにてご確認ください) を接続することもできます。
- **5 つのハードディスク使用モードで様々な用途に対応します。**

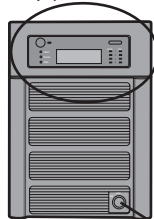
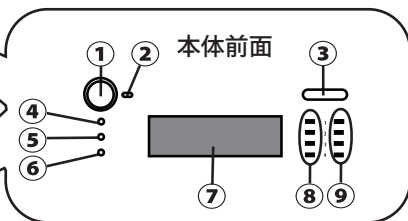
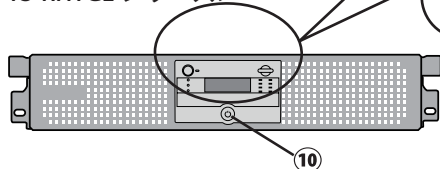
  RAID5 モード
  1 つのドライブとして認識、データをパリティとともに分散して記録し、データを保護します。ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。

  RAID10 モード
  1 つのドライブとして認識、ドライブ内でミラーリングして記録を保護します。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。

  RAID1 モード
  2 つのドライブとして認識、各ドライブ内でミラーリングして記録を保護します。ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。

  RAID0 モード
  すべてを 1 つのドライブとして認識、大容量データも余裕で記録できます。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。

  通常モード
  それぞれを 1 つのドライブとして認識、合計 4 つのドライブとして利用します。
- **大容量電源により安定した電源を供給します。UPS(無停電電源装置) と併用すれば、停電時でも安全にシャットダウンすることができます。**
- **筐体内部の温度を監視してファンの回転数を自動制御しています。**
- **RAID10/5/1 運用時に、RAID メンテナンス機能で定期的にハードディスクの診断、読み込みエラー (不良セクタ) の自動修復をすることができます。不良セクタが多い場合には、ハードディスクを交換するよう液晶に警告表示、メール通知で知らせることもできます。**
- **内蔵のハードディスクは簡易カートリッジ方式を採用し、本体前面から簡単に交換することができます。**

各部の名称

< TS-HTGL シリーズ>

※ TeraStation の前面および背面全体が通風孔となっています。

①電源スイッチ

電源 ON：電源スイッチを押します。

電源 OFF：電源スイッチを 3 秒間 (ピッと音がなるまで) 押し続けます。

②電源ランプ

TeraStation の電源が ON のときに緑色に点灯します。

③液晶表示切替スイッチ

液晶ディスプレイの表示を切り替えます。

④ LINK/ACT ランプ

ネットワークに接続されているときに、緑色に点灯 / 点滅します。

⑤ MESSAGE ランプ

現在の状態について伝えることがあるとき、橙色に点灯します。現在の状態については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

⑥ ERROR ランプ

エラーが発生したとき赤色に点灯します。エラーの内容については、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

⑦液晶ディスプレイ

TeraStation の状態などを表示します。【P103】

⑧ ACCESS ランプ

ハードディスクアクセス時に緑色に点灯します。

⑨ FAIL ランプ

ハードディスクに異常が発生したときに赤色に点灯します。

⑩ハードディスク取替用キーシリンダー

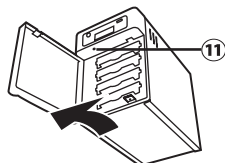
ハードディスクを交換するとき、および初期化スイッチを押すときに、付属の鍵で前面をあけることができます。

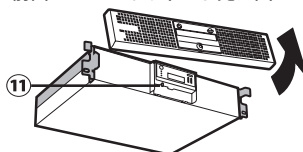
※前面のハードディスク取替用キーシリンダー、鍵は誤操作防止用です。盗難防止用には、「盗難防止用セキュリティスロット」をお使いください。

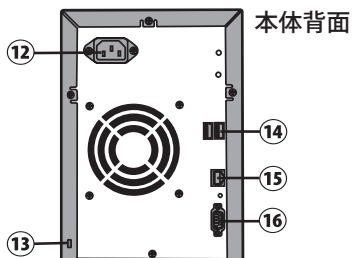
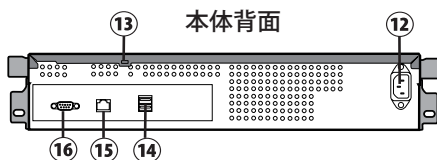
⑪初期化スイッチ

TeraStation 動作時 (電源ランプ点灯) に、ピッと音がするまで (約 5 秒間) 押し続けると、IP アドレスとパスワードが出荷時設定に変更されます。初期化スイッチでパスワードが初期化しないようにも設定することもできます。

< TS-HTGL シリーズ>

前面カバーをあけ下から見た図

< TS-RHTGL シリーズ>

前面カバーをあけ下から見た図

次のページへ続く

＜ TS-HTGL シリーズ＞

＜ TS-RHTGL シリーズ＞

⑫電源コネクタ

付属の AC ケーブルを接続します。

⑬盗難防止用セキュリティスロット

別売のセキュリティティアダプタワイヤケーブルで固定することができます。

⑭ USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A)

市販の USB 接続外付けハードディスク、USB 接続 UPS を TeraStation に増設できます。

※ハードディスク、UPS 以外の USB 機器 (USB プリンタ、USB ハブなど) の接続には対応しておりません。

⑮ LAN ポート

付属の LAN ケーブルを接続します。

⑯ UPS コネクタ

UPS(無停電電源装置) を接続できます。

制限事項

メモ **ここに記載の制限事項は、TeraStation のファームウェアが最新版であることを前提にしています。最新のファームウェアは、弊社ホームページからダウンロードすることができます。**

■ Mac OS 9 では、拡張子を含めてファイル名が日本語（全角文字）16 文字（半角英数の場合 32 文字）以上のファイルを、TeraStation への新規作成、コピーしても表示させることができません。

■ Macintosh からアクセスされた共有フォルダには、Macintosh 用の情報ファイルが自動生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますので削除はしないでください。

■ Macintosh ユーザや FTP ユーザに対してアクセス制限を設定するときは、ユーザ単位で行ってください。グループ単位で設定すると、アクセス制限した共有フォルダにアクセスできないことがあります。

■ Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS X（10.1.5 以前）を使用している場合、Macintosh では 2GB 以 上のファイルは表示されません。

■ Mac OS X で FTP を使用するとき、Mac OS 9 以前の Mac OS や Windows と日本語のファイル / フォルダの共有はできません。日本語ファイル / フォルダの共有をしたいときは FTP ではなく、afp を指定して接続（AppleTalk 接続）してください。

■ AppleTalk 接続で新規作成、コピーしたフォルダを FTP クライアントから削除できないことがあります（自動生成される「.AppleDouble」フォルダがドットで始まるフォルダ名のため）。

■ Mac OS X 10.2 ～ 10.3.9 から SMB 接続すると、Finder などでマウントされるボリューム名が文字化けすることがあります（ファイル名、データに問題はありません）。

■ Macintosh でネットワークインターフェースを複数取り付けている場合、NAS Navigator でネットワーク上の TeraStation/LinkStation を検出できないことがあります。このようなときは、有効なネットワークインターフェースが 1 つだけになるように設定を変更してください。

■ DFS（Distributed File System）機能は、Windows Vista/95/NT4.0、Mac OS には対応していません。使用しないでください。

■ Macintosh で TeraStation のファームウェアをアップデートすることはできません。アップデートする際は、Windows 搭載パソコンにて行ってください。

■ TeraStation は、AppleShareServer が指定するデフォルトゾーンに属します。ゾーンを指定することはできません。

■ Macintosh と Windows でデータを共有する場合、以下の文字では、文字化けは発生しませんが、コードが異なります。
—～∥－¢£¬

■ Mac OS 9 から以下の文字を含むファイル / フォルダをコピーすることは出来ません。

ゔヷヸヹヺ

■ Macintosh で作成したファイル名に下記の記号が含まれると、Windows からは OS の制限により正常に表示できません。また Mac OS X（10.2 以降）では、AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する時に下記の記号を使用すると、ファイルをコピーできません（または正常に表示できません）。
？［］／￥＝＋＜＞；：”，｜＊

■ 本製品に登録するユーザ名およびグループ名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。
< 登録できないユーザ名、グループ名 >
root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd、administrator

■ 本製品に登録する共有フォルダ名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。
< 登録できない共有フォルダ名 >
info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、global、printers、homes、lp、auth、test、ram、disk1、disk2、disk3、disk4

■ 共有フォルダ名、ワークグループ名およびファイル名に以下の文字を使用すると、TeraStation のデータにアクセスできない、ファイル操作が正常行えないことがあります。そのようなときは他の文字をお使いください。
< 登録できない文字一覧 >
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ㎜
㎝㎞㎎㎏㏄㎡№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻¦＇＂〝〟
∮∑∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴僘兊兤冝
冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝奣妤妺孖寀甯寘寬
尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰憘戓抦揵摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞
昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳橾櫢櫤毖氿汜沆汯泚洄涇浯
涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪
琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤礰礼神祥禔福禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽
茁荢荿菇菶葈蒴蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗
釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸
鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館馞驎髙髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊
訃躱鐓饐鷀

■ Windows 98SE/98/95、Mac OS（AppleTalk 接続時）では、OS の制限によって 2GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

■ Windows Me では、OS の制限によって 4GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

■ 全角文字（日本語など）のフォルダやファイル名を作成するときは、80 文字以内にしてください。80 文字を越える名前のフォルダやファイルは、コピー操作ができないことがあります。

■ TeraStation のフォルダやファイルに Windows 上から属性（隠し / 読取専用）を設定することはできません。TeraStation の共有フォルダに属性と設定したいときは、TeraStation の設定画面で行ってください。［共有フォルダ管理］-［共有フォルダ設定］で設定したい共有フォルダをクリックし、［共有フォルダ属性］から、「読取専用」「書込可能」「隠し共有（SMB のみ）」を選択することができます。

■ アクセス制限をかけて使用する場合、TeraStation に登録できるユーザ数は 300 名までです。

■ 共有フォルダ名とワークグループ名に漢字を使用すると、使用した文字によっては共有フォルダやワークグループが正常に表示されないことがあります。そのようなときは漢字以外の文字をお使いください。

■ TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでくだ さい。Mac OS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。

■ TeraStation へのファイルコピーは、ジャーナリングファイルシステムにより保護されますが、コピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了（LAN ケーブルが抜けた、停電など）すると次の現象が発生することがあります。
・設定したデータ（TeraStation の名称、ユーザ、グループ）が消えてしまうことがあります。
・「HDD エラー」と表示され、TeraStation にアクセスできなくなることがあります。その場合は、画面の指示に従って、「再起動（TeraStation）」「HDD 情報の再構成」「HDD のフォーマット」の処理を行ってください。
・不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。その場合は、TeraStation を再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。

■ TeraStation のハードディスクをフォーマットしても、設定画面での［HDD 使用率］および［HDD 使用量］は 0（ゼロ）にはなりません。これはシステム領域として使用しているためです。

■ Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードを TeraStation と同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、TeraStation のアクセス制限を設けた共有フォルダにアクセスできないことがあります。

■ TeraStation に搭載されている OS の仕様上、TeraStation 内ハードディスク、および接続した USB ハードディスクへ保存したファイルの日付情報は更新されることがあります（作成日時、更新アクセスなどの日付情報は保持されません）。

■ ハードディスクの容量をブラウザから確認したときと、Windows のドライブのプロパティから確認したときで値は大きく異なります。

■ Windows Me/98SE/98/95 では、OS の仕様によりファミリーログオン時にフォルダの共有ができません。ファミリーログオンではなく、Windows ネットワークログオンからログオンしてください。

■ TeraStation に出荷時設定されている admin アカウントにてアクセス制限が正常に動作しない場合があります。このようなときは、TeraStation に設定されている admin アカウントのパスワードを変更してください。

■ FTP クライアントソフトウェアでファイルやディレクトリの属性（読取 / 書込 / 実行など）を変更することはできません。

■ Jumbo Frame（4102/7422/9694bytes）を使用して、TeraStation にスイッチングハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。

■ FTP 接続でファイル、フォルダを作成する場合、ディレクトリパス名を含めて 250 文字を超えないようにしてください。250 文字を超えた場合、エクスプローラ等で読み出すことも削除することもできなくなります。

■ TeraStation 内蔵の時計は長期間使用すると時間がずれることがあります。ずれていたときは修正してください。また時刻は NTP 機能で自動的に修正することもできます。

■ ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合、TeraStation はネットワークに接続するだけで DHCP クライアントとして動作します。TeraNavigator を実行すると、使用されていない IP アドレスを自動的に TeraStation に割り当てます。ネットワーク内に DHCP サーバが存在しない環境で TeraNavigator を実行しないと、TeraStation は出荷時設定の固定 IP アドレス（192.168.11.150）で動作します。

■ TeraNavigator で自動設定できるのは 1 台につき 1 回までです。再度 TeraNavigator で自動設定したいときは、TeraStation の設定を初期化してから行ってください。

■ CyberTrio-NX がインストールされている PC98-NX シリーズでは、CyberTrio-NX をアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windows の設定が変更できないことがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

■「TeraStation の説明」は半角文字で 50 文字、全角文字で 16 文字を目安に入力してください。超えた文字は表示されないことがあります。

■ ハードディスクや UPS 以外の USB 機器（USB プリンタ、USB ハブ、CD/DVD ドライブ、MO ドライブ、フラッシュメモリ、カードリーダ、マウス、キーボードなど）を接続して使用することはできません。

■ ファイルの転送中に LinkStation の設定画面で設定を変更すると、ファイルの転送が中断されることがあります。

TeraStation の USB コネクタに関する制限事項

■ USB 機器のホットプラグ・アンプラグには非対応です。 USB ケーブルを抜き差しするときは、TeraStation の電源を OFF にしてから行ってく ださい。

■ TeraStation の USB コネクタに接続して使用できるハードディスクは 2 台までです。弊社製ハードディスク以外のハードディスクは対応しておりません(弊社製 DIU/DUB シリーズは非対応)。

※ AUTO 電源機能を搭載したハードディスクを TeraStation に接続しても認識できないことがあります。そのようなときは、「AUTO 電源機能切替スイッチ」を「MANUAL」に設定してください。

※ TeraStation に HD-DU2 シリーズを接続して使用すると、HD-DU2 シリーズのダイレクトコピー機能を使用できません。ダイレクトコピー機能を使用したいときは、HD-DU2 シリーズをパソコンに接続し、HD-DU2 シリーズ付属のフォーマッタでフォーマットしてください。

※バスパワーで電源を USB 接続外付けハードディスクに供給できるのは 1 台までです。ハードディスクによっては、バスパワーで使用できないこともあります。このようなときは、ハードディスクに AC アダプタを接続してお使いください。

■ USB コネクタに接続したハードディスクは、第 1 パーティション（領域）のみ認識されます。第 2 パーティション以降は認識できません。

バックアップに関する制限事項

■ TeraStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT16/32 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。

・共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。TeraStation のバックアップ先としてお使いください。

・FAT32 形式では 1 ファイル 4GB 以上のデータ（FAT16 形式では 2GB 以上のデータ）はバックアップできません（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります）。

・MacOS X で自動生成されたファイル（.DS_Store など）がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります）。

■ USB ハードディスク（FAT32 形式）に上書き差分バックアップした場合、差分がなくても上書きバックアップが実行されることがあります。これは FAT32 の仕様によるもので、ファイル作成日の秒数が奇数のファイルは、差分の有無にかかわらず毎回上書きバックアップされます。

■ Jumbo Frame をご利用いただいている方で、TeraStation/LinkStation のデータを他の TeraStation/LinkStation にバックアップするときは、2 つの TeraStation/LinkStation のイーサネットフレームサイズを最も近い値に設定してください。イーサネットフレームサイズが大きく異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。このようなときは初期設定のフレームサイズ（1518bytes）を選択してください。

■ TeraStation の Web 設定画面を用いてバックアップするとき、バックアップするファイル名やフォルダ名に 2 バイト文字が含まれると、出力されるログファイルのファイル・フォルダ名が正しく出力されないことがあります。

■ バックアップの設定後にフォーマットや RAID アレイの設定を変更したときは、必ずバックアップの設定も変更してください。バックアップ元の共有フォルダが存在しない場合、エラーが表示されます。

NT ドメインで管理するときの制限事項

■ NT ドメインへ TeraStation を参加させる際は、ドメインコントローラ上に事前にコンピュータアカウントを作成する必要があります。既にコンピュータアカウントが存在する場合は削除の後再作成、またはコンピュータアカウントをリセットする必要があります。

■ Macintosh からはドメインユーザの認証はできません。(※)
※ Mac OS X(10.3 以降) でドメインに参加して smb を指定して接続している場合を除く。

■ ドメインネットワークに参加している場合、TeraStation にドメインユーザアカウントを使用して、FTP 接続することはできません。

■ TeraStation の名称を変更すると、ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、ドメインコントローラのコンピュータアカウントを作成して、再度ネットワークに参加させてください。

■ TeraStation 設定画面のトップ画面に「ドメインコントローラによるアクセス認証は現在無効です」と表示される場合は、コンピュータアカウントをリセットして、再度ドメインに参加させてください。

■ Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、ドメインに登録されたグループ名ではアクセス制限を設定することができません。ドメインに登録されたユーザ名でアクセス制限を設定することはできます。ただし、「読取専用」に設定することはできません。

ActiveDirectory ドメインで管理するときの制限事項

■ ActiveDirectory ドメインへ TeraStation を参加させる場合は、必ず ActiveDirectory ドメインの名前解決を行うことができる DNS サーバを指定する必要があります。

■ ActiveDirectory ドメインの仕様のため、ActiveDirectory ドメイン参加時に必要な Administrator のパスワードは ActiveDirectory ドメイン構築後 1 度以上変更されている必要があります。Administrator のパスワードが変更されていない場合、ActiveDirectory ドメインへの参加は失敗します。

■ ActiveDirectory ドメインの DNS 名と NetBIOS 名が異なる環境はサポートしていません。

■ TeraStation とドメインコントローラとの時刻の差が約 5 分以上の場合、ドメインへの参加、又はドメインユーザ / グループの認証に失敗する場合があります。

認証サーバ連携で管理するときの制限事項

■ 認証サーバに登録されているアカウント情報を利用して Windows にログインし TeraStation へアクセスしていないと、TeraStation の共有フォルダ等へアクセスできません（アクセス制限することはできません）。

■ 認証連携機能を利用する場合、AFP 接続時にゲスト接続することはできません。

■ 認証連携機能を利用する場合、FTP 接続時に Anonymous 接続することはできません。

ドメインに関する全般的な制限事項

■ TeraStation を NT ドメインでネットワークに参加させるときは、あらかじめ NT ドメインコントローラに TeraStation の名称と同一名のコン ピュータアカウントを次の方法で登録しておく必要があります。Windows NT4.0 Server　サーバマネージャでコンピュータアカウントを登録します。Windows 2000 Server　サーバマネージャ (*) を使用してアカウントを登録してください。*[ファイル名を指定して実行] より [srvmgr.exe] を入力し [OK] をクリックすると起動します。

■ TeraStation の名称を変更すると、NT ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、NT ドメインコントローラのコンピュータ アカウントを作成して、再度ネットワークに参加させてください。ActiveDirectory ドメイン環境では、再度 ActiveDirectory ドメインへの参加を行ってください。

■ TeraStation 設定画面のトップ画面に「ドメインコントローラによるアクセス認証は現在無効です」と表示される場合は、コンピュータアカウントをリセットして、再度 NT ドメインに参加させてください。ActiveDirectory ドメイン環境では、再度 ActiveDirectory ドメインへの参加を行ってください。

■ ドメインユーザ名が 20 文字を超える場合、TeraStation は Windows 2000 以前のユーザ名（20 文字のユーザ名）を取得します。

■ 1000 名を超えるユーザ数 /1000 を超えるグループ数をドメインコントローラから取得することはできません。

■ TeraStation を NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインのメンバーサーバとして運用する場合、FTP サーバ機能はご利用できません。

■ TeraStation を NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインのメンバーサーバとして運用する場合、TeraStation へアクセスするためには下記条件を満たす必要があります。
・NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインにログインした状態で TeraStation にアクセスする
・NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインの メンバーではないパソコンからドメインにログインできるアカウント情報を利用して Windows にログインし TeraStation へアクセスする上記条件を満たさない場合、TeraStation の共有フォルダ等へアクセスできません（アクセス制限を設定していない共有フォルダもアクセスすることはできません）。

■ TeraStation を NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインのメンバーサーバとして運用する場合、AFP 接続時にゲスト接続することはできません。

■ TeraStation を NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインのメンバーサーバとして運用する場合、ローカルユーザ / ローカルグループを利用してアクセス制限を設定することができます（ワークグループ・ドメイン設定でローカルユーザ認証を許可するように設定する必要があります）。

■ ドメインコントローラ上でユーザやグループの設定を変更した際、TeraStation 上ですぐに変更が反映されない場合があります。ドメインコントローラ上の設定変更をすぐに反映させる必要のある場合は TeraStation を再起動してください。

■ TeraStation を NT ドメイン /ActiveDirectory ドメインのメンバーサーバとして運用している状態で、Web 設定画面の「ネットワーク」－「ワークグループ設定」の「ネットワーク参加方法」を「ワークグループ」に変更した場合、ドメインコントローラ上のコンピュータアカウントは自動的に削除されません。

2 セットアップ(基本編)

TeraStation のセットアップ手順を説明しています。

⚠注意 ・LAN ケーブル、電源ケーブルは TeraNavigator 画面の表示に従って接続します。TeraNavigator を起動する前に接続しないでください。

・TeraStation のセットアップは、Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server2003、Mac OS X 10.3 以降搭載パソコン 1 台から、TeraNavigator を実行することにより完了します。【別紙「TeraStation 導入マニュアル」】

メモ ・TeraNavigator は自動的に TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当て、[マイコンピュータ] の中にアイコンを追加します。

・ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合、TeraStation はネットワークに接続するだけで DHCP クライアントとして動作します。

・TeraNavigator を実行すると、使用されていない IP アドレスを自動的に TeraStation に割り当てます。DHCP サーバが存在しない環境で TeraNavigator を実行しないと、TeraStation は出荷時設定の固定 IP アドレス (192.168.11.150) で動作します。

・TeraNavigator で自動設定できるのは 1 台につき 1 回までです。再度 TeraNavigator で自動設定したいときは、TeraStation の設定を初期化してから行ってください。

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server2003 でのセットアップ手順

パソコンの電源スイッチを ON にする

付属のユーティリティ CD(CD-ROM) を CD-ROM ドライブにセットする

「TeraNavigator」が起動したら、画面の指示に従って操作する
【別紙「TeraStation 導入マニュアル」】

Mac OS X 10.3 以降でのセットアップ手順

Macintosh の電源スイッチを ON にする

付属のユーティリティ CD(CD-ROM) を CD-ROM ドライブにセットする

ユーティリティ CD 内の「TeraNavigator」アイコンをダブルクリックし、
画面の指示に従って操作する

Windows 95/NT4.0、～ Mac OS X 10.2.8 でのセットアップ手順

あらかじめ、Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server2003、Mac OS X10.3 以降搭載パソコンで付属のユーティリティ CD(TeraNavigator) より本製品のセットアップを済ませておいてください。【P14】

※ Windows 95/NT4.0、～ Mac OS X 10.2.8 では、TeraNavigator でセットアップすることができません。

パソコンをネットワークに接続します。
接続の手順は、パソコンおよびネットワークインターフェースのマニュアルを参照してください。

Windows 95/NT4.0：ネットワークドライブの割り当てを行います。【P24】
Mac OS：ネットワークドライブのマウントを行います。【P30】

NAS Navigator2 について

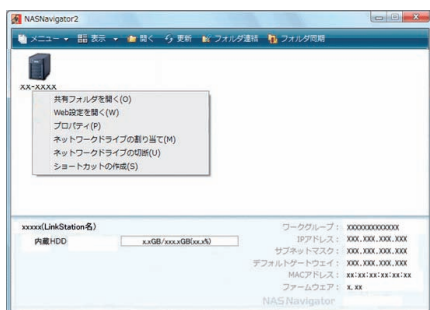
NAS Navigator2 を使えば、TeraStation の設定画面を表示したり、IP アドレスを変更したり、容量を簡単に知ることができます。

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server2003

TeraNavigator でセットアップすると、NAS Navigator2 がインストールされます。

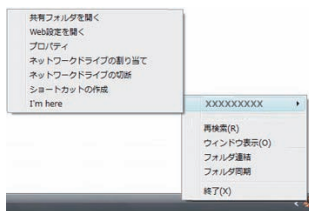
NAS Navigator2 は OS 起動時にタスクトレイに常駐します。

起動方法：［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator2］をクリックします。

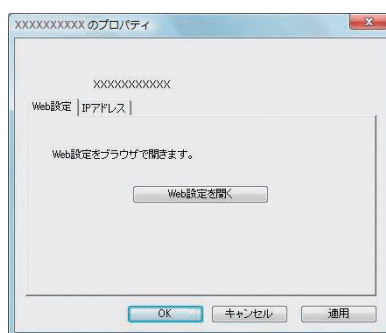
画面：

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

項目		機能
メニュー	ネットワークドライブの割り当て (※)	検索された TeraStation 共有フォルダをネットワークドライブに割り当てます。
	ネットワークドライブの切断 (※)	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
	すべての TeraStation/LinkStation のドライブの割り当て	検索された全ての TeraStation 共有フォルダをネットワークドライブに割り当てます。
	TeraStation/LinkStation のショートカットの作成 (※)	検索された TeraStation の共有フォルダ（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
	常に常駐する	OS 起動時に NAS Navigator2 をタスクトレイに常駐させます。
	プロパティ (※)	選択した TeraStation のプロパティ画面を開きます。
	閉じる	NAS Navigator2 の操作画面を閉じます。
表示	表示	[アイコン]：アイコンで簡単に表示します。 [詳細]：名前、製品名、ワークグループ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
	並び替え順序	複数 TeraStation が見つかったときの表示順序を次から選択します。 IP アドレス、ホスト名、製品名、ワークグループ、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
開く (※)		表示された TeraStation の共有フォルダを開きます。
更新		TeraStation を再検索します。
フォルダ連結		TeraStation の共有フォルダとパソコンのローカルドライブにあるフォルダを連結して表示するための設定を行います。
フォルダ同期		TeraStation の共有フォルダとパソコンのローカルドライブにあるフォルダを同期して表示するための設定を行います。
I'm here(※)		クリックすると TeraStation からメロディが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。

※ TeraStation のアイコンをクリックしないと表示されません。

NAS Navigator2 を最小化した場合、タスクトレイに常駐している NAS Navigator2 のアイコンから次の操作ができます。

メニュー項目		機能
TeraStation 名	共有フォルダを開く	TeraStation の共有フォルダを開きます。
	Web 設定を開く	選択した TeraStation の設定画面を表示します。
	プロパティ	選択した TeraStation のプロパティ画面を開きます。
	ネットワークドライブの割り当て	検索された TeraStation 共有フォルダをネットワークドライブに割り当てます。
	ネットワークドライブの切断	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
	ショートカットの作成	検索された TeraStation の共有フォルダ（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
	I'm here	TeraStation からメロディが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
表示	表示	[アイコン]：アイコンで簡単に表示します。 [詳細]：名前、製品名、ワークグループ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを表示します。
	並び替え順序	複数 TeraStation が見つかったときの表示順序を次から選択します。 IP アドレス、ホスト名、製品名、ワークグループ、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ
再検索		TeraStation を再検索します。
ウィンドウ表示		NAS Navigator2 の操作画面を表示します。
フォルダ連結		TeraStation の共有フォルダとパソコンのローカルドライブにあるフォルダを連結して表示するための設定を行います。
フォルダ同期		TeraStation の共有フォルダとパソコンのローカルドライブにあるフォルダを同期して表示するための設定を行います。
終了		NAS Navigator2 を終了します。

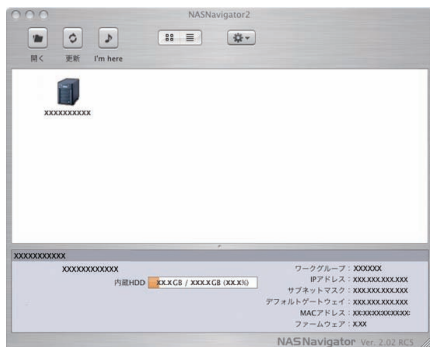
TeraStation のプロパティ画面では、次の操作ができます。

画面：

メニュー項目	機能
Web 設定	[Web 設定を開く] をクリックすると TeraStation の設定画面を表示します。
IP アドレス	[IP アドレスを自動的に取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバが無いときは、この機能は使用できません。 [IP アドレスを再取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから再度取得します。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で固定入力することもできます。

Mac OS X 10.3 以降

TeraNavigator で TeraStation をセットアップすると NAS Navigator2 がインストールされます。

起動方法：［NAS Navigator2］アイコンをダブルクリックすると NAS Navigator2 が起動します。

画面：

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

TeraStation のアイコンをクリックすると選択した TeraStation の IP アドレス、ワークグループ、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、全容量、使用容量が表示されます。

メニュー項目		機能
開く		TeraStation の共有フォルダを開きます。
更新		TeraStation を再検索します。
I'm Here		クリックすると TeraStation からメロディが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
TeraStation のアイコンの右クリックメニュー	共有フォルダを開く	TeraStation の共有フォルダを開きます。
	Web 設定を開く	選択した TeraStation の設定画面を表示します。
	機器設定画面を開く	web 設定を開くための画面や、IP アドレスを変更するための画面を表示します。
	I'm Here	クリックすると TeraStation からメロディが鳴ります (対応していない製品では選択できません)。
	カラーラベル	アイコンの下に表示される名称の色を選択できます。
	表示オプションを表示	アイコンサイズ、ラベルの位置、アイコンの並べる順序を設定できます。

ファイル共有セキュリティレベル変更ツールについて

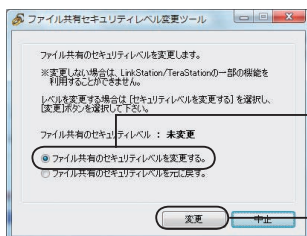
Windows Vista および Windows Server2003 で TeraStation にアクセス制限【P70】を設定するには、ファイル共有セキュリティレベル変更ツールで Windows のセキュリティレベルを変更する必要があります。セキュリティレベルの変更は、次の手順で行います。

※ Windows Vista および Windows Server2003 のみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか？」と表示されます。[はい] をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

1 [スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール] をクリックします。

ファイル共有セキュリティレベル変更ツールが起動します。

メモ 「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたときは、[続行] をクリックしてください。

2

① TeraStation にアクセス制限を設定するときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを変更する] を選択します。

② [変更] をクリックします。

3 「セキュリティレベルを変更します」と表示されたら、[はい] をクリックします。

4 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

パソコンが再起動します。

以上でセキュリティレベルの変更は完了です。

注意 アクセス制限を設定しないときは、次の手順で元に戻すことができます。

1.[スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール] をクリックします。
※「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。
2.「認証サーバ連携機能を利用したアクセス制限」を設定するときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを元に戻す] を選択します。
3.[変更] をクリックします。

以上で元に戻す設定は完了です。

3 セットアップ(応用編)

ネットワークドライブの割り当て、IP アドレス変更、TeraStation の複数台増設などを説明しています。

ネットワークドライブとして割り当てる(Windows)

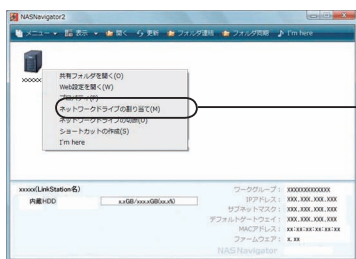
設定を行うパソコンでは、TeraNavigator を使用すれば自動的にネットワークドライブが割り当てられ、マイコンピュータの中に TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。
設定を行うパソコン以外で使用するには、以下の手順でネットワークドライブを割り当ててお使いください。

NAS Navigator2（Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98、Windows Server2003）

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98 では、付属の NAS Navigator2 を使って簡単に TeraStation の share フォルダをネットワークドライブとして割り当てることができます。

1 **［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator2］をクリックします。**

NAS Navigator2 が起動します。

2

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

TeraStation のアイコンを右クリックし、[ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。

3 **［コンピュータ (またはマイコンピュータ)］の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。**

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

Windows Vista

1 [スタート]-[ネットワーク] をクリックします。

2 TeraStation のアイコンをダブルクリックします。

3

4

5 [コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

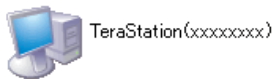
⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークドライブに再接続できませんでした」と表示されます。

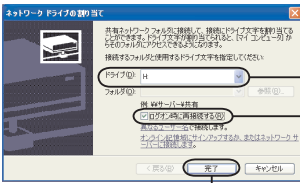
Windows XP

1 [スタート]-[マイ コンピュータ]をクリックします。

2

[マイ ネットワーク]をクリックします。

3 [TeraStation] アイコンをダブルクリックします。

メモ 上記のアイコンが無いときは、次の手順を行ってください。

1 [ワークグループのコンピュータを表示する] をクリックします。
2 [Microsoft Windows Network] アイコンをクリックします。
3 TeraStation があるワークグループ(例:WORKGROUP)のアイコンをクリックします。
※ワークグループの名称は TeraStation の設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。
4 [TeraStation] アイコンをダブルクリックし、手順 4 以降に従ってください。

4

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

5

① ドライブ名を選択します。

②[ログオン時に再接続する] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

6 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

Windows 2000、Windows Server2003

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

3 [ネットワークの全内容を表示することもできます。] をクリックします。

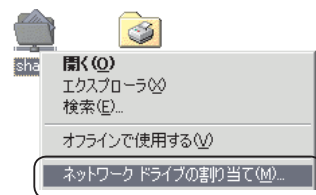
4 [Microsoft Windows Network] アイコンをダブルクリックします。

5 TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ　ワークグループ名称は TeraStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

6 [製品型番 xxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

7

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク　ドライブの割り当て] をクリックします。

8

①ドライブ名を選択します。

②[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

9 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意　パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「再接続するときにエラーが発生しました。(中略) この接続は復元されませんでした。」と表示されます。

Windows Me/98SE/98/95/NT4.0

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク (ネットワークコンピュータ)] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

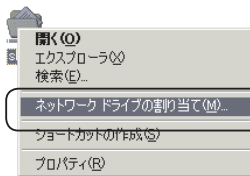
Windows Me をお使いの場合は、[このフォルダの内容をすべて表示する] をクリックしてください。

3 TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ ワークグループ名称は TeraStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

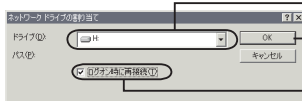
4 [製品型番 xxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

5

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

※画面は Windows Me の例です。

6

① ドライブ名を選択します。

②[OK] をクリックします。

※[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

7 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「接続中に次のエラーが発生しました。常設の接続は利用できません。」と表示されます。

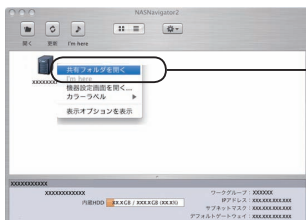
ネットワークドライブとしてマウントする (MacOS)

NAS Navigator2（Mac OS X 10.3 以降）

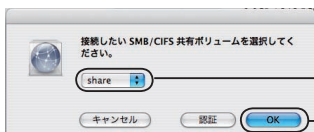
Mac OS X 10.3 以降では、付属の NAS Navigator2 を使って簡単に TeraStation の share フォルダをネットワークドライブとして割り当てることができます。

1 [NAS Navigator2］アイコン をダブルクリックします。

NAS Navigator2 が起動します。

2

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

TeraStation のアイコンを [control] ボタンを押しながらクリックし、[共有フォルダを開く] を選択します。

3

①マウントしたい共有フォルダ名を選択します。

②［OK］をクリックします。

4 マウントされるとデスクトップ画面に次のアイコンが表示されます。

メモ
- 表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。
- アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

以上でネットワークドライブの割り当ては完了です。

Mac OS X(10.3 ～)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、「TeraStation 導入マニュアル」を参照して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

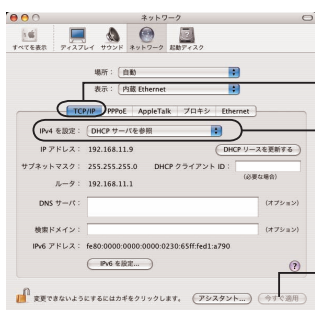
メモ 画面はMac OS X 10.3の例です。Mac OS 10.4以降をお使いの場合、一部画面が異なります。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3 [内蔵 Ethernet] を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 では、[Ethernet] を選択し、[詳細 ...] をクリックします。

4

① [TCP/IP] タブをクリックします。

② [DHCP サーバを参照](または [DHCP サーバを使用]) をクリックします。

③ [今すぐ適用](または [OK]) をクリックします。

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[IPv4 の設定 (または構成)] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

AFP 接続と SMB 接続の違いについて

以降の手順は、AFP 接続と SMB 接続で異なります。それぞれの特徴は以下のとおりです。

・こんなコンピュータ環境にお勧めです

SMB：Windows と Macintosh が混在する環境

AFP：Macintosh のみの環境

・使用可能文字

SMB： /、*、・、"、<、>、|、? などの Windows 使用禁止文字は禁止。
Macintosh 固有の文字 (アップルマークなど) が Windows で表示されない場合があります。

AFP： Windows 使用禁止文字も使用可能。

次のページへ続く

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合 (AFP 接続)

メモ Win/Mac 用共有フォルダ（どちらの OS でも見えるフォルダ）にアクセスする場合は、5a 以降の手順でも、5b 以降の手順でもどちらでもかまいません。

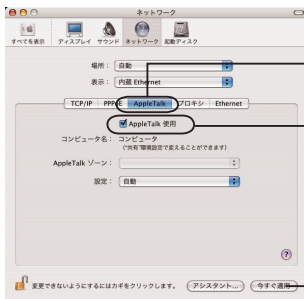
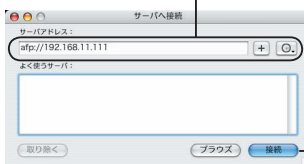
5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用](または [AppleTalk を有効にする]) をクリックします。

③ [今すぐ適用](または [OK]) をクリックします。

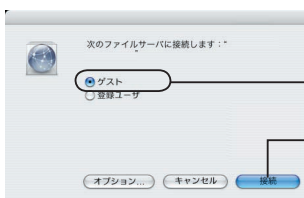
6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

① 「afp://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 afp://192.168.11.111)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

メモ マウントできないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。【P59】

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

9a TeraStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

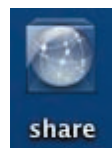
10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

TeraStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合 (SMB 接続)

5b ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6b

①「smb://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://192.168.11.111)

⚠注意 smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

7b TeraStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

8b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

9b マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.2 ～ 10.2.8)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、「TeraStation 導入マニュアル」を参照して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2

3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合 (AFP 接続)

メモ Win/Mac 用共有フォルダ（どちらの OS でも見えるフォルダ）にアクセスする場合は、5a 以降の手順でも、5b 以降の手順でもどちらでもかまいません。

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

① 「afp://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 afp://192.168.11.150)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

メモ マウントできないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。【P59】

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

次のページへ続く

9a

① TeraStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

10a

マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

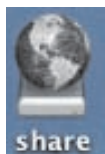
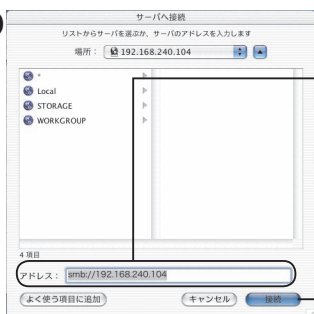
表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ　アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

TeraStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合 (SMB 接続)

5b

ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6b

①「smb://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://192.168.11.150)

⚠注意　smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

7b

① TeraStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

次のページへ続く

8b

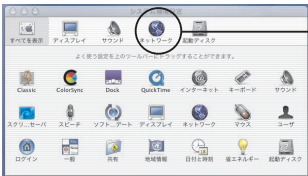
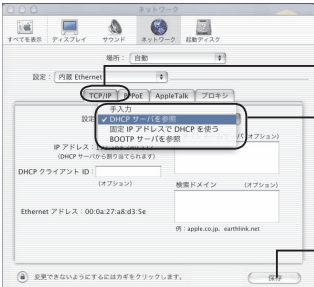
① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

9b

マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.0.4 ～ 10.1.5)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、「TeraStation 導入マニュアル」を参照して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 **アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。**

2

3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

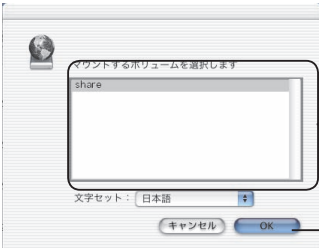
例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

5 ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6

メモ TeraStation の IP アドレスは、Windows 搭載パソコンでご確認ください。
マウントできないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。

7

メモ TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

8

9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

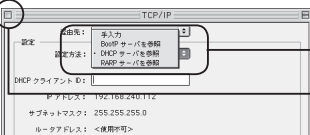
表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

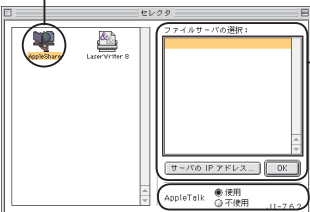
Mac OS 8.6 ～ 9.2.2

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、「TeraStation 導入マニュアル」を参照して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[AppleTalk] をクリックします。

2

メモ 「・・・保存しますか？」と表示されたときは、[保存] をクリックします。

3 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

4

メモ 「・・・保存しますか？」と表示されたときは、[保存] をクリックします。

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

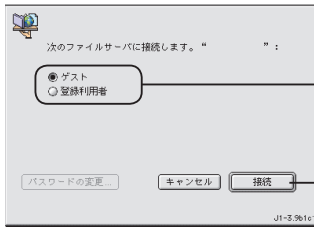
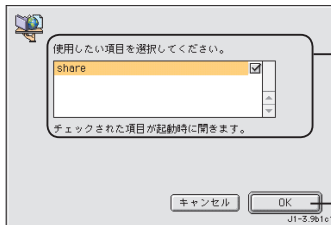
5 アップルメニューから [セレクタ] をクリックします。

6

メモ TeraStation 名は、「製品型番 xxx」と表示されます。下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

ドライブ名が表示されないときは、[サーバの IP アドレス] をクリックし、TeraStation の IP アドレスを入力してください。それでも表示されないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。

次のページへ続く

7

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、［登録利用者］を選択し、名前とパスワードを入力し、［接続］をクリックしてください。

8

メモ 共有フォルダの右にあるチェックボックスをクリックして、チェックマークを表示させておくと、次回 Macintosh を起動したときに、自動的に TeraStation の共有フォルダをマウントします。

9

マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

TeraStation の IP アドレスを変更する

TeraStation と他のネットワーク製品の IP アドレスが競合している場合、TeraStatin の IP アドレスを変更しないと使用できません。
TeraStation の IP アドレスの変更には、付属の NAS Navigator2 をお使いください。

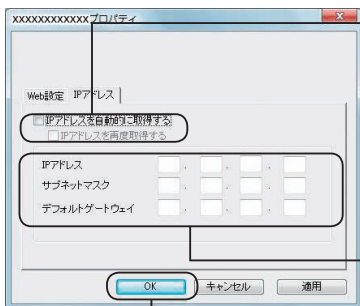
1 ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator2］をクリックします。

※ Mac OS をお使いの場合は、[NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。

NAS Navigator2 が起動します。

2 LinkStation のアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。表示された画面から [IP アドレス] をクリックします。

※ Mac OS をお使いの場合は、コントロールキーを押しながら LinkStation のアイコンをクリックし、[機器設定画面を開く]-[IP アドレス] タブをクリックします。

3

※ [IP アドレスを自動的に取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから再度自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバが無いときは、この機能は使用できません。
[IP アドレスを再取得する] にチェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから再度取得します。

変更したい IP アドレス、サブネットマスクを入力します。
※ Mac OS をお使いの場合は、[デフォルトゲートウェイ] の項目はありません。デフォルトゲートウェイは設定した Macintosh と同じアドレスとなります。

[OK] をクリックします。
※ Mac OS をお使いの場合は、[今すぐ適用] をクリックします。

以上で IP アドレスの変更は完了です。

2 台以上 TeraStation を増設する

付属のユーティリティ CD で、TeraNavigator を追加した TeraStation の台数と同じ回数実行してください。

⚠注意 ネットワーク内に DHCP サーバが存在しないときは、TeraNavigator を実行しないと TeraStation の IP アドレスが全て 192.168.11.150(出荷時設定) になっています。このままでは TeraStation 同士で IP アドレスが競合してしまい使用できません。TeraNavigator を TeraStation の台数と同じ回数実行するか、重複しないよう IP アドレスを変更してください。

ハードディスクの使用モードを変更する

出荷時設定では、使用モードは RAID5 モードとなっています。RAID10 モード、RAID1 モード、RAID0 モード、通常モードで使用したいときは次の手順でモードを変更してください。

⚠注意 ハードディスクの使用モードを変更すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更するまえに大切なデータがを失うこことがないよう必ずバックアップをとってください。

● RAID5 モード (出荷時設定)
4 台のハードディスクを 1 つのアレイとして使用します。パリティ (誤り訂正符号) を生成しながら書き込むのでアクセス速度は少し遅くなります。使用できる容量は 3 台分のハードディスクの容量となります。

ハードディスク 1 台が破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます (2 台以上故障したときは復旧できません)。また RAID 構築中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAYx Resyncing」と表示され、ファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

メモ 本書では、「復旧」とは、TeraStation 内の状態 (データを含む) を故障が発生する前に戻すことを表しています。故障したハードディスクからデータを読み出すことではありません。

● RAID10 モード
4 台のハードディスクを 1 つのアレイとして使用します。使用できる容量は、2 台分のハードディスクの容量となります。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。

同じデータを 2 個のハードディスクに同時に書き込んでいるので、ペア (1-2 または 3-4) を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます (1-2、または 3-4 両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。また RAID 構築中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示され、ファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

次のページへ続く

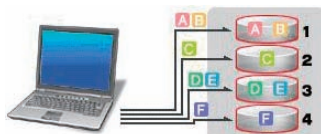
● RAID1 モード

アレイを 2 つ作成します。各アレイで 2 台のハードディスクを使用します。使用できる容量は、各アレイにハードディスク 1 台分の容量となります。同じデータを 2 台のハードディスクに同時に書き込んでいるのでペア (1-2 または 3-4) を構成する一方のハードディスクが破損してもハードディスクを交換すればデータを復旧できます (1-2、または 3-4 両方破損した場合はデータを復旧することはできません)。
また RAID 構築中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示され、ファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

● RAID0 モード

4 台のハードディスクを 1 つのアレイとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク 4 台分の容量となります。分散して書き込みを行うのでアクセス速度が少し速くなります。ハードディスクが破損した場合、データを復旧することはできません。

●通常モード

4 台のハードディスクを個々に 4 つのドライブとして使用します。使用できる容量は、ハードディスク 4 台分の容量となります。ハードディスクが破損した場合、破損したドライブのデータは復旧することはできません。

通常モードで使用する

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

3

RAID設定

名称	RAIDモード	構成ディスク
RAIDアレイ1	RAID5	ディスク1, 2, 3, 4
RAIDアレイ2	未設定	

設定したいアレイをクリックします。

4 [RAID アレイの削除] をクリックします。

メモ RAID 設定変更中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Creating」と表示されます。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

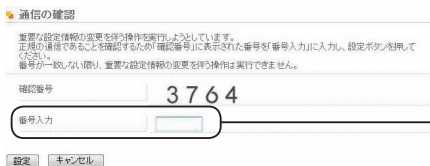
6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

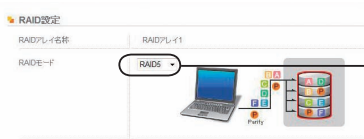
以上で通常モードの設定が完了しました。
続いて P55 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

誤操作によるトラブルを防ぐために (「通信の確認」画面)

下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画面が表示されます。

- RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除)
- TeraStation の初期化
- 共有フォルダの削除
- TeraStation の全ディスクの完全フォーマット

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

確認番号欄にランダムに表示された番号を正確に入力し、[設定] をクリックします。

通信の確認画面

RAID5 モードで使用する

TeraStation は出荷時に RAID5 モードに設定されています。他のモードを変更した後に RAID5 モードに戻すときは、次のように設定してください。

1 P41「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させせます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

3

設定したいアレイをクリックします。

4

① [RAID5] をクリックします。

② RAID5 で使用するハードディスク (4 つ全て) をクリックします。

③ [RAID アレイ設定] をクリックします。

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (容量が 1TB の場合、約 6 時間かかります) 低下します。前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示されているときは、電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上で RAID5 の設定が完了しました。
続いて P55 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

RAID10 モードで使用する

1 P41「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定]をクリックします。

3

4

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (容量が 1TB の場合、約 6 時間かかります) 低下します。前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示されているときは、電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

5 [通信の確認]画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定]をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上で RAID10 の設定が完了しました。
続いて P55 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

RAID1 モードで使用する

1 P41「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させせます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (容量が 1TB の場合、約 6 時間かかります) 低下します。前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示されているときは、電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上で RAID1 の設定が完了しました。
続いて P55 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

RAID0 モードで使用する

1 **P41「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。**

2 **[ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。**

5 **[通信の確認] 画面が表示されます。**

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

以上で RAID0 の設定が完了しました。
続いて P55 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

TeraStation にハードディスクを増設する

TeraStation には背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を 2 個装備しています。USB コネクタには弊社製ハードディスクを増設して、TeraStation の共有フォルダを追加することができます。

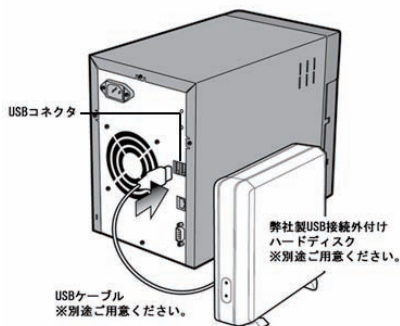
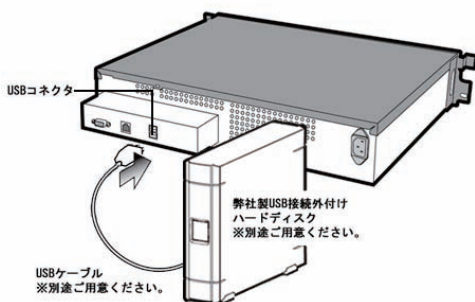
⚠注意 **・対応ハードディスク製品名は、弊社ホームページ (buffalo.jp) にてご確認ください。**

・制限事項【P10】を必ずお読みください。

ハードディスクを接続する

図のように接続をしてください。フォーマット済みのハードディスクであれば自動的に認識されます。未フォーマットの場合、P47 の手順でフォーマットしてください。

ハードディスクを取り付けるとき / 取り外すときは、必ず TeraStation の電源を OFF にしてください。電源スイッチを 2 秒間押し続けることで電源を OFF にできます。

メモ TeraStation に接続して使用できるハードディスクはの各 USB コネクタに 1 台 (合計 2 台) までです。

＜ TS-HTGL シリーズ＞　　＜ TS-RHTGL シリーズ＞

正常に接続できると [ネットワークコンピュータ] に [usbdisk1] が追加されています。

※ 下線部はハードディスクの増設台数によって異なります (1 ～ 2)。

⚠注意 **増設には弊社製 USB 接続外付けハードディスク (DUB/DIU シリーズは非対応です) などをお使いください。**

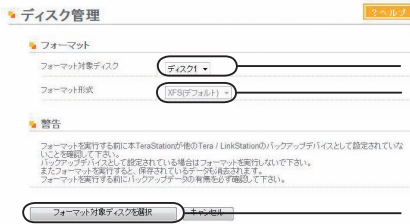
・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

増設したハードディスクをフォーマットする

TeraStation に接続したハードディスクは、次の手順でフォーマットできます。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理][フォーマット] をクリックします。

3

※フォーマット形式について
選択できるフォーマット形式は次の 3 つです。

フォーマット形式	利点	欠点
FAT32 ハードディスクをパソコンに接続しなおしてデータを確認したい場合におすすめします。	TeraStation が故障しても、Windows パソコンに接続して使用することができます。	・読取専用 (バックアップ時のみ書込可能)。 ・1 ファイル 4GB 以上のデータはコピー、バックアップできません。 ・「 : 」など Mac OS X で使用する一部の文字が使用できません。
EXT3 TeraStation/LinkStation に接続しなおして使用することがある場合におすすめします。	・読取 / 書込どちらもできます。 ・ジャーナリングファイルシステム対応。 ・LinkStation に接続しても使用可能。	・フォーマットに時間がかかります (数分～ 10 分)。 ・フォーマット後に使用できる容量が XFS に比べて少ない。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなるほどアクセスが遅くなります。 ※パソコンに直接接続しても読み出せません。
XFS 増設したハードディスクを TeraStation/LinkStation でしか使用しない場合におすすめします。	・読取 / 書込どちらもできます。 ・ジャーナリングファイルシステム対応。 ・フォーマット後に使用できる容量が EXT3 に比べて多い。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなってもアクセスが遅くならない。	TeraStation、LS-GL 以降の LinkStation シリーズ専用 (LS-GL シリーズより前の LinkStation で使用不可) ※パソコンに直接接続しても読み出せません。
NTFS TeraStation の設定画面ではフォーマットできません。読取専用です。	Windows Vista/XP/2000 に接続して使用することができます。	・読取専用 (バックアップ時も書込不可) ・TeraStation の仕様により、ファイル名フォルダ名に使用されている日本語 (2 バイト文字) は全て文字化けします。

⚠注意 **・フォーマットするとハードディスク内のデータが全て消去されます。**
・フォーマットするとハードディスクのパーティションも削除されます。

4 画面の情報・注意・警告をよく読み、[フォーマットを開始] をクリックします。

次のページへ続く

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

⚠注意 フォーマットが終了するまで共有フォルダの設定やファイル共有サービスなどの機能は使用できません (フォーマット完了後使用できます)。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

増設したハードディスクにアクセス制限をする

増設したハードディスクにもアクセス制限を設定することができます。P70 の手順でアクセス制限することができます。

メモ 共有フォルダが見えなくても、フォーマット、ディスクチェック、バックアップを増設したハードディスクに実行することはできます。

増設に 3 台以上ハードディスクを使用する

TeraStation に増設できるハードディスクは、各 USB ポートに 1 台 (合計 2 台) までです。付け替えることで 3 台以上のハードディスクを使用することができますが、その際は次の手順で一度 USB ディスクの割り当てを解除する必要があります。

1 **TeraStation の電源を OFF にし、使用しない USB ディスクを取り外します。**

※電源スイッチを 2 秒間押し続けることで電源を OFF にできます。

2 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

3 **[ディスク管理]-[USB ディスク設定] をクリックします。**

4

5 **[USB ディスクの割当て解除] をクリックします。**

6 **TeraStation に使用したい USB ディスクを取り付けます。**

自動的に USB ディスクとして割り当てられます。

以上で設定は完了です。

4 詳細設定(応用編)

TeraStation の設定手順を説明しています。
共有フォルダの作成、アクセス権限などを設定したいときに行ってください。

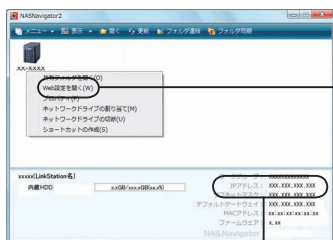
設定画面の表示方法

設定画面を表示するときは、次の手順で行います。

1 ［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator2］をクリックします。

※ Mac OS をお使いの場合は、[NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。

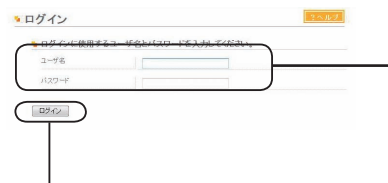
NAS Navigator2 が起動します。

2

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

TeraStation のアイコンを右クリックし、[Web 設定を開く] をクリックします。

※ Mac OS をお使いの場合は、コントロールキーを押しながら LinkStation のアイコンをクリックし、[機器設定画面を開く] を選択します。

※IP アドレスをメモしてください。

3

① ユーザ名、パスワードを入力します。
はじめて設定画面を表示するときは、パスワードは TeraNavigator で設定したパスワードにしてください。

② [OK] をクリックします。

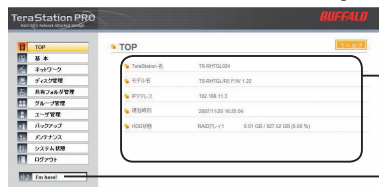
メモ はじめて設定画面を表示するときは、ユーザ名に admin、パスワードは初期設定で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

二度目以降の設定画面表示で、登録したユーザ名でログインするときは、任意のユーザ名、設定画面で登録したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ゲストとしてログインするときは、ユーザ名に guest、パスワード無しで [OK] をクリックします。

次のページへ続く

4 設定画面が表示されます。

⚠注意 ・ブラウザには Microsoft Internet Explorer6 以降をお使いください。
・ブラウザのプロキシが有効に設定されていると、設定画面が正常に表示できません。P111 を参照して無効にしてください。
・セキュリティ設定によっては設定画面が正常に表示されないことがあります。Internet Explorer のメニュー、[ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] のセキュリティレベルは [イントラネット] に設定してください。

TeraStation の現在の状態 (TeraStation 名、IP アドレス、ハードディスクの使用率、時刻) を表示しています。

クリックすると TeraStation からビープ音が鳴ります。

メモ 増設した Windows 搭載パソコンで設定画面を表示するときは

P50 の手順 2 でメモをした IP アドレスをお使いのブラウザのアドレス欄に入力して <Enter> キーを押してください。以降は P50 の手順 3 以降に従ってください。

詳細設定の項目

TeraStation の設定画面より、次の項目を設定できます。

メモ 各項目の詳細については、P134 をご参照ください。

●ゲストログイン時の設定項目

ユーザ名 guest、パスワード無しでログイン

TOP	TeraStation 名、IP アドレス、現在の時刻、HDD 状態を確認できます。

●ユーザログイン時の設定項目

設定画面で登録したユーザ名、パスワードでログイン

TOP	TeraStation 名、IP アドレス、現在の時刻、HDD 状態を確認できます。
ユーザ管理	ユーザの追加や設定、ユーザごとのパスワードを設定することができます。

●管理者ログイン時の設定項目

ユーザ名 admin、管理者用パスワード (出荷時設定では password) でログイン

TOP	TeraStation 名、IP アドレス、 現在の時刻、HDD 状態を確認できます。
基本	TeraStation 名称 / 説明、時刻、年月日、NTP、表示言語を設定できます。
ネットワーク	IP アドレス、イーサネットフレームサイズ、ワークグループ・ドメイン、ActiveDirectory、認証サーバを設定できます。
ディスク管理	RAID アレイ・USB ディスク設定、ディスクチェック、フォーマット、ディスク消去ができます。
共有フォルダ管理	共有フォルダの追加や設定、アクセス制限、共有サービス (AppleTalk 機能 /FTP 機能)、DFS を設定することができます。
グループ管理	グループの追加や設定、グループに参加するユーザを指定することができます。
ユーザ管理	ユーザの追加や設定、ユーザごとのパスワードを設定することができます。
バックアップ	バックアップタスクを設定することができます。
メンテナンス	メール通知設定、UPS 連動機能設定、警告音設定、表示パネル設定、シャットダウン、初期化、本体初期化スイッチ設定をすることができます。
システム状態	システム情報、USB 情報、RAID アレイ情報、ディスク情報、USB ディスク情報、ネットワーク情報、ユーザアクセス状態、ログ情報を確認することができます。

メモ 設定画面での入力文字数には、以下の制限があります。

TeraStation の名称 (※ 3)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
TeraStation の説明	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ワークグループ名 (※ 1)	半角英数 15 文字（全角 7 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
ドメイン名 (※ 1)	半角英数 15 文字（全角 7 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
ドメインコントローラ名 (※ 1)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダ名 (※ 1)	半角英数 12 文字（全角 6 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダの説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
グループ名 (※ 2)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
グループの説明 (※ 2)	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ名 (※ 3)	半角英数 20 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
ユーザの説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ (管理者含む) パスワード (※ 2)(※ 4)	半角英数 20 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、@、!、#、$、%、&、'、(、)、*、+、,、.、/、;(セミコロン)、<、>、=、?、[、]、^、{、}、|(パイプ)、~(チルダ)

※ 1 先頭文字に数字や記号を使用することはできません。
※ 2 先頭文字に記号 (アンダーバー除く) を使用することはできません。
※ 3 先頭文字に記号を使用することはできません。
※ 4 TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。MacOS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。

設定の手順例

設定の手順の例を説明します。

TeraStation の名称 (ホスト名)・時刻を設定する

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[基本] をクリックします。**

3

TeraStation 名称、時刻を入力します。

メモ **[設定中の PC から現在の時刻を取得] をクリックすると、入力欄にパソコンの時刻が入力されます。**

※ NTP サーバを指定すれば、自動的に時刻を修正することもできます。

4 **画面の一番下にある [設定] をクリックします。**

以上で TeraStation の名称、時刻の設定は完了です。

共有フォルダを追加する

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3 [共有フォルダの追加] をクリックします。

4

5 画面の一番下にある [設定] をクリックします。

以上で新しい共有フォルダの作成は完了です。

共有フォルダのデータを誤って消去しないために (ゴミ箱機能の使用)

上記設定画面で共有フォルダごとにゴミ箱機能の設定ができます (AppleTalk 接続および FTP 接続時は使用できません)。OS のゴミ箱と同じように、共有フォルダ内の削除されたデータは一時的にゴミ箱 [trashbox] フォルダに移動されます。削除したデータを元に戻したいときは、[trashbox] フォルダを開いてファイルを移動させてください。

※全ての共有フォルダのごみ箱内にあるのファイルを一括消去したいときは、共有フォルダ設定画面で、[全ての共有フォルダ内のゴミ箱を空にする] をクリックしてください。

共有フォルダを読み取り専用にしたいときは

共有フォルダ設定画面で共有フォルダの属性 [読取専用] を選択し [設定] をクリックすると、共有フォルダは読み取り専用になります。

※初期設定は [書込許可] に設定されています。

※読み取り専用属性に設定した共有フォルダは、アクセス制限で書き込み可能になっているユーザ、グループでもデータを書き込むことはできません (読み取り専用となります)。

※読み取り専用属性に設定した共有フォルダや、FAT/NTFS 形式の USB ハードディスクは、共有フォルダの説明に「(Read Only)」が追加されます。

次のページへ続く

存在を知っているユーザだけがアクセスできる共有フォルダを作るには

共有フォルダ設定画面で共有フォルダの属性［隠し共有］を選択し［設定］をクリックすると､設定した共有フォルダは見えなくなります。
※公開先 [MacOS(AFP)][FTP] のチェックボックスにチェックマークが表示されていると、[隠し共有] は選択できません。
※隠し共有にした共有フォルダを開くには、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、名前に　¥¥TeraStation 名 ¥共有フォルダ名 $¥　と入力してください。
　例：TeraStation 名 =TS-RHTGL001、共有フォルダ名 =share の場合、¥¥TS-RHTGL001¥share$¥　となります。

共有フォルダへのアクセスログを記録するには

共有フォルダ設定画面でファイル操作ログ［有効にする］を選択し［設定］をクリックすると､設定した共有フォルダへのファイル操作のログを記録します。
※記録した操作ログは、TeraStation の設定画面 [メンテナンス]-[ログ情報] で保存することができます。

ユーザを追加する

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ユーザ管理] をクリックします。

3 [ユーザの追加] をクリックします。

4

5 画面の一番下にある [設定] をクリックします。

以上でユーザの追加は完了です。

⚠注意 Windows のログイン時のユーザ名、パスワードと同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、アクセス制限を設定した共有フォルダにアクセスできません。

また、Windows Vista/XP/2000 では、ネットワークログイン名が異なっていた場合、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにアクセスはできません。必ずこちらで設定したユーザ名、パスワードで Windows のネットワークにログインしてください。

グループを追加する

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [グループ管理] をクリックします。

3 [グループの追加] をクリックします。

4

① グループ名、グループの説明を入力します。

② グループに参加するユーザを選択します。

③ [設定] をクリックします。

以上でグループの追加は完了です。

RAID メンテナンス機能を使用する

RAID メンテナンス機能とは、RAID1、5、10 を構築しているアレイに対して、問題なく読み取りできるか、不良セクタがないかをチェックし、問題があったときには自動的に修復する機能です。

RAID1、5、10 で TeraStation を使用しているときは、定期的に RAID メンテナンスを実行することをおすすめします。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

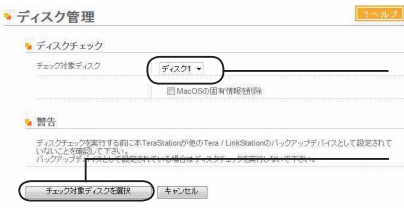
3

① [使用する] をクリックします。

② RAID メンテナンスを実行するスケジュールを選択します。

③［設定］をクリックします。

メモ
- ［今すぐ RAID メンテナンス機能を実行する］を選択した状態で [設定] をクリックすると、すぐに RAID メンテナンス機能が実行されます。
- RAID メンテナンス機能実行を中止したいときは、[RAID メンテナンス機能の中断] をクリックしてください。

以上で RAID メンテナンスは完了です。

TeraStation のハードディスクをチェックする

⚠注意 ・TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスク内のデータをチェックします。異常があったときには自動的に修復します。チェックには数十分間〜数十時間かかります。
・チェック中は TeraStation の共有フォルダを利用できません。
・チェック中は TeraStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

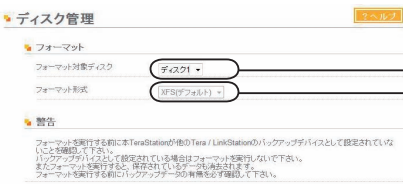
2 [ディスク管理]-[ディスクチェック] をクリックします。

3

メモ Mac OS から接続中に、停電など正常な手段で接続が解除できなかった場合、Mac OS が作成するデータベース等が破損し、接続できなくなることがあります。このようなときは、[Mac OS の固有情報を削除] を選択し、ディスクチェックを実行してください。

4 画面に表示された警告・注意をよく読み、[チェックを開始] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

チェック中は、TeraStation 前面の液晶ディスプレイに「Checking」と表示されます (USB コネクタに増設したハードディスクを除く)。チェックが終わるまで TeraStation の共有フォルダはアクセスできません。

以上でハードディスクのチェックは完了です。

TeraStation のハードディスクをフォーマットする

⚠注意
- TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクのデータ、共有フォルダに関する設定が全て消去されます。誤って実行しないようご注意ください。フォーマットには数分かかります。
- フォーマット中は TeraStation の共有フォルダを利用できません。
- フォーマット中は TeraStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[フォーマット] をクリックします。

3

4 画面に表示された警告・注意をよく読み、[フォーマットを開始] をクリックします。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

次のページへ続く

フォーマット中は、TeraStation 前面の液晶ディスプレイに「Formatting」と表示されます。フォーマットが終わるまで TeraStation の共有フォルダはアクセスできません。

USB コネクタに増設したハードディスクをフォーマットした場合、パーティションを作成しなおします。

メモ **フォーマットの所要時間はハードディスクの容量によって異なります (数秒〜数十秒)。**

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

⚠注意 **ハードディスク内のデータが完全に削除されていないために起こるデータの漏洩が心配な場合は、[ディスク管理]-[ディスク消去]-[ディスク消去を開始] をクリックしてください。**

メール通知機能を使用する

TeraStation の設定を変更したときや異常が発生したとき、指定のメールアドレスにメッセージを送信するよう設定することができます。

メモ **メール送信される内容は次のとおりです。**

・指定した時刻にハードディスクの状態を送信
・RAID 構成変更時のお知らせ
・ファンの異常発生時の連絡
・ハードディスク交換警告
・バックアップ完了のお知らせ
・RAID エラー発生時の連絡
・ハードディスクリードエラー

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[メンテナンス]-[メール通知設定] をクリックします。**

3

① [使用する] をクリックします。

② SMTP サーバアドレス、SMTP ポート番号を入力します。

メモ **pop before smtp を使用しているときは、POP3 サーバアドレス、POP3 ポート番号を入力します。**

③ ユーザ認証方式（使用しない /pop before smtp/login（SMTP-AUTH）/cram-md5（SMTP-AUTH））を選択します。

④ 認証で使用するユーザ名を入力します。

⑤ 認証で使用するパスワードを入力します。

メモ **パスワードに ’ (シングルクォーテーション) を使用することはできません。**

次のページへ続く

⑥ 保護された接続を使用する場合、その方式（SSL/TLS）を選択します。

⑦ 通知メールの件名を入力します。[デフォルトに戻す] をクリックすると件名は「TeraStation Status Report」となります。
⚠注意 半角英数字にしてください。それ以外では文字化けすることがあります。

⑧ 送信先メールアドレスを入力します。最大 5 つのアドレスまで送信できます。
⚠注意 誤ったメールアドレスを入力しないようご注意ください。

⑨ 送信条件設定を選択します。

HDD 状態定期報告 .... ハードディスク状態を定期的に送信します。
ディスクに異常が発生した時 .... ディスクに異常が発生したときに送信します。
ファンに異常が発生した時 .... ファンに異常が発生したときに送信します。
バックアップが完了した時 .... バックアップが完了したときに送信します。

⑩ 送信する時刻を設定します。

⑪ [設定] をクリックします。

以上でメール通知機能の設定は完了です。

UPS(無停電電源装置) と併用する

別途UPSを用意することで、停電時にTeraStationを自動でシャットダウンしデータを保護できます。UPS と併用するときは、必ず以下の設定をおこなってください。

⚠注意 対応 UPS 製品名は、弊社ホームページ (buffalo.jp) にてご確認ください。

1 UPS の電源ケーブルをコンセントに接続します。

2 UPS と TeraStation を AC ケーブルで接続します。

3 UPS を TeraStation 背面の UPS コネクタまたは USB コネクタに接続します。

4 UPS → TeraStation の順に電源を ON にします。

5 P50 の手順で設定画面を表示します。

6 [メンテナンス]-[UPS 連動機能設定] をクリックします。

7

以上で UPS の設定は完了です。

⚠注意 停電など電源異常発生により TeraStation が自動シャットダウンした後に TeraStation の電源を ON にするときは、必ず電源異常が復旧したことを確認してから行ってください。復旧せずに UPS のバッテリで動作している状態のまま TeraStation の電源を ON にすると、指定時間経過しても自動シャットダウンしません。

警告音を設定する

TeraStation に異常があった際に警告音を鳴らすこともできます。

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[メンテナンス]-[警告音設定] をクリックします。**

3

①警告音を鳴らす事項を温度超過、ディスク異常、ファン異常、UPS 停電検知から選択します。

② [設定] をクリックします。

以上で警告音の設定は完了です。

表示パネルを設定する

TeraStation に前面の液晶ディスプレイ、ランプの表示について設定します。

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[メンテナンス]-[表示パネル設定] をクリックします。**

3

① LCD(表示項目、表示自動切替、バックライト)、LED（輝度、輝度時刻連動）を設定します。

② [設定] をクリックします。

以上で表示パネルの設定は完了です。

TeraStation の管理者パスワードを変更する

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ユーザ管理] をクリックします。

3

4

以上で管理者パスワードの設定は完了です。

バックアップする

パソコンのデータをバックアップする (Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98)

パソコンのデータを TeraStation にバックアップするときは、付属の「簡単バックアップ」を使います。簡単バックアップは、付属のユーティリティ CD(TeraNavigator) からインストールすることができます。

使いかたについてはインストール後に、[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[簡単バックアップ]-[簡単バックアップ マニュアル] をご参照ください。

TeraStation のデータをバックアップする

TeraStation の設定画面で、TeraStation の共有フォルダ単位でバックアップを行うことができます。バックアップ先には、次の 3 つのいずれかを選ぶことができます。

・他の TeraStation　(P67、68、69 の手順にしたがって設定してください)

・同じ TeraStation の別フォルダ　(P67、69 の手順にしたがって設定してください)

・TeraStation に接続した USB ハードディスク　(P69 の手順にしたがって設定してください)

●バックアップ先を設定する

バックアップを行う前に、バックアップ先のフォルダを設定する必要があります。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3

バックアップ先にしたい共有フォルダをクリックします。

4

[バックアップ] をクリックしチェックマークを表示させます。

※ ネットワーク経由で他の TeraStation からのバックアップ先にするときは、パスワードを設定することもできます。パスワードを設定したくないときは何も入力しないでください。

5 画面の一番下にある [設定] をクリックします。

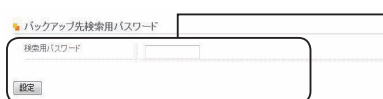
次のページへ続く

●他の TeraStation をバックアップ先にするときの設定

バックアップ公開用 (検索用) パスワードを設定している場合

バックアップ先の共有フォルダにパスワードを設定している場合、パスワードを入力しないとバックアップ先として選択することはできません。バックアップを行う前に次の手順でパスードを入力してください。

1 [バックアップ]-[バックアップ設定] をクリックします。

※ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2 バックアップ先 TeraStation 共有フォルダに設定したバックアップ公開用パスワードを入力します。

検索時に見つかるバックアップ先フォルダは、パスワードが未設定のフォルダと、認証パスワードが一致したフォルダです。

ルータを越えた TeraStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation にバックアップしたい場合

ルータを越えた TeraStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation にバックアップするときは、バックアップを行う前に次の手順で TeraStation の IP アドレスを入力してください。

1 [バックアップ]-[検索対象アドレス] をクリックします。

※ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2 バックアップ先の TeraStation の IP アドレスを入力し、[検索対象の追加] をクリックします。

メモ [バックアップ]-[TeraStation 一覧] では、ネットワークにある TeraStation の一覧が表示されます。

以下の条件の方は上記の設定は必要ありません。P69 の手順でバックアップを行ってください。

- バックアップ先に他の TeraStation を使用しない
- バックアップ先の TeraStation に検索バックアップ公開用パスワードを設定していない
- バックアップ先にルータを越えた TeraStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation を使用しない

注意 ・TeraStation のデータを他の TeraStation にバックアップするときは、2 つの TeraStation のイーサネットフレームサイズを同じ値に設定してください。【P94】イーサネットフレームサイズが異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。

次のページへ続く

●バックアップを設定する

1 [バックアップ][バックアップ設定] をクリックします。

メモ ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2

バックアップ設定

タスク番号	スケジュール	状態
タスク1		登録されていません
タスク2		登録されていません
タスク3		登録されていません
タスク4		登録されていません
タスク5		登録されていません
タスク6		登録されていません
タスク7		登録されていません
タスク8		登録されていません

バックアップ先検索用パスワード

検索用パスワード

設定

設定するタスクをクリックします。

メモ バックアップの設定は最大 8 個まで設定できます。ここでは個々の設定をタスクと案内しています。

3

バックアップ元とバックアップ先フォルダを選択し、[バックアップ対象の追加] をクリックします。

⚠注意
- バックアップ元フォルダには第二階層のフォルダまで登録できます。ただし、共有フォルダ名を含め、80 文字以上のフォルダは選択できません。
- バックアップ先デバイスあらかじめ P67 の手順でバックアップ先として設定していないと選択することはできません。
- TeraStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT32/16 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。P47 の手順で XFS 形式または EXT3 形式でフォーマットすることをおすすめします。

  共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。TeraStation のバックアップ先としてお使いください。

  1 ファイル 2GB 以上 (FAT16)、4GB 以上 (FAT32) のデータはバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

  MacOS X で自動作成されたファイル (.DS_Store など）がある場合は、ファイル名に FAT16/32 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります）。

4

バックアップ設定項目 (実行日、実行時刻など) を選択し、[設定] をクリックします。

アクセス制限を設定する

TeraStation は、共有フォルダごとにアクセスできるユーザやグループを設定できます。大切なデータを公開したくないときなどに設定ください。アクセス制限する方法には、次の３つがあります。

● **TeraStation に手動で登録したユーザにアクセス制限**

P71 の手順にしたがって設定してください。

● **NT ドメインログオン環境でのアクセス制限**

P72 の手順にしたがって設定してください。
※ここでは Windows NT4.0 ドメイン環境をお使いの場合の手順を記載しています。

● **ActiveDirectory 環境でのアクセス制限**

P73 の手順にしたがって設定してください。

※ここでは Windows 2000 Server/Server 2003 で Active Directory をお使いの場合の手順を記載しています。

※セキュリティ設定によっては、ドメインで参加できない、参加できても認証できないことがあります。このようなときは、「認証サーバ連携を利用したアクセス制限」を行うことをおすすめします。

●**外部の SMB サーバに認証を委任してアクセス制限**

P74 の手順にしたがって設定してください。

TeraStation に手動で登録したユーザ / グループにアクセス制限

TeraStation は、共有フォルダごとにアクセスできるユーザやグループを設定できます。大切なデータを公開したくないときなどに設定ください。

1 **P56、57 の手順で TeraStation にユーザ、グループを登録します。**

※ Windows をお使いの場合、登録するユーザ名 / パスワードは、Windows のユーザーアカウント / パスワードと同じものにしてください。Windows のユーザーアカウント / パスワードは、コントロールパネルの [ユーザーアカウント] から作成することができます。

2 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

3 **[共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。**

4

アクセス制限を設定したい共有フォルダをクリックします。

5

① [使用する] をクリックします。

②グループを選択し、[←] をクリックして読取専用または読取 / 書込可能にグループを移動します。

ユーザを選択し、[←] をクリックして読取専用または読取 / 書込可能にユーザを移動します。

③ [設定] をクリックします。

以上でアクセス制限の設定は完了です。

メモ
- Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、ドメインに登録されたユーザ名でアクセス制限を設定することができます。ただし、「読取専用」に設定することはできません。
- 特定のユーザに読取専用と書込可能が重複した場合は、読取専用となります。

NT ドメインログオン環境でのアクセス制限

TeraStation をドメインでネットワークに参加させるときは、次の手順で行います。

メモ ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、Microsoft ネットワークドメインについて、ある程度精通している必要があります。

1 ドメインコントローラ上で TeraStation のコンピュータアカウントを作成します。

※「Windows 2000 以前のコンピュータにこのアカウントを許可」のチェックボックスがある場合は、チェックを入れてください。

2 P50 の手順で設定画面を表示します。

3 [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。

4

注意
- TeraStation の名称を変更すると、ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、上記の手順を再度行ってください。
- セキュリティ設定によっては、ドメインで参加できない、参加できても認証できないことがあります。このようなときは認証サーバ連携での管理を行うことをおすすめします。
- NT ドメインでネットワークに参加するように設定すると、自動的に FTP 機能は [使用しない] に設定されます。FTP 機能は使用できません。

メモ
- NT ドメインでネットワークに参加しているときは、ユーザ管理画面に [ドメインユーザ一覧] が追加表示されます。
- 取得したドメインユーザで共有フォルダのアクセス制限をすることができます。

以上で設定は完了です。

ActiveDirectory 環境でのアクセス制限

TeraStation を ActiveDirectory ドメインでネットワークに参加させるときは、次の手順で行います。

メモ ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、Microsoft ネットワークドメインについて、ある程度精通している必要があります。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。

3

① [ActiveDirectory ドメイン] を選択します。

② ActiveDirectory ドメイン名 (NetBIOS) を入力します。

③ ActiveDirectory ドメイン名 (DNS 名) を入力します。

④ ActiveDirectory コントローラ名 (コンピュータ名) を入力します。

⑤ Administrator 名を入力します。

⑥ Administrator パスワードを入力します。

⑦ WINS サーバアドレスを入力します。

⑧ ActiveDirectory ドメインに加えてローカルユーザもアクセスを許可したいときは、[許可する] を選択します。

⑨ [設定] をクリックします。

注意
- TeraStation の名称を変更すると、ActiveDirectory ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、上記の手順を再度行ってください。
- セキュリティ設定によっては、ActiveDirectory ドメインで 参加できない、参加できても認証できないことがあります。このようなときは認証サーバ連携での管理を行うことをおすすめします。
- ActiveDirectory ドメインでネットワークに参加するように設定すると、自動的に FTP 機能は [使用しない] に設定されます。FTP 機能は使用できません。

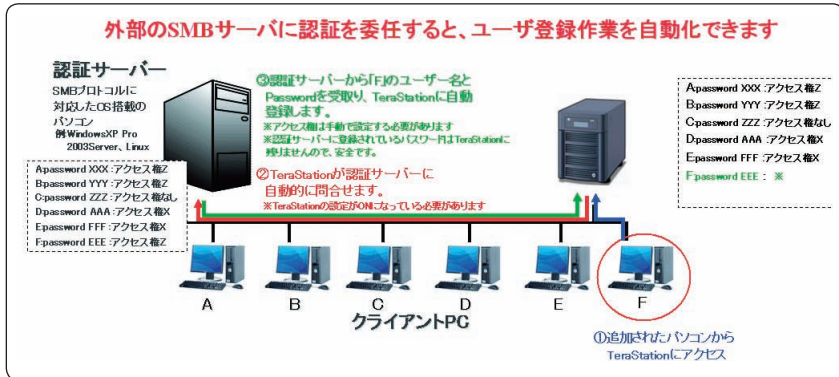
メモ
- ActiveDirectory ドメインでネットワークに参加しているときは、ユーザ管理画面に [ドメインユーザー覧] が追加表示されます。
- 取得したドメインユーザ / ドメイングループで共有フォルダのアクセス制限をすることができます。

以上で設定は完了です。

外部の SMB サーバに認証を委任してアクセス制限

TeraStation にアクセスするユーザのアカウントとパスワードを認証サーバと連携して一括管理してアクセス許可をしたいときは、次の手順で行います。

メモ　ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、Micorosoft ネットワークについて、ある程度精通している必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。

サーバ認証の概念解説　※イラストは TS-HTGL シリーズの例です。

注意　Windows Vista、Windows Server2003 をお使いの方へ

アクセス制限を設定するときは、Windows Vista および Windows Server2003 のセキュリティを変更する必要があります。

[スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール] で「ファイル共有のセキュリティレベルを変更する」を選択すると変更することができます (元に戻すときは、「元に戻す」を選択します)。

※「ファイル共有セキュリティレベル変更ツール」は、付属の CD で Windows Vista、Windows Server2003 にのみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか？」と表示されます。[はい] をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

1　P50 の手順で設定画面を表示します。

2　TeraStation 設定画面で [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。

3

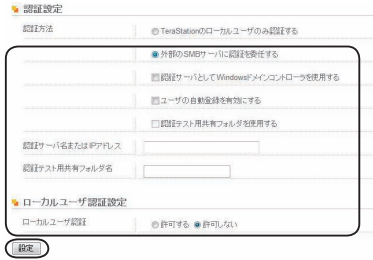
① [ワークグループ] を選択します。

メモ　ドメイン環境で使用する場合でも、[ワークグループ] を選択します。

② ワークグループ名を入力します。

メモ　Windows ドメインコントローラを外部 SMB 認証サーバとして指定する場合は、本製品のワークグループ名を Windows ドメインコントローラのドメイン名と一致させる必要があります。

次のページへ続く

4

① ［外部の SMB サーバに認証を委任する］を選択します。
② ［認証サーバとして Windows ドメインコントローラを使用する］、［ユーザの自動登録を有効にする］、［認証テスト用共有フォルダを使用する］をクリックし、チェックマークを表示させせます。
③認証サーバ名、または IP アドレスを入力します。
※ AppleTalk 接続や FTP 接続時は IP アドレスで指定してください。サーバ名では認証できないことがあります。
④認証テスト用の共有フォルダ名を入力します。
⑤外部認証ユーザに加えてローカルユーザもアクセスを許可したいときは、[許可する] を選択します。
⑥ ［設定］をクリックします。

メモ　Windows ドメインコントローラを外部 SMB 認証サーバとして指定する場合は、本製品のワークグループ名を Windows ドメインコントローラのドメイン名と一致させる必要があります。

5 TeraStation に認証テスト用共有フォルダが作成されています。

指定した認証サーバに登録されたユーザが、認証用共有フォルダを開くと自動的に TeraStation のユーザとして登録されます (直接ユーザ登録することもできます)。

メモ

- 自動登録されたユーザは「hdusers」グループに所属します。また、グループ設定から任意のグループへ所属させることができます。
- 取得したユーザ名で共有フォルダのアクセス制限をすることができます。
- 登録されたユーザ名は、［ユーザ管理］－［外部認証ユーザ一覧］に一覧表示されています。ユーザを選択し、［外部認証ユーザの削除］をクリックすると、自動登録されたユーザを削除することができます。
- AppleTalk 接続や FTP 接続時は IP アドレスで指定してください。サーバ名では認証できないことがあります。
- 別セグメント（ルータ越えのネットワークなど）のサーバを指定する際は IP アドレスを入力してください。
- AppleTalk 接続、FTP 接続では、認証サーバ連携でユーザ情報を取得することはできません。
- 設定を認証サーバ連携機能に変更すると、ローカルで登録したユーザもすべて外部認証ユーザに変更されます。

以上で認証サーバ連携の設定は完了です。

FTP サーバ機能を使用する

TeraStation を FTP サーバとして使用したいときは、次の手順で行います。

メモ **FTP サーバ機能は、既に FTP クライアントソフトウェアを持っていて、FTP サーバを利用したことがある方を対象にしています。通常は FTP サーバ機能を使用する必要はありません。**

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[共有フォルダ管理]-[共有サービス設定] をクリックします。**

3

① [使用する] をクリックします。

② [設定] をクリックします。

4 **[共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。**

5

公開する共有フォルダをクリックします。

6

① [FTP] をクリックします。

②読取専用にするかどうか選択します。

7 **画面の一番下にある [設定] をクリックします。**

以上で FTP サーバ機能の設定は完了です。

次のページへ続く

FTP クライアントソフトウェアで TeraStation にアクセスするには

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .

・ホスト名　TeraStation の IP アドレス (P50)
・ユーザ名　TeraStation に登録しているユーザ名 (P56)
・パスワード TeraStation に登録しているパスワード (P56)
・ポート　21

例　ftp://192.168.11.150/

※FTP クライアントソフトウェアの使いかたについてはソフトウェアのヘルプを参照ください。

※ TeraStation の設定で共有フォルダ、USB ハードディスクが読取専用になっていた場合、FTP でも書き込むことはできません。

※ TeraStation の共有フォルダ、USB ハードディスクにアクセス制限が設定されている場合、設定に従いアクセスが制限されます (アクセス権がないユーザからは表示されません)。

※ドメインネットワークに参加している場合、ドメインユーザアカウントを使用して TeraStation に FTP 接続することはできません。

※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

※FTP で接続したとき共有フォルダは以下のように見えます。

RAID0・RAID5・RAID1 構成時

```
/┬ array1―share
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 └info
```

RAID1(アレイ 2 個) 構成時

```
/┬ array1― share
 ├array2―共有フォルダ
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 └info
```

通常モード構成時

```
/┬ disk1―share
 ├disk2―共有フォルダ
 ├disk3―共有フォルダ
 ├disk4―共有フォルダ
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 └info
```

・RAID アレイ 1 は array1、RAID アレイ 2 は array2、TeraStation 内蔵ハードディスクは disk1 ～ 4、USB ハードディスクは usbdisk1 ～ 2 と表示されます。

・usbdisk1 ～ 2 は、USB ハードディスクを接続していないときや、アクセス制限を設定しているときは表示されません。

匿名 (ユーザ名 ANONYMOUS) で TeraStation にアクセスするには

TeraStation 設定画面共有フォルダ管理で共有サービス設定 [FTP 機能使用する]、共有フォルダ公開先 [FTP]、アクセス制限機能 [使用しない] が選択されていれば、匿名 (ユーザ名 ANONYMOUS) でもアクセスできます。

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .

・ホスト名　TeraStation の IP アドレス (P50)
・ユーザ名　anonymous
・パスワード お客様の電子メールアドレス (任意の文字列でも設定できます)
・ポート　21

例　ftp://192.168.11.150/

※ FTP クライアントソフトウェアの使いかたについてはソフトウェアのヘルプを参照ください。

※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

NFS クライアントからアクセスする

NFS(Network File System) クライアント (UNIX 系 OS) から TeraStation の共有フォルダへアクセスしたいときは、次の手順で行います。

メモ NFS クライアント (UNIX 系 OS) での接続については弊社はサポートしておりません。あらかじめご了承ください。

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[NFS]-[NFS サービス設定] をクリックします。**

3

① [使用する] をクリックします。

② [設定] をクリックします。

メモ IP アドレスによるアクセス制限について

上記の画面で [公開先ネットワークアドレス][公開先サブネットマスク] を指定すると、IP アドレスによるアクセス制限を設定することができます。

例）192.168.11.xxx のクライアントをアクセス許可にしたい場合の設定
[公開先ネットワークアドレス] → 192.168.11.0
[公開先サブネットマスク] → 255.255.255.0
※ xxx は 1~255 の数字です。[公開先ネットワークアドレス][公開先サブネットマスク] では、0 を入力します。

例）192.168.xxx.xxx のクライアントをアクセス許可にしたい場合の設定
[公開先ネットワークアドレス] → 192.168.0.0
[公開先サブネットマスク] → 255.255.0.0
※ xxx は 1~255 の数字です。[公開先ネットワークアドレス][公開先サブネットマスク] では、0 を入力します。

4 **[共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。**

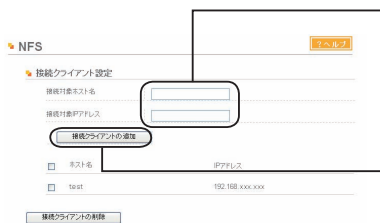
5

①公開する共有フォルダをクリックします。

②公開する NFS 公開パスをメモします。

③ [設定] をクリックします。

次のページへ続く

6

① NFS クライアント (UNIX 系 OS) の IP アドレスとホスト名を入力します。

※ IP アドレス、ホスト名の確認方法は OS によって異なります。OS のヘルプ等をご参照ください。

② [接続クライアントの追加] をクリックします。追加されると画面にホスト名と IP アドレスが表示されます。

※登録を解除したいときは、表示されたホスト名のチェックボックスをクリックしてチェックマークを表示させ、[接続クライアントの削除] をクリックしてください。
※接続クライアントに登録されていないパソコンからも NFS 接続ができることがあります。

7 **NFS クライアント (UNIX 系 OS) から TeraStation の共有フォルダにアクセスするコマンドを実行します。コマンドの例は次のとおりです。**

Linux の場合
mount -t nfs ＜ IP アドレス＞ : ＜ TeraStation の NFS 公開パス＞＜ローカルパソコン上のマウントポイント＞

例）mkdir /mnt/tshtgl
mount -t nfs 192.168.11.10:/mnt/array1/share /mnt/tshtgl

※ TeraStation の IP アドレスが 192.168.11.10、NFS 公開パスが /mnt/array1/share、ローカルパソコン上のマウントポイントが tshtgl の例です。

Windows Sevice for Unix 3.5 の場合
mount ＜ IP アドレス＞ : ＜ TeraStation の NFS 公開パス＞ ＜ネットワークドライブのレター（空いていないとエラーになります）＞

例）mount 192.168.11.10:/mnt/array1/share z:

※ TeraStation の IP アドレスが 192.168.11.10、NFS 公開パスが /mnt/array1/share、ネットワークドライブのレターが z の例です。

Solaris10 の場合
mount - ＜ F nfs IP アドレス＞ : ＜ TeraStation の NFS 公開パス＞＜ローカルパソコン上のマウントポイント＞

例）mkdir /mnt/tshtgl
mount -F nfs 192.168.11.10:/mnt/array1/share /mnt/tshtgl

※ TeraStation の IP アドレスが 192.168.11.10、NFS 公開パスが /mnt/array1/share、ローカルパソコン上のマウントポイントが tshtgl の例です。

⚠注意
- Windows ファイル共有などと同時に利用したい場合、文字コードは UTF-8 で行うと samba でも正常に日本語ファイル名が表示されます (Windows Service for Unix ではできません)。
- ファイルアクセス権については NFS クライアント (UNIX 系 OS) での設定が適用されます。ただし root で書き込んだ場合、すべて uid,gid が 99 となります。
- TeraStation 上のユーザー管理と NFS クライアントでのユーザの uid,gid の統一はできません。

以上で NFS クライアントからのアクセスは完了です。

通信を暗号化する

■設定画面操作の暗号化

TeraStation の設定画面をブラウザで表示すると、アドレスは

http:// ＜ TeraStation の IP アドレス＞ /cgi-bin/top.cgi

と表示されます。

ブラウザ (nternet Explorer6 以降) で「http://」の部分を「https://」に書き換えて次の

https:// ＜ TeraStation の IP アドレス＞ /cgi-bin/top.cgi

ようにアクセスすると、設定画面への通信は全て SSL 暗号化されます。

メモ **お使いのパソコン環境によっては、「この Web サイトのセキュリティ証明には問題があります。」と表示されることがあります。そのまま設定画面の操作を続行ください。**

■ FTP 通信時の暗号化

FTP 通信を ssl/tls で暗号化することにより、ログインパスワードやファイルを暗号化して送受信することができます。

FTP クライアントソフトの設定画面で、SSL セキュリティを有効にしてお使いください。

設定手順は FTP クライアントソフトによって異なります。

例）FTP クライアントソフトに FileZilla をお使いの場合、設定画面でサーバーの種類を [FTP over TLS (explicit encryption)] に設定してください。

SmartFTP をお使いの場合、設定画面で [FTP over SSL explicit] を選択してください。

⚠注意 **暗号化処理のため、お使いのパソコン環境によっては転送スピードは通常接続に比べて 10 分の 1 程度に低下します。**

メモ **お使いのパソコン環境によっては、「この Web サイトのセキュリティ証明には問題があります。」と表示されることがあります。そのまま設定画面の操作を続行ください。**

次のページへ続く

■ SSL キーについて

メモ ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、SSL について、ある程度精通している必要があります。

設定画面操作、FTP 通信時に使用できる暗号化 (https,ftp+ssl/tls) キーについて説明します。

SSL(Secure Socket Layer) とは公開鍵暗号方式と呼ばれる暗号化方式の一種です。SSL は基本的に次の二つのファイルで管理されます。

１．server.crt(サーバ証明書)

TeraStation はこれをパソコンに送り、パソコン側でこのキーを使用して暗号化を行います。暗号化されたデータを TeraStation が受け取って server.key(秘密鍵) で暗号化を解除するという仕組みになっています。

SSL ではこのキーの中にサーバ証明書が含まれ、お使いのパソコン環境によってはその証明書が信頼できるものかどうか判断することがあります。TeraStation に初期設定で入っているサーバ証明書は弊社にて作成したものであり、ブラウザ等で「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。」と表示されることがあります。

2. server.key(秘密鍵)

sever.crt(サーバ証明書) とセットで使用します。サーバ証明書で暗号化されたデータを解読するのに必要となるもので、これは通常公開しないものです。

※ server.key （秘密鍵）のパスフレーズは解除したものをご用意ください。

SSL キーの更新

SSL のサーバ証明書と秘密鍵を更新するときは、次のように行います。

1.TeraStation の設定画面で、[メンテナンス]-[SSL キー更新] をクリックします。

2.[サーバ証明書] に server.crt、[秘密鍵] に server.key を登録し、[設定] をクリックします。

以上で SSL キーの更新は完了です。

※ SSL キーには、パスワードを解除した物を使用してください。
※更新後に TeraStation の設定画面が表示できなくなったときは、TeraStation 本体の初期化スイッチで設定を初期化してください。
※ファームウェアをアップデートすると、SSL 暗号キーも初期化されます。

オフラインファイル機能を使用する

< オフラインファイル機能とは >

Windows 2000 以降 (Windows XP Home Edition を除く) に搭載されているオフラインファイル機能を使えば、パソコンがネットワークにつながっていない時でも、ネットワークにつながっている状態であるかのように TeraStation のファイルにアクセスできます。再びネットワークにつながった時に更新されたファイルを同期して書き込みます。

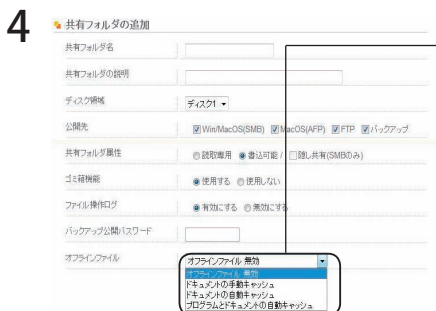
オフラインファイル機能を使用するには、次の手順で設定します。

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **［共有フォルダ管理］－［共有フォルダ設定］をクリックします。**

3

オフラインファイル機能を使う共有フォルダをクリックします。

4

オフラインファイルを [ドキュメントの手動キャッシュ] または [ドキュメントの自動キャッシュ]、[プログラムとドキュメントの自動キャッシュ] を選択します。

※ [ドキュメントの手動キャッシュ] オフラインで使用するファイルを自分で選択する必要があります。

※ [ドキュメントの自動キャッシュ] 開いたファイルをローカルにキャッシュしてオフラインで使用できるにします。以前のファイルで同期が取れていないものは自動的に削除され、新しいものに置き換えられます。

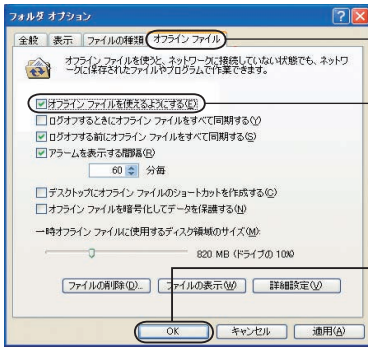
※ [プログラムとドキュメントの自動キャッシュ] 開いたファイルをローカルにキャッシュしてオフラインで使用できるにします。以前のファイルやネットワークから実行されるアプリケーションで同期が取れていないものは自動的に削除され、新しいものに置き換えられます。

5 **画面の一番下にある [設定] をクリックします。**

次のページへ続く

6 Windows のエクスプローラを開き、「ツール」メニューの「フォルダオプション」を選択します。

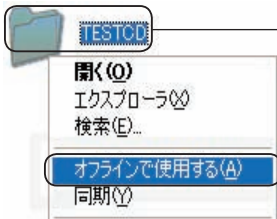
※ Windows 2000Server では、[コントロールパネル]- ［フォルダオプション］ を選択します。

7

① [オフラインファイル] タブをクリックします。

② [オフラインファイルを使えるようにする] をクリックします。

③ [OK] をクリックします。

⚠注意 Windows XP の「ユーザーの簡易切り替え」機能が有効の場合、上記画面が表示されません。このようなときは、コントロールパネル内にある [ユーザーアカウント] で［ユーザーの簡易切り替えを使用する］のチェックマークをはずしてください。

8

①オフライン機能を設定した TeraStation の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

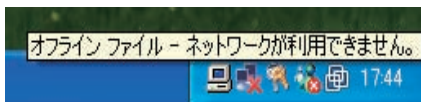
② [オフラインで使用する] をクリックします。

9 オフラインファイルのウィザードが表示されたら、画面の指示にしたがって設定してください。詳しくは Windows のヘルプファイルをご参照ください。

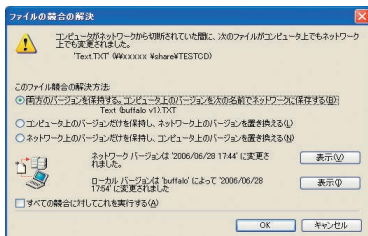
10 ウィザードでオフライン設定、同期設定が完了すると、設定したファイルやフォルダは次の表示になります。

次のページへ続く

11 **同期が完了した状態でネットワークを切断すると、オフラインファイル機能を利用することができます。オフラインファイルはそのデータが保存されていた元々のUNC(Universal Naming Convention)でアクセスすることができます。**

※オフラインファイルが利用できる場合はタスクトレイにアイコンが表示されます。

※オフラインファイルの編集
　オフラインファイルは通常のファイルと同様に編集や削除を行うことができます。編集や削除によって生じたネットワーク上の元データとの差異は、ネットワーク再接続後の再同期により解消されます。

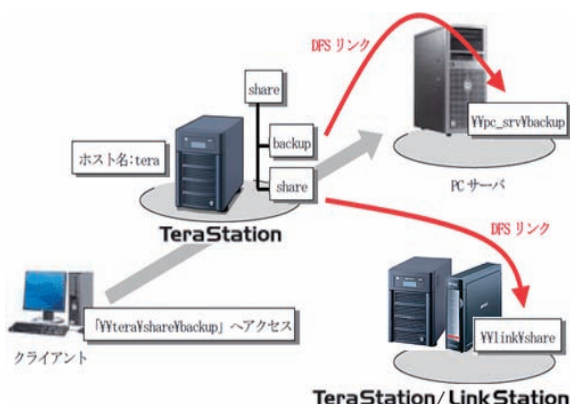
※オフラインファイルの同期
　ネットワーク再接続時、ログオン時、ログオフ時など、設定した条件に従いオフラインファイルは自動的に同期されます。

※ファイルの競合
　オフラインファイルとネットワーク上の元データに対し、同時に異なる変更を行った場合、ファイルの競合が発生します。ファイルの競合が検出された場合は、下記の画面が表示されます。画面の指示にしたがって競合の解決してください。

以上でオフラインファイル機能の設定は完了です。

DFS(Distributed File System) 機能を使用する

< DFS(Distributed File System) 機能の概念解説 >

Distributed File System(以下、DFS) 機能とは、ネットワークのサーバ上に散在するファイル共有を、単一のツリー構造に集約する機能です。

下図ではクライアントパソコンから「¥¥tera¥share¥backup」という UNC(=Universal Naming Convention) へアクセスを行った場合、実際には全く異なる UNC の「¥¥pc_srv¥backup」へアクセスを行いますが、クライアントパソコンから見た場合の UNC は「¥¥tera¥share¥backup」と表示され、実際のファイルサーバの UNC は分かりません。また、「¥¥ tera¥share¥backup」に「¥¥pc_srv¥backup」への DFS リンクが設定されていますが、「¥¥tera¥backup」という共有フォルダに「¥¥pc_srv¥backup」への DFS リンクを設定することもできます。

※イラストは TS-HTGL シリーズの例です。

⚠注意
- DFS 機能は、Windows 98/Me/2000/XP/Server2003 に対応しています (Windows Vista/95/NT4.0、Mac OS は非対応です)。
- Windows 2000、Server2003 をお使いの場合、アクセス制限が設定されているフォルダが 1 つでも存在する TeraStation(または LinkStation、SMB 対応 Windows パソコン) を DFS リンク先に指定すると正常に動作しません (アクセスできません)。
- DFS 機能は SMB 接続時にのみ使用できます。AFP 接続や FTP 接続では、DFS 機能で作成された共有フォルダやフォルダは参照することはできません。
- 共有フォルダのアクセス制限は、DFS リンク先の設定が適用され、DFS ルートや DFS リンクにアクセス制限を設定することはできません。

DFS 機能を使用するには、次の手順で設定します。

次のページへ続く

1 P50の手順で設定画面を表示します。

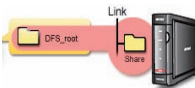
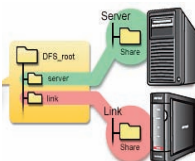
2 [共有フォルダ管理]-[DFS設定]をクリックします。

3

※画面はTS-HTGLシリーズの例です。

①［使用する］を選択します。

②DFSルートにDFSリンクを設定するかどうかを設定します。

[設定する]を選択した場合、DFSルートの下にDFSリンク先共有フォルダが1つ構成されます。

[設定しない]を選択した場合、DFSルートの下にDFSリンク先共有フォルダを8つまで構成することができます。

③[DFSルートフォルダ名称]と[ホスト名共有フォルダ名]、[DFSリンク先]を入力します。

※DFSリンク先として指定できるのは次の通りです。

・TeraStation/LinkStationシリーズ

・SMB対応のWindowsパソコン(Mac OS、Linuxは非対応)

※「DFSルートにDFSリンクを設定しない」を設定していた場合、ホスト名、DFSリンク先は最大8個設定できます。

④［設定］をクリックします。

以上でDFSの設定は完了です。

フォルダ連結機能を使用する

< フォルダ連結機能とは >

フォルダ連結機能では、Windows Vista/XP/2000、Windows Server2003 で TeraStation の共有フォルダへのショートカットをデスクトップやマイドキュメント内のローカルフォルダに登録することができます。

フォルダ機能を使用するには、次の手順で設定します。

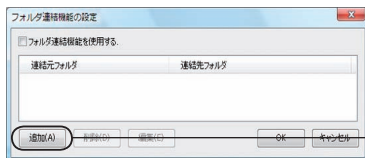
1 **[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator]-[BUFFALO NAS Navigator2] をクリックします。**
NAS Navigator2 が起動します。

2

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

[フォルダ連結] をクリックします。

※ Windows Vista/XP/2000、Windows Server2003 以外の OS では、[フォルダ連結] は表示されません。

3

[追加] をクリックします。

4

[連結元] の右端にあるボタンをクリックします。

次のページへ続く

5

①連結元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダを選択します。

② [OK] をクリックします。

6

[連結先] の右端にあるボタンをクリックします。

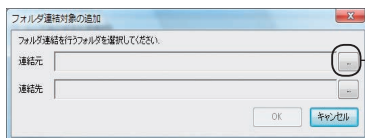
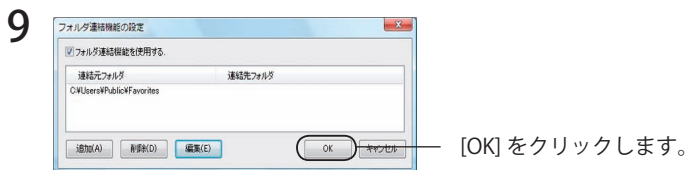
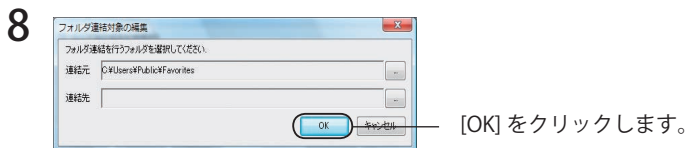
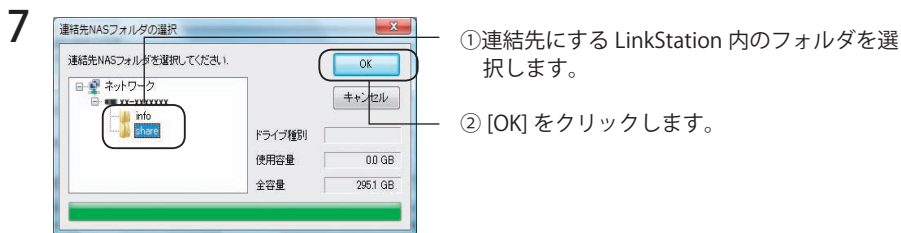
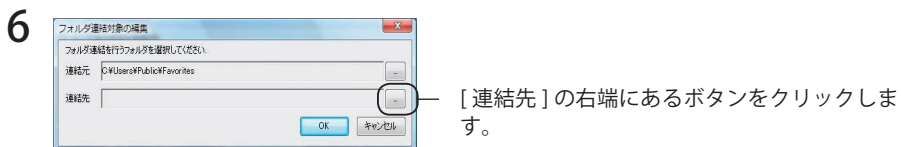
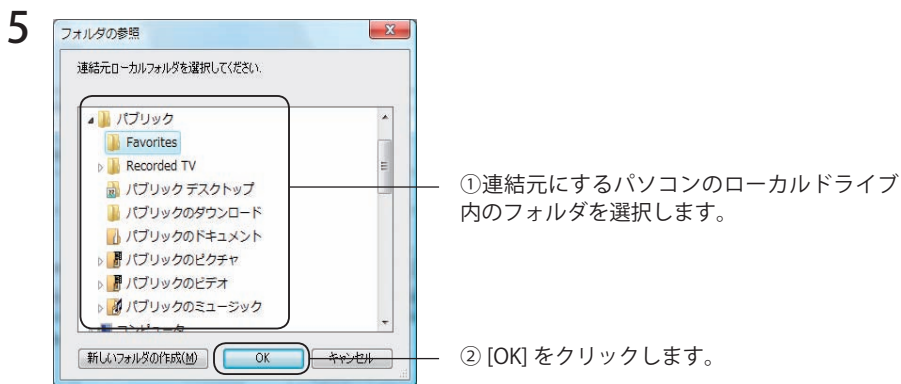
7

①連結先にする LinkStation 内のフォルダを選択します。

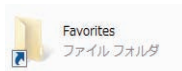
② [OK] をクリックします。

8

[OK] をクリックします。

9

[OK] をクリックします。

以上でオフラインファイル機能の設定は完了です。

次のページへ続く

メモ Windows Vista ではフォルダ連結したフォルダは右図のように矢印が表示されます。解除した場合、矢印は消えます。

注意
- フォルダ連結設定できる数は最大 10 個です。
- 1 つの連結先フォルダに複数連結元フォルダを指定することはできません。
- 1 つの連結元フォルダに複数連結先フォルダを指定することはできません。
- フォルダ連結設定を行ったユーザとは別のアカウントで Windows にログインすると、フォルダ連結設定は無効になりますが、連結元フォルダは別アカウントのユーザからも見えます。別アカウントのユーザから見えないようにしたいときは、アカウント名固有のフォルダ (マイドキュメントなど) を連結元に設定することをおすすめします。
- アクセス制限されたフォルダへのフォルダ連結機能はサポートしておりません。
- 複数ユーザが同一のネットワークフォルダを連結先として設定していた場合、複数ユーザからの読み書きはネットワーク上の共有フォルダを読み書きする場合と同一となります。連結先のフォルダは共有フォルダとして動作します（他ユーザが書き込んだものも連結元から見えます）。

フォルダ同期機能を使用する

< フォルダ同期機能とは >

フォルダ同期機能では、Windows Vista/XP/2000、Windows Server2003 で TeraStation の共有フォルダとパソコンのローカルフォルダを同期させ、自動的にローカルフォルダのファイルを TeraStation にアップロードすることができます。

フォルダ同期を使用するには、次の手順で設定します。

1 **[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator]-[BUFFALO NAS Navigator2] をクリックします。**
NAS Navigator2 が起動します。

2

※画面は TS-HTGL シリーズの例です。

[フォルダ同期] をクリックします。

※ Windows Vista/XP/2000、Windows Server2003 以外の OS では、[フォルダ同期] は表示されません。

3

[追加] をクリックします。

4

[同期元] の右端にあるボタンをクリックします。

次のページへ続く

5

①同期元にするパソコンのローカルドライブ内のフォルダを選択します。

② [OK] をクリックします。

6

[同期先] の右端にあるボタンをクリックします。

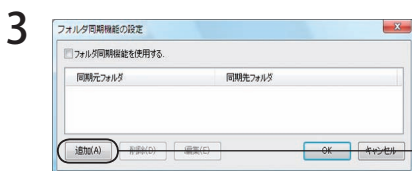
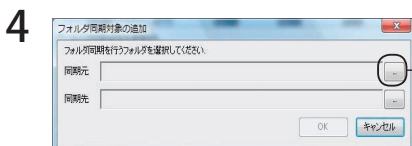
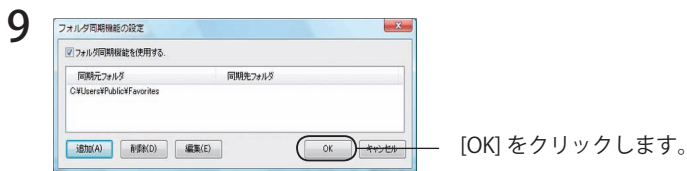
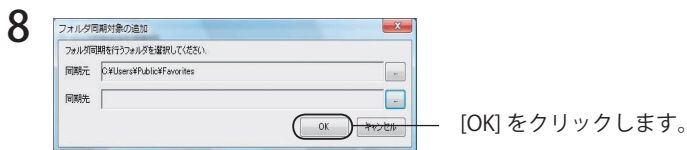
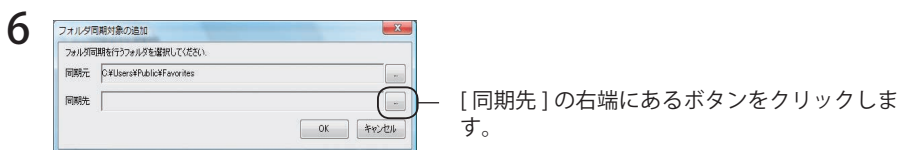
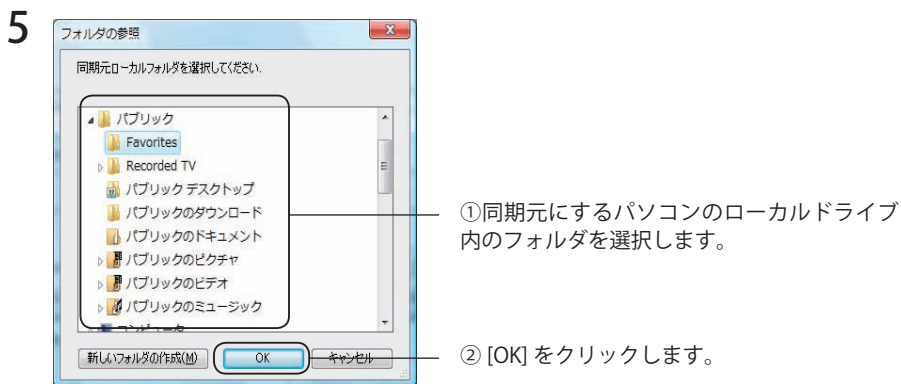
7

①同期先にする TeraStation 内のフォルダを選択します。

② [OK] をクリックします。

8

[OK] をクリックします。

9

[OK] をクリックします。

以上でフォルダ同期機能の設定は完了です。

次のページへ続く

⚠注意
- フォルダ連結と同じ設定をフォルダ同期に設定することはできません。
- フォルダ同期を設定できる数は最大 10 個です。
- 1 つの同期先フォルダに複数同期元フォルダを指定することはできません。
- 1 つの同期元フォルダに複数同期先フォルダを指定することはできません。
- フォルダ同期機能は、同期元フォルダへのファイル・フォルダ作成、書き込みを監視し、同じ操作を同期先フォルダに対して行います。同期先フォルダ内のファイルを別途更新しても、同期元フォルダ内の同名ファイルを更新した時点で、同期先フォルダ内のファイルは同期元フォルダ内のファイルと同じ内容となります。同期元でのファイル操作が同期先に反映されます。
- 同期先のフォルダ（TeraStation 上の共有フォルダ）を複数のネットワークユーザが読み書きする場合の排他処理はネットワーク上の共有フォルダを読み書きする場合と同一となります。同期先のフォルダは他ユーザには共有フォルダとして動作します。
- アクセス制限されたネットワークフォルダの認証はユーザの接続開始時またはシステム起動時にのみ行われます。認証に失敗した場合は、次回ユーザの接続時またはシステム起動時でないと再度ネットワーク接続認証は行われません。エクスプローラからのアクセスとは違いフォルダにアクセスする時に認証が行われるわけではありません。

⚠注意
- 複数のユーザが同一のネットワークフォルダを同期先として設定していた場合はファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
- 複数のネットワークユーザーが同一のネットワークフォルダを同期先として設定していた場合、ファイル名の重複などが発生する可能性があるため、動作を保証できません。
- 同期先フォルダは個別のユーザーしか書き込みアクセスできないような設定を行っておくことをおすすめします。

次のページへ続く

メモ 同期機能の動作について

同期を開始した後に同期元に更新（ファイル／ディレクトリの削除・作成・変更）があった場合は、その動作を同期先に反映する動作をします。以下の動作はファイルですが、ディレクトリに対しても同じ動作となります。

同期開始前の状態	
同期元	同期先
A.txt	B.txt

①同期開始したらどのような状態になるか同期元に更新がない場合は何もされません。	
同期元	同期先
A.txt	B.txt

② A.txt を変更したら同期先はどうなるか同期元に存在するファイルが更新されると、同期先にそのままコピーされます。	
同期元	同期先
A.txt(更新)	B.txt A.txt(更新)

③同期元の A.txt を削除したら同期先はどうなるか同期元に存在するファイルが削除されると、同期先のファイルも削除されます。	
同期元	同期先
	B.txt

③ ' 同期先の A.txt を削除したらどうなるか同期先に存在するファイルが削除されても、A.txt に変化がない場合は何もしません。	
同期元	同期先
A.txt	B.txt

その後、同期元 A.txt に変化があった場合に
同期先のファイルが更新されます。

同期元	同期先
A.txt(更新)	B.txt A.txt(更新)

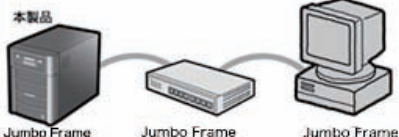
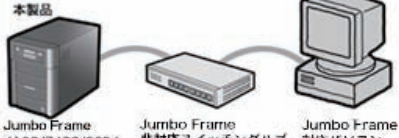
④同期先に C.txt が追加されたらどうなるか同期先にファイルが追加されても、同期元は何もしません。	
同期元	同期先
A.txt	B.txt A.txt C.txt

④ ' その後、同期元に C.txt が追加されたらどうなるかその後、同期元 C.txt が追加された場合に同期先のファイルが更新されます。	
同期元	同期先
A.txt C.txt(更新)	B.txt A.txt C.txt(更新)

⑤同期元に D.txt が追加されたらどうなるか同期元に D.txt が追加された場合、同期先に D.txt がコピーされます。	
同期元	同期先
A.txt D.txt	B.txt A.txt D.txt

⑥同期元の D.txt と同期先の D.txt が同時に違う変更した場合はどうなるか同時または同期元が少し遅く D.txt を更新した場合は、同期元の内容となります。	
同期元	同期先
A.txt D.txt(更新 1)	B.txt A.txt D.txt(更新 1)

同期先が少しでも遅く更新された場合は、同期先の更新内容となります。

同期元	同期先
A.txt D.txt(更新 1)	B.txt A.txt D.txt(更新 2)

その後、同期元の D.txt が更新された時に、同期先に D.txt がコピーされます。

同期元	同期先
A.txt D.txt(更新 3)	B.txt A.txt D.txt(更新 3)

Jumbo Frame で転送するには

転送の効率を向上させたいときは、TeraStation 設定画面で [ネットワーク]-[IP アドレス設定] のイーサネットフレームサイズ (1 回で転送できるデータの最大サイズ) を Jumbo Frame(4102/7422/9694bytes) に変更してください。

⚠注意 **・Jumbo Frame(4102/7422/9694bytes) を使用して、TeraStation にハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。**

・Jumbo Frame(4102/7422/9694bytes) を使用するには、パソコン (LAN アダプタ) および通信経路上の機器 (スイッチングハブなど) が Jumbo Frame に対応している必要があります。非対応の機器があったときは、通常 (1518bytes) の転送が行われます。

接続機器	対応	
本製品 Jumbo Frame 4102/7422/9694 — Jumbo Frame 対応スイッチングハブ — Jumbo Frame 対応パソコン	○	Jumbo Frame (4102/7422/9694)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4102/7422/9694 — Jumbo Frame 対応スイッチングハブ — Jumbo Frame 非対応パソコン	△	通常(1518)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4102/7422/9694 — Jumbo Frame 非対応スイッチングハブ — Jumbo Frame 非対応パソコン	△	通常(1518)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4102/7422/9694 — Jumbo Frame 非対応スイッチングハブ — Jumbo Frame 対応パソコン	×	転送することはできません。ご注意ください。

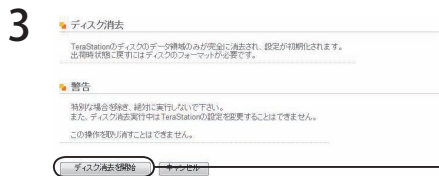
※イラストは TS-HTGL シリーズの例です。

TeraStation のデータを完全消去する

データが完全に削除されていないために起こるデータの漏洩が心配なときには、次の手順でディスク消去を実行してください。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[ディスク消去] をクリックします。

3

[ディスク消去を開始] をクリックします。

4 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

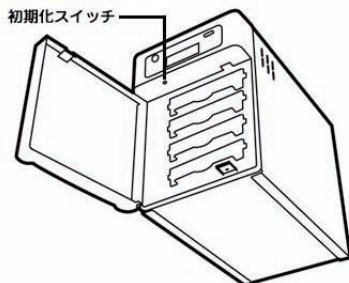
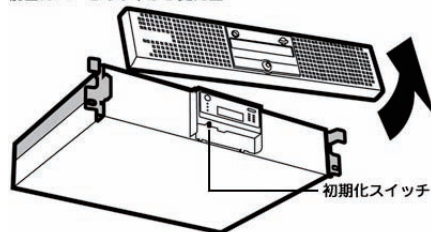
5 以降は画面の指示にしたがって操作します。

メモ　[ディスク消去を開始］をクリックすると、TeraStation 内のハードディスクのデータ領域を完全に消去します（ディスク消去終了後、自動的に TeraStation はシャットダウンします）。また、ディスク消去を行うと TeraStation は次の状態になります。
TeraStation 内ハードディスク：通常モード
※ディスク消去を行うとそれぞれのディスクの中に共有フォルダ (share1 ～ 4) が作成されます。共有フォルダは作成されますが、データは消去されています。
TeraStation の全設定：出荷時状態
ログ：全消去

設定を初期化する

TeraStation の初期化スイッチ

TeraStation の設定を出荷時に戻したいときは、TeraStation 動作時 (電源ランプ点灯) に付属の鍵で前面カバーをあけ、背面の初期化スイッチを押してください。

＜ TS-HTGL シリーズ＞

＜ TS-RHTGL シリーズ＞

初期化スイッチをピッと音がするまで (約 5 秒間) 押し続けると、本製品の設定内容が出荷時設定に変更されます。

メモ
- 初期化スイッチでは、IP アドレス、イーサネットフレームサイズ設定、管理者 (admin) パスワードが初期化されます。TeraStation 設定画面で管理者パスワードを初期化しない設定を行うと、IP アドレスとイーサネットフレームサイズ設定のみ初期化されます。他項目の初期化は TeraStation 設定画面で初期化します。【P97】
- TeraStation の初期化スイッチを押しても管理者 (admin) パスワードを初期化させたくないときは、下記 [メンテナンス]-[初期化] 画面で、初期化スイッチ設定 (管理者パスワード) を [初期化しない] を選択し、[設定] をクリックしてください。

初期化スイッチで管理者 (admin) パスワード初期化しないよう設定した場合、パスワードを忘れると TeraStation の設定ができなくなります。必ず書き留めて忘れないようにしてください。

注意 初期化スイッチを押して再セットアップ (TeraNavigator を実行) をするときは､セットアップモードの選択画面で、必ず [再セットアップ] を選択してください。[初回セットアップ] を選択するとデータが全て消去されます。

設定画面で行う初期化

TeraStation の設定画面では、初期化スイッチで行なう初期化項目に加え、次の項目も初期化することができます。

初期化される内容：
TeraStation 名、説明、NTP 設定、ワークグループ設定、共有サービス設定、共有フォルダのアクセス制限、ユーザ設定、ユーザグループ、メール通知機能設定、UPS 連動機能設定、バックアップ設定、管理者パスワード

1 **P50 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[メンテナンス]-[初期化] をクリックします。**

3 TeraStationの初期化
TeraStationの初期化を実行　初期化を実行
[初期化を実行] をクリックします。

4 **[通信の確認] 画面が表示されます。**
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

5 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

5 付録

出荷時設定

TeraStation は出荷時に以下のように初期設定されています。

●管理者名：admin(変更不可)

●パスワード：password

●共有フォルダ：share(Windows ＆ Macintosh 共用)
　※共有フォルダのゴミ箱機能は「未使用」に設定されています。

●DHCP クライアント
DHCP サーバがネットワーク内にある場合は自動取得します。
DHCP サーバがネットワーク内に無い場合は、次のように自動設定されます。
　IP アドレス：192.168.11.150
　ネットマスク：255.255.255.0

●登録グループ
初期設定にて既に TeraStation には、デフォルトグループ (hdusers、admin、guest) が登録されています。編集、削除はできません。

●Microsoft ネットワークワークグループ設定
WORKGROUP
※ TeraNavigator を実行すると、設定を行うパソコンのワークグループと同じワークグループになります。

●AppleShare ネットワークゾーン設定：　なし (空白)

●イーサネットフレームサイズ：　1518bytes

●AppleTalk 機能：使用する

●FTP サーバ機能：　使用しない

●NTP 機能：　使用しない

●RAID モード：　RAID5 モード

メモ　出荷時設定に戻すときは、P96「設定を初期化する」を参照ください。

ハードディスクを交換する

ハードディスクが故障する前に

RAID エラーが発生したとき、データ保護のため自動的にシャットダウンするよう次の手順で設定することができます（RAID1、5、10 モード時のみ。RAID0/ 通常モードでは機能しません）。

1 P50 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

3 ① [RAID アレイ障害発生時にシャットダウン] の項目で [行う] を選択します。
② [設定] をクリックします。

以上で設定は完了です。

⚠注意 ディスクの不良セクタが多くエラーを修復できないとき、RAID1、5、10 ではデグレード状態となります。出荷時設定では、TeraStation はデグレード状態になるとシャットダウンします。

再度、電源スイッチを押すことで、TeraStation を起動することもできますが、障害が修復不可能で危険な状態ですので、すみやかにハードディスクを交換することをおすすめします。

ハードディスクが故障したら

● RAID1、5、10 モードでお使いのとき
データ保護のため、上記手順を参照して RAID アレイ障害発生時に自動的にシャットダウンするよう設定することをおすすめします。
故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、P100 の手順にしたがってハードディスクを交換してください。

●通常モードでお使いのとき
通常モード時は、ハードディスク障害発生時にシャットダウンするよう設定できません（データは保護されません。また故障したハードディスク内のデータは復旧できません）。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、ハードディスクを交換してください。

● RAID0 モードでお使いのとき
RAID0 モードで故障した時は、RAID アレイ内の全てのデータを失います。ハードディスクを交換してもデータを修復することはできません。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、ハードディスクを交換してください。

ハードディスクの交換方法

TeraStation 前面の DISK1 ～ 4 の FAIL ランプが赤色に点灯していた場合、点灯している DISK 番号のハードディスクドライブが故障しています。このようなとき、別途同容量のハードディスクを用意し、故障したハードディスクと交換することができます。ハードディスクの交換は以下の手順で行ってください。
以下の説明は取り外す場合の手順です。ハードディスクの交換後、元どおりに組み立てるときは、取り外したときの逆の手順で行なってください。また、取り付け時に注意すべきポイントがある場合は、各手順の中で<取り付ける場合>として説明してありますので、必ずご参照ください。

⚠注意
- TeraStation は精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行なってください。
- TS-HTGL シリーズは約 8kg、TS-RHTGL シリーズは約 10kg の重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStation 内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行なってください。
- ハードディスクを交換する場合は、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。TeraStation の分解によって生じた故障や破損は、弊社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 製品内の 4 台全ての HDD を同時交換した場合は、動作いたしません。
- 同容量の交換専用ハードディスク以外の動作は保証できません。

メモ
- RAID1、5、10 モードでお使いのとき
  データ保護のため、「ハードディスクが故障する前に」を参照して RAID アレイ障害発生時に自動的にシャットダウンするよう設定することをおすすめします。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、ハードディスクを交換してください。
- 通常モードでお使いのとき
  通常モード時は、RAID アレイ障害発生時にシャットダウンするよう設定できません（データは保護されません。また故障したハードディスク内のデータは復旧できません）。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、ハードディスクを交換してください。
- RAID0 モードでお使いのとき
  RAID0 モードで故障した時は、RAID アレイ内の全てのデータを失います。ハードディスクを交換してもデータを修復することはできません。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、ハードディスクを交換してください。

次のページへ続く

1 ①パソコン→周辺機器の順に電源をOFFにして、ケーブル類をすべて取り外します。
②付属の鍵で前面カバーを開きます。
③フロントカバーを右側からはずします。

< TS-HTGL シリーズ>

< TS-RHTGL シリーズ>

2 FAIL ランプが点灯した故障した番号のハードディスクカートリッジのつまみを親指と人差し指でつまみ、上方向へ引き上げます。

< TS-HTGL シリーズ>

つまみ

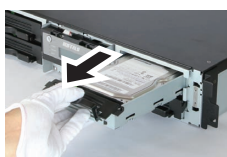
< TS-RHTGL シリーズ>

つまみ

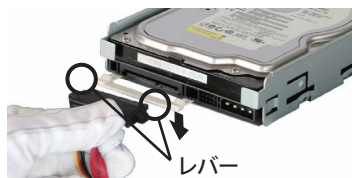
<取り付ける場合>
つまみがカチンと音がするまでハードディスクカートリッジを差し込みます。

3 カートリッジごとハードディスクを手前に引き出します。

< TS-HTGL シリーズ>

< TS-RHTGL シリーズ>

<取り付ける場合>
ケーブルをTeraStation 内部のスリットに挟み込まないようご注意ください。

次のページへ続く

4 レバーを下に押しながら、ハードディスクからケーブルを取り外し、別売のカートリッジ付ハードディスク TS-OPHD-HTGL に交換します。

＜取り付ける場合＞
ケーブルの抜けがないようしっかりと取り付けます。

5 取り外した逆の手順で元どおりに組み立てます。

取り付け時に注意すべきポイントがある場合は、各手順の中で＜取り付ける場合＞として説明してありますので、必ずご参照ください。

6 ケーブル類をすべて元の状態に接続し、TeraStation の電源を ON にします。

7 P50 の手順で TeraStation の設定画面を表示します。

8 トップ画面に表示されているエラー情報をクリックします。

9 以降は画面の指示にしたがってハードディスクの構成を復旧してください。

以上でハードディスクの交換は完了です。

液晶ディスプレイ表示一覧

TeraStation 本体前面には液晶が装備されています。表示内容は以下のとおりです。

通常表示

通常表示は、TeraStation 前面の液晶表示切替スイッチを押すことで、表示を切り替えることができます。また、設定画面 [表示パネル設定] で、表示項目を設定することもできます。

液晶表示例		内容
LINK SPEED	LINK SPEED No LINK	ネットワークに接続されていません。
	LINK SPEED 10Mbps HALF	10Mbps 半二重接続されています。
	LINK SPEED 10Mbps FULL	10Mbps 全二重接続されています。
	LINK SPEED 100MbpsHALF	100Mbps 半二重接続されています。
	LINK SPEED 100MbpsFULL	100Mbps 全二重接続されています。
	LINK SPEED 1000Mbps	1000Mbps 全二重接続されています。
HOST 名・IP アドレス	TS-RHTGL xxx 192.168.11.150	HOST 名と IP アドレスを表示します。IP アドレス末尾には、F(固定 IP アドレス) か、D(DHCP サーバ機能による自動取得 IP アドレス) が表示されます。
カレンダー時計	DATE TIME 2007／11／11 11：11	TeraStation に設定されている日時を表示します。
オペレーション ,MODE	HD 1－2－3－4 RAID5	ハードディスク 1 から 4 を使用して、RAID5 を構成しています。
	HD 1－2－3－4 RAID0	ハードディスク 1 から 4 を使用して、RAID0 を構成しています。
	HD 1－2－3－4 RAID10	ハードディスク 1 から 4 を使用して、RAID10 を構成しています。
	HD 1,2,3,4 SINGLE	ハードディスク 1 から 4 を個々に使用しています。
	HD 1－2 : RAID1 3－4 : RAID1	ハードディスク 1,2 と 3,4 を使用して、RAID1 を構成しています。
	HD 1－2 : RAID1 3,4 : SINGLE	ハードディスク 1,2 で RAID1 を構成し、ハードディスク 3 と 4 を個々に使用しています。
	HD 1,2 : SINGLE 3－4 : RAID1	ハードディスク 1 と 2 を個々に使用し、ハードディスク 3,4 で RAID1 を構成しています。
ディスク容量	HDD ^ USED 1＿2■3■4■	TeraStation に内蔵されているハードディスク 1 から 4 の使用容量を棒グラフで表示します。DiskFull 状態のハードディスクには「^」が表示されます。

状態表示

設定を変更したときや、フォーマットしたときなど、現在の状態が液晶に表示れさます。

液晶表示例	内容
HDx Warning I11 Bad Sectors	x 番のハードディスクの不良セクタが危険な範囲に達する可能性があります。x 番のハードディスクを交換してください。
OperationMode I12 DEGRADE MODE	RAID のデグレードモード動作中です。
RAID I13 ARRAYxFormatting	x 番の RAID アレイをフォーマット中です。
RAID I14 ARRAYx Checking	x 番の RAID アレイをチェック中です。
RAID I15 ARRAYx Scanning	x 番の RAID アレイのエラー状況を調査中です。 ※調査中は転送速度が低下します。
RAID I16 ARRAYx Creating	x 番の RAID アレイを作成中です。
RAID I17 ARRAYx Resycing	x 番の RAID アレイをリシンク中です。 ※リシンク中は転送速度が低下します。
RAID I18 ARRAYxRebuilding	x 番の RAID アレイを再構成中です。 ※再構成中は転送速度が低下します。
RAID I19 ARRAYx 0 Filling	x 番の RAID アレイに 0 を埋めて完全にデータを消去しています。
DISK I20 DISKx Formatting	x 番のハードディスクをフォーマット中です。
DISK I21 DISKx Checking	x 番のハードディスクをチェック中です。
DISK I22 DISKx 0 Filling	x 番のハードディスクのデータを消去しています。
SYSTEM I23 Initializing	システム初期化中です。
Network I24 Setting Config	IP アドレスの取得などネットワークを設定中です。
SYSTEM I25 F/WUPDATING	TeraStation のファームウェアをアップデート中です。 ※アップデート中は、電源を OFF にしないでください。
Web Setting I26 Initializing	Web 設定初期化中です。
USB Diskx I27 Checking	x 番の USB ハードディスクをチェック中です。
USB Diskx I28 Formatting	x 番の USB ハードディスクをフォーマット中です。

エラー表示、警告表示

設定を変更したときや、フォーマットしたときなど、現在の状態が液晶に表示れさます。

液晶表示例	内容
SYSTEM Error E00 MPU No Responce	システムが応答してません。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
DRAM LINES E01 DATA Failure	内部の IC が一部正しく動作していません。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
DRAM LINES E02 ADDRESS Failure	内部の IC が一部正しく動作していません。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
RTC Chip E03 No RTC Clock	内部の IC が一部正しく動作していません。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
SYSTEM Error E04 Can't Load Krnl!	ファームウェアが破損しています。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
WDT E05 SYSTEM Stopped	システムがハングアップしました。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。

次のページへ続く

TFTP MODE E06 Lost boot image	ファームウェアが壊れています。 修理センターへ修理を依頼してください。5 分後に "E04" で電源が落ちるのを待つか電源スイッチを 10 秒以上長押しして電源を切ってください。
HD ALL E07 All HD Not Found	ハードディスクが見つかりません。 ハードディスクが接続されているにもかかわらず表示されたときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
UPS E10 Dependent Mode	停電により UPS のバッテリーで駆動している状態です。システムを安全にシャットダウンします。 UPS に供給されている電源を確認して、問題がなければ TeraStation の電源を ON にしてください。
SYSTEM I10 TOO HOT !	システムの温度上昇が、保障値を超える可能性があります。TeraStation の回りに物を置かないでください。または設置場所を涼しいところに移動させてください。
SYSTEM Error E11 Fan Falure	ファンの回転数に異常があります。 ファンに異物や埃がないか確認してください。異物や埃があったときは、ピンセットやエアダスター等で除去してください。再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
SYSTEM Error E12 Cooling Failure	システムの温度上昇が、保障値を超えました。TeraStation の回りに物を置かないでください。または設置場所を涼しいところに移動させてください。
RAID Error E13 ARRAYx Error	ｘ番の RAID アレイでエラーが発生しました。もう一度起動した場合は、RAID1、5 のときはデグレードモードとして動作します。再構築でエラードライブを再び使用できますが、エラードライブはすみやかに交換することをおすすめします。
RAID Arrayx E14 Can't Mount	ｘ番の RAID アレイがマウントできませんでした。一度電源を OFF にした後、再び電源を ON にした後も同じエラーが表示されるときは、RAID の再構築を行ってください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
HDx Error E15 Many Bad Sectors	x 番のハードディスクの不良セクタが危険な範囲に達しました。x 番のハードディスクを交換してください。
HDx Error E16 HDx Not Found	x 番のハードディスクが見つかりません。x 番のハードディスクが接続されていない、または x 番のハードディスクが故障している可能性があります。ハードディスクの交換をしてください。
Chip Error E17 RTC Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E18 SATA1 Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E19 SATA2 Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E20 USB Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E21 Ethernet Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
HDx Error E22 HD Can't Mount	ハードディスクのマウントに失敗しました。ハードディスクのフォーマットを行ってください。フォーマット後、再起動した後もエラーが出る場合には、ハードディスクを交換してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
HDx Error E23 HDx Is Faulty	エラーが発生し、x 番のハードディスクが RAID アレイから外されました。x 番のハードディスクを交換してください。
SATAx Error E24 COMM. Failure	x 番目のハードディスクとの通信に異常が発生しました。 TeraStation を一度再起動し、それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。

TeraStation のファームウェアをアップデートする

TeraStation のファームウェアのアップデートは、弊社ホームページ (buffalo.jp) のダウンロードサービスにて、アップデートプログラムをダウンロードし実行してください。
ダウンロードされたファイルをダブルクリックすると、ファイルが解凍され自動的にアップデート方法を記載した HTML ファイルが表示されます。
以降は表示された HTML ファイルの指示にしたがってアップデートしてください。

トラブルシューティング

メモ 最新の Q&A の情報は、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

■バックアップ

USB ハードディスクへのバックアップが失敗する

1．ファイル名・フォルダ名に使用禁止文字を使用している
バックアップ元 LinkStation、TeraStation 内のファイル名・フォルダ名に使用禁止文字が使用されている場合、バックアップが失敗する場合があります。使用禁止文字については、制限事項【P8】をご参照ください。
2．バックアップ動作時、バックアップ元にアクセスしている
バックアップ機能動作中、バックアップ元ファイルへのパソコンからアクセスによってバックアップが失敗する場合があります。
3．Macintosh 接続時の特殊なファイルをバックアップしている
Macintosh からアクセスの際に作成される不可視・削除禁止ファイルを上書きバックアップする場合、バックアップが失敗する場合があります。
4．1 つのファイルサイズが４ＧＢ（２GB）を越えている
バックアップ先の USB ハードディスクが FAT32 でフォーマットされている場合は、４GB（FAT16 の場合は２ＧＢ）を越えるファイルを保存することができないため、バックアップエラーが発生します。
４GB を超える容量のファイルをバックアップする場合は、USB ハードディスクの必要なデータをバックアップし、USB ハードディスクのバックアップ形式を、TeraStation フォーマット（XFS）に変更してください。
※ TeraStation フォーマット（XFS）にした場合、パソコンでは認識できなくなります。

簡単バックアップでバックアップに失敗する

1. 常駐ソフトが影響している可能性
常駐ソフト (ウィルスチェックソフト等のシステム管理系のソフト) が影響して正常にバックアップ動作ができない場合があります。常駐ソフトがインストールされている場合には、常駐を停止したり、プログラムを対象から外すなどして動作をご確認ください。常駐ソフトの詳細な設定方法に関しましては、ご利用のソフトメーカ様へお問合せください。
2．バックアップ元データに問題が発生していないか確認
バックアップ元データに問題が発生していないかどうか、以下のような方法でご確認ください。
・他のドライブへはコピー可能かどうか。
・手動でのコピーに問題はないかどうか。また、OS などのシステムをバックアップすることはできません。ご注意ください。
3．バックアップ元データの容量を確認
バックアップ先の空き容量は、バックアップしたいデータのデータ容量分充分に空きがあるかどうかご確認ください。
バックアップ先の容量が不足している場合には、空き領域を増やしてバックアップを行ってください。
4．バックアップ元データのパスの確認
LinkStation・TeraStation をご利用の場合、『バックアップ先のパス』『バックアップ元のパス』『ファイル名』を併せた文字の長さが 240Bytes 以上である場合はバックアップができない場合があります。上記の場合は、以下をお試しください。
・バックアップ元を変更する。
（パス長＋ファイル名の長さが 240bytes 未満になる場所に移動する。）
・「圧縮バックアップ」を行う。
※バックアップ元のサイズが 2GBytes 以上の場合は圧縮バックアップはできません。

他の TeraStation、LinkStation へのバックアップが失敗する

1．ジャンボフレームが正しく設定されていない。
バックアップ元製品と、バックアップ先製品がそれぞれ JumboFrame 設定してあり、バックアップ時に経由する HUB の内、一台でも設定した JumboFrame 値に対応していない場合バックアップに失敗します。それぞれバックアップ元、バックアップ先の JumboFrame の設定を通常のフレームサイズに変更し、JumboFrame 対応の HUB を用意し、バックアップ元、バックアップ先と同じ JumboFrame 値を設定してください。

2．ファイル名・フォルダ名に使用禁止文字を使用している
バックアップ元 LinkStation、TeraStation 内のファイル名・フォルダ名に使用禁止文字が使用されている場合､バックアップが失敗する場合があります。使用禁止文字につきましては、制限事項【P8】をご参照ください。

3．Macintosh 接続時の特殊なファイルをバックアップしている。
Macintosh からアクセスの際に作成される不可視・削除禁止ファイルを上書きバックアップする場合、バックアップが失敗する場合があります。

4．バックアップ動作時、バックアップ元にアクセスしている。
LinkStation、TeraStation のバックアップ機能動作中、バックアップ元ファイルへのパソコンからアクセスによってバックアップが失敗する場合があります。

5．共有フォルダの公開先がバックアップとして公開されていません。
P67 を参照して共有フォルダを設定してください。

バックアップ先の TeraStation、LinkStation の共有フォルダにて下記の設定をおためし下さい。
1.TeraStation の WEB 設定画面を表示させせます。
2.[共有フォルダ管理] を選択し、バックアップ先の共有フォルダを選択します。
3.[公開先] の設定を、[バックアップ] のチェックを外して [設定] をクリックします。
4. 再度、バックアップ先の共有フォルダを選択します。
5.[公開先] の設定を、[バックアップ] のチェックを入れて [設定] をクリックします。

■ドメイン

Microsoft ネットワークドメインに新たに登録したユーザ名で TeraStation にアクセスできない

Microsoft ネットワークドメインに新たに登録したユーザ名で TeraStation にアクセスするには、TeraStation の設定を再度行う必要があります。
TeraStation の設定画面 [ネットワーク]-[ワークグループ設定] で、[ドメイン名]/[ドメインコントローラ名] を入力し、[設定] をクリックした後、新たに登録したユーザについて適切なアクセス権の設定を行ってください。

TeraStation をドメインでネットワークに参加させることができない (Windows Server 2003)

TeraStation をドメインでネットワークに参加させることができない (Windows Server 2003)
TeraStation は SMB パケットのデジタル署名に対応しておりません。ドメインコントローラーの Guest アカウントが無効の場合、TeraStation をドメインに参加させることができません。ドメインに参加させるには次の方法があります。
・ドメインコントローラーの Guest アカウントを有効にする
・ドメインコントローラーのレジストリの記述「\HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\Current-ControlSet\ Services\lanmanserver\parameters」の「requiresecuritysignature」値を 0 に変更する

TeraStation の名称を変更したらドメインでネットワークに参加できなくなった

TeraStation の名称を変更するとドメインでネットワークに参加できなくなります。変更したときは、再度次の手順でドメインを再設定してください。
1. 変更した名称と同じコンピュータアカウントをドメインコントローラに登録します。
2.TeraStation の設定画面 [ネットワーク]-[ワークグループ設定] でネットワーク参加方法 (ドメイン)、ドメイン名、ドメインコントローラー名を再度設定します。

「ドメインコントローラによるアクセス認証は現在無効です」と表示される

「ドメインコントローラによるアクセス認証は現在無効です」と表示される。
TeraStation とドメインコントローラ間でドメインに関する通信が正しく行えていません。次の手順でドメインを再設定してください。
1.TeraStation の名称と同じコンピュータアカウントをドメインコントローラから削除します。
2.TeraStation の名称と同じコンピュータアカウントをドメインコントローラに再登録します。
3.TeraStation の設定画面 [ネットワーク]-[ワークグループ設定] でネットワーク参加方法 (ドメイン)、ドメイン名、ドメインコントローラ名を再度設定します。

■ Mac OS

Mac OS と Windows で共有したファイルやフォルダ名に文字化けが発生する

Mac OS と Windows で共有するときは、全角文字が正常に表示されないことがあります。

Mac OS 9.2.2 以下でファイルが見えない (AppleTalk 接続時)

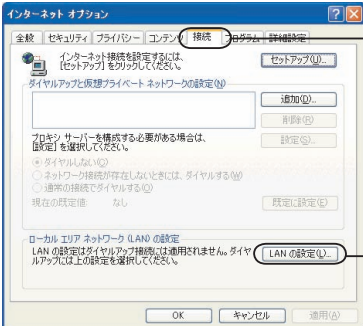
Mac OS9.2.2 以下では半角 32 文字以上の名前のファイルを見ることはできません。Windows と Mac OS9.2.2 以下でファイル共有するときは半角文字 32 文字以内にしてください。またファイルの容量が 2GB 以上の場合も、Mac OS9.2.2 以下で見えないことがあります。

Mac OS から TeraStation に突然アクセスできなくなった (Windows からはアクセス可能)

Mac OS から接続中に、停電など正常な手段で接続が解除できなかった場合、Mac OS が作成するデータベース等が破損し、接続できなくなることがあります。
このようなときは P59 の設定画面で [Mac OS の固有情報を削除] を選択し、ディスクチェックを実行してください。下記のファイルが全て (サブディレクトリ含む) を削除され、接続できるようになることがあります。
・.AppleDB
・.AppleDesktop
・.AppleDouble
・TheVolumeSettingsFolder
・Network Trash Folder

作成した覚えのないファイルが生成されている

Macintosh からアクセスされた共有フォルダには情報ファイルが自動的に生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますのでご注意ください。

■全般

ブラウザで設定画面を表示できない、正常に表示されない

・LAN ケーブルが接続されていない
TeraStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・TeraStation の電源が OFF になっている
TeraStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。TeraStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面は表示されません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・「HDD エラー」と表示され、何も設定ができない
画面の指示に従って TeraStation を再起動してください。再起動しても同じ画面が表示されるときは、画面の指示に従ってハードディスク情報の再構成、またはフォーマットしてください。

・ブラウザの設定で、プロキシが有効に設定されている
ブラウザのヘルプを参照してプロキシを使用せずに直接接続するように設定を変更してください。

ここでは、Internet Explorer6 のプロキシを無効にする設定例を説明します。

< Internet Explorer6 の例 >

1 Internet Explorer を起動します。

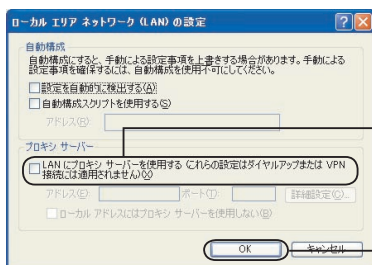
2 メニューから [ツール]-[インターネットオプション] を選択します。

3

① [接続] をクリックします。

② [LAN の設定] をクリックします。

次のページへ続く

4

① [プロキシ サーバー] のチェックボックスにチェックマークが無いことをご確認ください。チェックマークがあるときは、クリックしてチェックマークを消してください (※)。

② [OK] をクリックします。

以上でプロキシを無効にできました。

プロバイダの指示でプロキシを有効にしなければ、インターネットを閲覧できないときは、TeraStation の設定を完了した後に、プロキシを有効に戻してください。

※ [プロキシサーバー] のチェックマークを外したくないときは

1.[プロキシサーバー] 欄の [詳細] をクリックします。

2.[次で始まるアドレスにはプロキシを使わない] 欄に P50 手順 2 で確認できる TeraStation の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

NAS Navigator2 などで TeraStation が認識できない

・付属ユーティリティのバージョンが古い
最新のユーティリティを弊社ホームページ (buffalo.jp) からダウンロードし、インストールしてください。バージョンが古いと最新の OS に対応していないことがあります。

・LAN ケーブルが接続されていない
TeraStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・TeraStation の電源が OFF になっている
TeraStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。TeraStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面を表示させることはできません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・TeraStation の IP アドレスと他のネットワーク機器の IP アドレスが競合している
お使いのネットワークに DHCP サーバが無い場合、TeraStation の IP アドレスは 192.168.11.150 に固定されます。この IP アドレスが他の機器で使用していると認識できません。

ここでは、パソコン本体の IP アドレスを確認する手順を説明します。同じ IP アドレスが使用されていたときは、別のパソコンから P38 を参照して TeraStation の IP アドレスを変更してください。

< Windows Vista/XP/2000/NT4.0、Windows Server2003 での IP アドレス確認手順例 >

1　以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

Windows Vista/XP/2000、Windows Server2003：
[スタート]-[(すべての) プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を選択します。
Windows NT4.0：
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト] を選択します。

2　画面に「C:\>」と表示されます。

「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

次のページへ続く

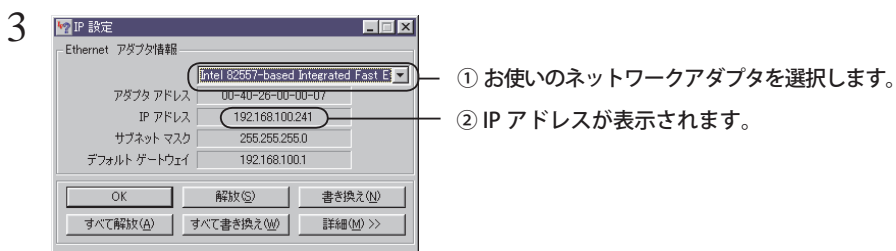
3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

Ethernet adapter ローカルエリア接続	
IP address	:192.168.0.2 ―パソコンの IP アドレス
Subnet Mask	: 255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix	:

< Windows Me/98SE/98/95 での IP アドレス確認手順例 >

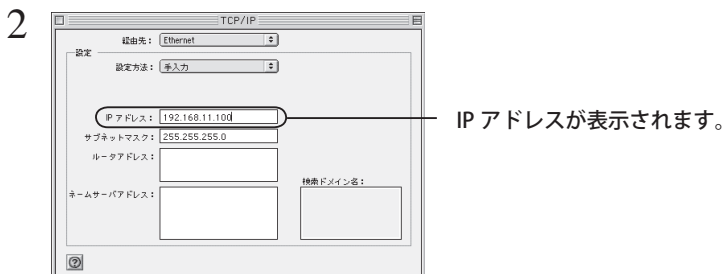
1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

2 「WINIPCFG」と入力し、[OK] をクリックします。

3

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 での IP アドレス確認手順例 >

1 アップルメニューから [コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

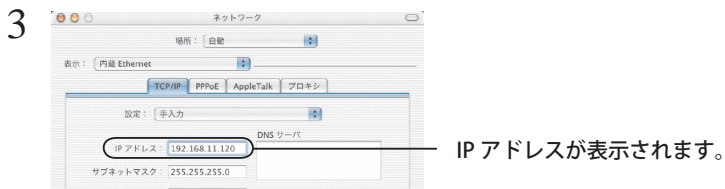
2

IP アドレスが表示されます。

< Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8 での IP アドレス確認手順例 >

1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

IP アドレスが表示されます。

< Mac OS X 10.3 以降の IP アドレス確認手順例 >

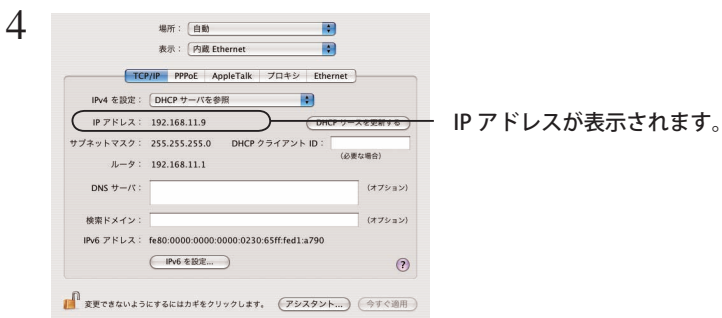
1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

[内蔵 Ethernet] を選択します。
※ Mac OS X 10.5 をお使いの場合、左の枠から [Ethernet] を選択します。

4

IP アドレスが表示されます。

・Windows またはソフトのファイアウォール機能がはたらいている
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、TeraStation が認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。

【Windows のファイアウォール機能の場合】
Windows によっては、ファイアウォールの設定によって付属のユーティリティが使用できないことがあります。ファイアウォール機能を無効にしてください。設定の変更手順は Windows によって異なります。詳しくは Windows のヘルプをご参照ください。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2008 がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［ウイルスバスター 2008］－［ウイルスバスター 2008 を起動］を選択します。
2. メイン画面左側の［不正侵入対策 / ネットワーク管理］をクリックします。
3. 「パーソナルファイアウォール」欄にある［有効］をクリックします。
4. ファイアウォール機能が「無効」に切り替わったことを確認し、画面右上の×をクリックします。

以上で設定は完了です。
※ファイアウォールを再度有効にするには、上記の手順 3 で［無効］をクリックしてください。

【Norton Internet Security 2008 がインストールされている場合】
以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。
1. [スタート］－［（すべての）プログラム］－［Norton Internet Security］－［Norton Internet Security］をクリックします。
2. ［設定］をクリックします。
3. ［Web セキュリティ］－［ファイアウォール］の順にクリックします。
4. ［オフにする］をクリックします。
5. ファイアウォール機能を無効にする期間（例：1 時間）を選択し、［OK］をクリックします。
6. 「ファイアウォールがオフになりました」と表示されたら、×をクリックし、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。
※ファイアウォールを再度有効にするには、上記の手順 5 で設定した時間が経過するまで待つか、手順 4 の画面で［オンにする］をクリックしてください。

TeraStation の共有フォルダにアクセスできない

・設定画面で共有フォルダのアクセス権を設定すると、許可したユーザからのみアクセスできるようになります。許可していないユーザをアクセスできるようにするには設定を変更してください。

・Windows のネットワークにログインしたユーザ名、パスワードが、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードと同一のものでないと共有フォルダにアクセスすることはできません。

・Windows Me/98SE/98/95 をお使いの場合、ログオンするネットワークの設定がファミリーログオンになっていると共有フォルダにアクセスできません。そのようなときは次の手順でログオンするネットワークを設定してください。

1 **[ネットワークコンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。**

2 **[優先的にログオンするネットワーク (Windows 95 では「優先的にログオンする」)] から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックします。**

※選択肢に「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合は、[追加] − [クライアント] − [Microsoft ネットワーククライアント] − [OK] をクリックしてください。Windows の CD-ROM が要求されるメッセージが表示されたら画面の指示に従って CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。

以上でログオンするネットワークの設定は完了です。

・Windows Vista/XP/2000/NT4.0、Windows Server2003 をお使いの場合、ユーザ名とパスワードの入力を求める画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにはアクセスできません。必ず、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードで Windows にログインしてください。

ここでは、ネットワークログイン名とパスワードの作成の手順を説明します。

< Windows Vista でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 **[スタート]-[コントロールパネル] を選択します。**

2 **[ユーザーアカウントの追加または削除](または [ユーザーアカウント]-[別のアカウントの管理]) をクリックします。**

※「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行] をクリックしてください。

3 **[新しいアカウントの作成] をクリックします。**

次のページへ続く

4 [新しいアカウント名] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力しします。

5 [管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。

6 「変更するアカウントを選択してください」から、新しく作成したアカウントをクリックします。

7 [パスワードの作成] をクリックします。

8 [新しいパスワード] に、TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

< Windows XP でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーアカウント] アイコンをダブルクリックします。

3 [新しいアカウントを作成する] をクリックします。

4 [新しいアカウントの名前の入力]に、TeraStationの共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [コンピュータの管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。

6 「変更するアカウントを選びます」から、新しく作成したアカウントをクリックします。

7 [パスワードを作成する] をクリックします。

次のページへ続く

8 [新しいパスワードの入力] に､TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

< Windows 2000 でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。

3 [追加] をクリックします。

4 [ユーザー名] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [パスワード] に TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

6 [標準ユーザー] を選択し、[完了] をクリックします。

< Windows Me/98SE/98/95 でのユーザ名とパスワード設定 >

Windows 起動時の [ネットワークとパスワードの入力] 画面で、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

< Windows NT4.0 でのユーザ名とパスワード設定 >

Windows NT4.0 のユーザ登録を済ませている場合は、そのユーザ名とパスワードを TeraStation に設定してください。
ユーザー登録をまだしていない方は TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを登録してください ([スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[(ドメイン) ユーザマネージャ])

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 でのユーザ名とパスワード設定 >

アップルメニューから [セレクタ]-[Apple Share]-[TeraStation の名称] を選択し､[接続] をクリックすると、登録利用者の名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

< Mac OS X でのユーザ名とパスワード設定 >

[移動]-[サーバへ接続 ...] で TeraStation の IP アドレスを設定後、[接続] をクリックすると、登録ユーザの名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

NAS Navigator2 で確認できても TeraStation が認識できない

TeraStation に割り当てられた IP アドレスによっては、NAS Navigator で TeraStation を確認できても使用できないことがあります。そのようなときは次の手順を行ってください。

1　コマンドプロンプトの画面を表示させます。表示のさせ方は Windows によって異なります。

Windows Vista/XP/2000：
　[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [アクセサリ] ー [MS-DOS プロンプト]
Windows Me：
　[スタート] ー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [MS-DOS プロンプト]
Windows 98/95:
　[スタート] ー [プログラム] ー [MS-DOS プロンプト]
Windows NT4.0：
　[スタート] ー [プログラム] ー [コマンドプロンプト]

2　コマンドプロンプトの画面 (C:\WINDOWS> など) が表示されたら、「ping 192.168.11.150」を入力して、<Enter> キーを押します。

※下線部は TeraStation の IP アドレスです。環境によって入力する値は異なります。P50 の手順 2 でメモをした IP アドレスを入力してください。

```
Microsoft(R) Windows 98
   (C)Copyright Microsoft Corp 1981-1999.

C:¥WINDOWS>ping 192.168.100.158

Pinging 192.168.100.158 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.100.158:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms

C:¥WINDOWS>
```

3　正常に接続されているときは、「Reply from 192.168.11.150: byte=32 time=1ms TTL=255」等表示されます。

「Reply from ～」と表示されないときは、P38 の手順で TeraStation の IP アドレスを変更してください。

コマンドプロンプトの画面を終了するときは、「exit」と入力して <Enter> キーを押します。

RAID 構築が終わらない

RAID 構築には数時間かかります。1TB の TeraStation（250G バイトのハードディスク 4 台搭載）を RAID 構築する場合、RAID5 で最低 4.5 時間以上、RAID1 の場合で最低 4 時間以上必要です。

FTP フォルダにアップロードしたデータが壊れている

・お使いのパソコンによっては、FTP クライアントソフトウェアの通信設定で、[バイナリーモード] にしておかないと、アップロードしたデータから改行コードが削除されることがあります。

・お使いの OS によっては日本語のファイル名が正常に表示されないことがあります。

NTP 機能が使用できない

ネットワークが外部に接続されていない可能性があります。外部の NTP サーバにアクセスできる環境が必要です。また、Proxy サーバ経由で外部にアクセスするようなネットワーク環境では、外部の NTP サーバにアクセスできないため NTP 機能を使用することはできません。

TeraStation が DHCP クライアントとして動作していない

LAN ケーブルを接続するタイミングによっては、固定 IP アドレス (出荷時 192.168.11.150) で TeraStation は動作することがあります。LAN ケーブルを接続してから TeraStation の電源スイッチを ON にしてください。

Mac OS や Windows 98SE/98/95 から登録したユーザでアクセスできない

TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。Mac OS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。TeraStation のユーザ設定画面からパスワードを半角英数 14 文字以下 (Mac OS では半角英数 8 文字以下) に変更してください。

ファイルの操作 (コピー / 消去 / 移動) ができなくなった

ファイル名が非常に長いと OS によっては、ファイルの操作ができないことがあります。

共有フォルダやファイルに属性を設定できない

TeraStation に作成した共有フォルダやファイルに属性 (隠し / 読取専用) を設定することはできません。

共有フォルダのデータを削除しても容量が変わらない

TeraStation の共有フォルダにゴミ箱機能が有効に設定されていると、削除したデータは共有フォルダの [trashbox] フォルダに移動されます。

共有フォルダのゴミ箱のデータを消去したい

ゴミ箱 [trashbox] フォルダのデータを選択し、<Delete> キーを押すと消去されます。

TeraStation を設定するためのパスワードを忘れた

TeraStation 背面の設定初期化スイッチを押すことで出荷時設定に戻すことができます。出荷時設定に戻した後に再度パスワードの設定を行ってください。

※初期化スイッチを押すとパスワード以外の設定も初期化されます。

※ TeraStation の設定画面 [メンテナンス]-[初期化]-[本体初期化スイッチ設定] の画面で [初期化しない] を設定すると、パスワードが初期化できません (パスワードを忘れた場合、TeraStation の設定を変更できません)。パスワードは忘れないように書き留めておいてください。

よくある質問

メモ 最新の Q&A の情報は、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

■バックアップ

システムバックアップ、コマンドプロンプトでバックアップできますか？

正常動作しない場合があります。
パソコンから TeraStation へのバックアップソフトは簡単バックアップをご利用下さい。

サーバ OS（WindowsServer2003 等）から TeraStation にバックアップできますか。

サーバ OS から TeraStation へ自動バックアップするための、動作確認済みソフトはありません。
手動操作でバックアップを行ってください。

バックアップにかかる時間が知りたい

バックアップするデータの総数、サイズ、フォルダ構造、ネットワーク環境等によって必要な時間が異なる為、一概にご案内している情報がありません。ご了承下さい。

バックアップを中断 / キャンセル / 停止できますか？

バックアップを中断することはできません。バックアップ動作が完了するまで、お待ちください。

■ドメイン

ドメインって何ですか？

「ドメイン」とは WindowsNT や Windows2000 を基盤としたネットワークで、パソコン、ユーザの情報、セキュリティポリシー（ルール）を一台のパソコンで一元管理する構成のことです。

対応するドメインが知りたい

TeraStation が参加できるドメインは、PDC が、WindowsNT4.0 互換ドメイン、ActiveDirectry の混在モードの Windows2000、Server2003 であること、等があります。
上記の他にも制限事項があります為、WindowsNT ドメインログオン機能とは、TeraStation が、ドメインコントローラに対して、ドメイン参加認証を行う機能です。
ドメインユーザ / ワークグループ単位によるアクセス制限を行うことができます。
「WindowsNT ドメインログオン機能」ではなく、「認証サーバ簡易連携機能」を使用する場合は、下記の条件にかかわらず、ユーザ情報を取得できます。

【ドメイン参加設定】
TeraStation をドメインに参加させる方法は以下になります。

1. あらかじめ PDC において TeraStation のコンピュータアカウントを追加しておきます。
   ※既にアカウントが作成されている場合は、
   PDC にてアカウントの削除、再作成もしくはアカウントリセットを行ってください。
   ※ PDC でのアカウントの追加、削除、再追加、リセットなどの操作については、OS のマニュアルをご参照ください。
2. TeraStation の設定画面を開きます。
3. [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。
4. [ネットワーク参加方法] を [ドメイン] に変更し、[ドメイン名][ドメインコントローラ名] など必要な項目を入力し、[設定] をクリックします。

次のページへ続く

※ PDC 側での TeraStation のドメイン参加の確認方法として、OS 標準機能である、イベントビューアにて、TeraStation 名によるドメインログオンが拒否されていないかどうか確認してください。
※上記設定後、「設定が完了しました」と表示され、ドメインユーザの一覧が正常に取得できていれば、TeraStation のドメイン参加が成功しています。

【仕様】
■対応ドメイン環境
ドメインログオン機能では、下記のドメイン環境下で使用が可能です。ドメインコントローラの OS 種別により、「NT ドメイン」もしくは、「ActiveDirectry ドメイン」を選択してください。
・WindowsNT4.0 ドメイン
・Windows 2000 混在 (デフォルト)
・Windows 2000 ネイティブ
・Windows Server 2003 中間
・Windows Server 2003
※シングルドメイン環境以外（信頼関係が構築されたドメイン環境など）では、ドメインユーザ / グループの取得・ドメイン参加が正常に行うことができない場合があります。
■ドメインユーザ / グループの取得
□取得最大数
ドメインコントローラから取得できるドメインユーザ / グループの最大数は各 1000 です。
取得されるドメインユーザ / グループの順序は SID 順です。
□取得制限
ドメインコントローラからドメインユーザ / グループを取得する場合、以下の場合は
取得することができません。
・同名のユーザ名 / グループ名が、既にローカルユーザ / グループとして存在する場合
・ローカルユーザ / グループとして登録が禁止されている名称のアカウントである場合
□リスト更新タイミング
・ドメインユーザのリスト更新
・ドメイン参加設定実行時
・WEB 設定画面内、「共有フォルダ管理」をクリックした時
・WEB 設定画面内、「ユーザ管理」をクリックした時
・ドメイングループのリスト更新
・ドメイン参加設定実行時
・WEB 設定画面内、「共有フォルダ管理」をクリックした時
・WEB 設定画面内、「グループ管理」をクリックした時
※ドメインコントローラと定期的に同期を行う機能はありません。
※ドメインユーザ / グループを再取得した場合でも、アクセス制限設定は保持されます。
■ FTP 接続時の制限
FTP で接続した場合、ドメインユーザの認証はできません。
■ドメインユーザ以外のアクセス
認証方法が「NT ドメイン」「ActiveDirectry ドメイン」に設定されている間は、以下の認証ができません *1。
・ローカルユーザ
・ドメインコントローラにアカウントが登録されていないユーザ
・AppleTalk 接続時のゲストユーザ
・FTP 接続時の Anonymous
*1 上記アカウントからのアクセスを許可する場合は、ドメインコントローラにて、「guest」アカウントを有効に設定してください。
※上記設定後アクセス時、ユーザ名パスワードを要求された場合は、ユーザ名「guest」、パスワード「なし」を入力してください。
※上記設定はセキュリティを低下させる恐れがありますので、設定の際はご注意ください。

800 人のドメインユーザ環境で使用できますか？

TeraStation のドメインユーザ取得は 1000 名まで可能です。
ただ同時接続台数が推奨 8 台以下になりますのでご注意下さい。
パソコン（Windows、Macintosh）から TeraStation に対して、
同時使用する場合の推奨台数は、『8 台 』になります。
※同時使用とは、ファイルの読み書き、WEB 設定画面の表示等の操作を行っている状態です。
（パソコンと TeraStation の間でデータ通信が発生している状態）
TeraStation TS-RHTGL/R5 Windows による同時使用の推奨台数 8 台※ Macintosh による同時使用の推奨台数 8 台※
※ Windows、Macintosh の合計の台数になります。
※ 9 台以上のパソコンから同時使用がある場合は、
本製品の処理速度が低下し、結果的にご利用が困難になる場合があります。
処理速度の低下によってファイルの破損、ハードウェアの障害などは発生しません。

1500 人のドメインユーザから任意のユーザ 1000 名を選択してインポートできますか？

ドメインログオン機能では PDC から 1500 名中 1000 名のユーザを、任意に選択して取得することはできません。ユーザ単位でアクセス制限を設定する場合は、ドメイン設定ではなく、ワークグループ設定にてアクセス制限を設定するユーザだけ、手動でに TeraStation に登録してご使用下さい。

信頼関係が構築されたドメインで使用できますか？

ドメインログオン機能は、シングルドメイン環境でのみ動作確認を行っており、複数のドメイン環境（PDC が複数存在する環境）での動作につきましては正常に動作しない可能性があります。

■アクセス制限

Windows の標準機能でアクセス制限を設定できますか？

正常動作しなくなる場合があります。
TeraStation のアクセス制限機能は、WEB 設定画面でのみ設定が可能です。TeraStation 内のフォルダのプロパティで表示されるセキュリティタブでアクセス制限を設定した場合、ファイルアクセスが正常動作しなくなる場合がありますので設定しないでください。

■ Mac OS

日本語が文字化けします / ロングファイルネームに対応していますか？

Mac OS のバージョンによっては、日本語が文字化け発生する場合があります。
● AFP(Appletalk) 接続時
Mac OS 9.2.2 以下の場合
・拡張子を含めて 32 バイト以上の名称を持つファイルは、MacOS の仕様により表示されません。
　また、TeraStation への新規作成、コピーできません。
・ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることができません。
Mac OS X 10.0.4 以降の場合
・ロングファイルネームに対応しているため、
　最大 255 バイトまでのファイル名のファイルを表示可能です。
・ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることができます。
● SMB 接続時
Mac OS 9.2.2 以下の場合
・全角 (日本語) のファイル名は使用できません。（文字化けが発生します。）
・ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることができます。
Mac OS X 10.0.4 以降の場合
・全角（日本語）ファイル名が使用できます。
・ファイルサイズが 2 ギガバイトを越えるファイルをコピーすることができます。

TeraStation に接続時、Macintosh から接続できません

Macintosh から TeraStation にアクセスできなくなった場合は、ファイルシステムに障害が発生している場合があります。設定画面からのディスクチェックで改善される場合がありますので、お試しください。

■ RAID

RAID って何ですか？

RAID とは
Redundant Arrays of Independent（Inexpensive）Disks の略で " レイド " と読みます。
複数のハードディスクをあたかも一つのハードディスクであるかのように表示させる・管理するための技術です。

RAID の特徴
複数のハードディスクにデータを分散して記録する為、高速化や安全性が向上します。RAID の種類によっては冗長性を保つため、ハードディスク障害に強くなります。

冗長性
ハードウェア障害などが発生したときでも本来の機能を滞りなく進めさせることができるようにする性質のことです。
※複数のハードディスクを使用し、一台のハードディスクが故障してもハードディスク本来の
　機能であるデータの書き込み、読み出しなどができる状態を保つことができる仕組み・機構
　を「冗長性がある」と表現します。
RAID の構築
専用のユーティリティなどを使って行う、ハードディスクを纏めて管理するためのハードディスクの下準備操作のことです。

次のページへ続く

RAID アレイ
RAID を構築しているハードディスクのひとまとまりの呼び名です。
※ハードディスク 4 台で RAID5 を構築している場合は、RAID アレイは 4 台のディスク全体を指します。

再構築（リビルド）
再構築（リビルド）とは、RAID1 や RAID10,RAID5 を構成するハードディスクのうち一台が破損した場合に、破損していない残りのハードディスクから、故障したディスクのデータを復元することです。再構築（リビルド）が正常終了した後は、ハードディスクが故障する前と同様の信頼性が得られます。（ハードディスクが一台故障してもデータを復元することが可能な状態に戻ります。）再構築（リビルド）を行う場合には、正常に動作し、データが入っていないハードディスクが必要です。
※ TeraStation の再構築（リビルド）を行った場合、1, 数分間で正常ディスクからデータの復元を行い、その後 2, 数時間でリシンク（RAID アレイのチェック）を行います。
※再構築（リビルド）中は、ファイルアクセス、設定画面の表示、バックアップ等の TeraStation に対する操作・動作速度が低下した状態になります。
※再構築（リビルド）中は、冗長性がない状態になります。複数のハードディスクを使用し、一台のハードディスクが故障してもハードディスク本来の機能であるデータの書き込み、読み出しなどができる状態を保つことができる仕組み・機構を「冗長性がある」と表現します。
※開始したリシンク（RAID アレイチェック）を中断させることはできません。

Resync（リシンク）
Resync（リシンク）とは、RAID1 や RAID5 を構成する TeraStation 内の RAID アレイチェックのことです。データのエラーをチェックし、破損状態や整合性に反する状態のデータがあれば、冗長領域のデータを参照し元の状態に修復します。
※データの破損状態によっては元のデータを修復できない場合があります。
※ RAID を構成している TeraStation が、停電などによって正常終了されなかった場合、TeraStation 起動直後に自動的に実行します。
※ RAID アレイの再構築（リビルド）を行った場合、再構築（リビルド）直後に実行されます。
※ Resync(リシンク) 中でもスループットは低下しますが、アクセスは可能です。

RAID の種類
高速性や安全性の違いにより「RAID 0」「RAID 5」などの種類が存在します。
・RAID 0　（ストライピング）
・RAID 1　（ミラーリング）
・RAID 10（RAID1+RAID0）
・RAID 5　（パリティ付きストライピング）
※専用のハードウェアを使う方法（ハードウェア RAID）とソフトウェアで構成する方法（ソフトウェア RAID）があります。

RAID 0(ストライピング)
・読み出し、書き込みを複数のハードディスクに分散・並列処理することによりデータ転送速度を高速化します。ハードディスクは二台で構成されます。冗長性が無いため、片方のディスクが破損した場合、データは取り出せなくなります。

RAID 1(ミラーリング)
・2 台のハードディスクに同じ内容を書き込むことで、データを保護します。どちらか一つのハードディスクが破損しても、他方のドライブが稼動することで、データの保護が可能です。

RAID 10(RAID1+RAID0)
・RAID 0 と RAID 1 の両方の機能を 4 台のハードディスクを使用して実現します。ハードディスクへのアクセスを高速化しつつ、データを保護します。

次のページへ続く

RAID5(パリティ付ストライピング)
・データからパリティ (誤り訂正符合) を生成し、データと共に複数のディスクに分散して記録します。どれか一つドライブが破損してもドライブ交換により、データ復旧が可能です。

TeraStation で構築可能な RAID を教えて下さい

TeraStation の RAID 機能では、RAID0、RAID1、RAID5、RAID10 を設定することができます。

RAID を設定すると使用できるディスク領域はどうなりますか？

TeraStation の RAID 機能では、RAID0 では全容量の 100%、RAID5 では 75%、RAID1 及び RAID10 では 50% が使用できる領域となります。

TeraStation で構築可能な RAID はソフトウェア RAID ですか、ハードウェア RAID ですか

TeraStation で構築可能な RAID はソフトウェア RAID です。

RAID 構築に必要な時間はどれくらいになりますか？

例えば、1TB の TeraStation（250G バイトのハードディスク 4 台搭載）を RAID 構築する場合、RAID5 の場合で最低 4.5 時間以上、RAID1 の場合で最低 4 時間以上必要です。

RAID の設定を変更や解除すると内蔵ハードディスクのデータは消去されますか？

使用モードを変更・再設定する際は、内蔵ハードディスクが初期状態に設定され、内部データは全て削除されます。
この動作によって削除されたデータは復旧できませんので操作は十分ご注意ください。

■ UPS

対応する UPS が知りたい

対応 UPS については、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

設定時の動作
本機能を設定することでそれぞれ下記の動作を行います。
1．UPS がオンバッテリに移行した後、一定時間電源の復活が見られない場合、もしくは BatteryLow になった場合に、TeraStation を安全にシャットダウンする。
※オンバッテリ後、TeraStation がシャットダウンを開始するまでの時間は、(5,30,60 秒) で変更が可能です。
※ BatteryLow を検知してのシャットダウン機能は、上記対応 UPS の USB 接続タイプのみ可能です。
2．「1」の機能によって TeraStation の電源がシャットダウンした際、UPS の電源をシャットダウンさせる。
※「2」の機能を使用するかどうか（UPS をシャットダウンするかどうか）は「1」の機能を「使用する」に設定後、WEB 設定画面から設定できます。
3．「2」の機能によって UPS の電源がシャットダウンしている際、UPS への電源が復旧した場合に、「1」の機能によってシャットダウンしていた TeraStation を起動させる。
（UPS リカバー機能）
※「3」の機能を使用するかどうか（UPS 復帰に伴い、TeraStation を起動させるかどうか）は「2」の機能を「使用する」に設定後、WEB 設定画面から設定できます。

注意事項
・UPS 付属ユーティリティなどは使用しません
（TeraStation には、ソフトウェアをインストールすることはできません。）
・Smart-UPS シリーズと TeraStation は Smart Signaling ケーブルで接続します。
※ Simple Signaling では接続できません。
・UPS と TeraStation との接続は、UPS 専用ポート、もしくは USB にて接続します。
※ UPS ケーブルは TeraStation には付属しておりません。
※一台の TeraStation に一台の UPS を接続します。
・TeraStation が起動完了までの間に UPS（UPS 専用ポート型）の電源異常を検出した場合、警告状態になりますが、シャットダウン動作へは移行しません。
（上記によって起動した場合、電源異常が回復するか、TeraStation の WEB 設定画面で UPS を「使用しない」設定を行うまで警告が持続します。）
・TeraStation の UPS 設定は必ず TeraStation と UPS をそれぞれ電源ケーブル、UPS/USB ケーブルで接続した後、行ってください。
※ UPS が未接続時に設定した場合、「設定が正常に完了できない」、もしくは「設定後 TeraStation がシャットダウンする」場合があります。

UPS とつなぐケーブルは何を使えばいいですか？

TeraStation と UPS は、「電源ケーブル」と「信号用ケーブル」を接続します。「電源ケーブル」は TeraStation 付属のものをご使用下さい。「信号ケーブル」は各製品によって異なります。

UPS に複数台 TeraStation を接続できますか。

UPS に TeraStation を複数台接続した場合は、UPS 連動シャットダウンが正常動作しません。

TeraStation に UPS 用のソフトウェアは必要ですか？

TeraStation の UPS 連動機能はあらかじめ搭載されているため、別途ソフトウェアなどをインストールする必要はありません。UPS 専用ソフトに限らず、TeraStation にソフトウェアをインストールすることはできません。

■全般

データを暗号化する機能はありますか？

ありません。

設定情報（登録したユーザ情報等）をインポート、エクスポートできますか？

できません。
TeraStation 設定した内容は、メモ等を行い忘れないようにしてください。

パソコンと USB 接続できますか？

できません。
TeraStation とパソコン間は LAN ポートによる接続のみになります。TeraStation の USB ポートからパソコンの USB ポートへ接続することはできません。また、TeraStation と別の LinkStation および TeraStation とを USB ケーブルで接続しても使用することはできません。

ハードディスクを４台とも（丸ごと）他の筐体に移し替えることはできますか？

できません。
TeraStation のファームウェアは、「ハードディスク部分」と「ハードディスク以外の部分」で構成され、別の TeraStation のハードディスクを 4 台取り付けた場合には整合性がとれないため、正常動作させることができません。

「info」フォルダを非表示にできますか？

できます。
TeraStation の WEB 設定画面より、[共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] にて、[info] を選択し、[公開しない] を選択します。

タイムスタンプ（更新日時）が変更されてしまう

仕様上、タイムスタンプは変更される場合があります。
TeraStation に対してファイル操作（※）を行った場合、Windows、Mac 上で表示されるファイルの時刻情報（作成日時、更新日時、アクセス日時）は保持されない場合があります。
※ファイル操作とは、TeraStation へのコピー、 TeraStation 内での上書き保存、 TeraStation 内のファイルを開く、閉じる等になります。
上記が発生する理由は TeraStation に搭載の OS が Windows、Mac とは異なる独時 OS を採用しており、時刻情報を管理する方法がそれぞれ異なる為です。そのため、本内容は制限事項になります。本現象は操作する環境（アプリケーション、パソコン）に依存する場合があります。
なお、TeraStation の上書き差分・上書き増分バックアップ機能では、TeraStation で管理されているファイルの更新時刻を判断してバックアップが行われます。

アクセス時にユーザ名とパスワードを入力する画面が表示される

1. 共有フォルダのアクセス権の設定がしてある可能性
   設定画面で共有フォルダのアクセス権を設定すると、許可したユーザからのみアクセスできるようになります。 許可していないユーザをアクセスできるようにするには設定を変更してください。
2. パスワードが適切でない可能性（TeraStation を Windows 98SE/98/95、Mac OS で使用する場合）
   TeraStation に登録するユーザの中で各ＯＳからアクセスするユーザのパスワードは、下記の範囲で行ってください。
   TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。
   Windows 98SE/98/95　：　半角英数 14 文字以内 Mac OS　：　半角英数 8 文字以内
3. ネットワークにログインしたユーザー名、パスワードが適切でない可能性
   複数ユーザが同一のユーザ名で、Windows ネットワークにログインしている場合や、Windows ネットワークにログインしたユーザ名、パスワードが、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードと同一のものでない場合は、共有フォルダに正常にアクセスできない場合があります。

・Windows Me/98SE/98/95 をお使いの場合
　ログオンするネットワークの設定がファミリーログオンになっていると 共有フォルダにアクセスできません。そのようなときは次の手順でログオンするネットワークを設定してください。
　1.[ネットワークコンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
　2.[優先的にログオンするネットワーク (Windows95 では「優先的にログオンする」)] から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックします。
　※選択肢に「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合は、[追加] － [クライアント] － [Microsoft ネットワーククライアント] － [OK] をクリックしてください。
　Windows の CD-ROM が要求されるメッセージが表示されたら画面の指示に従って CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。
　以上でログオンするネットワークの設定は完了です。

・Windows XP/2000/NT4.0 をお使いの場合
　ユーザ名とパスワードの入力を求める画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにはアクセスできません。必ず、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードで Windows にログインしてください。

■ Windows XP でのユーザ名とパスワード作成手順例

1.[スタート] ー [コントロールパネル] を選択します。
2.[ユーザーアカウント] アイコンをダブルクリックします。
3.[新しいアカウントを作成する] をクリックします。
4.[新しいアカウントの名前の入力] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。
5.[コンピュータの管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。
6.[変更するアカウントを選びます] から、新しく作成したアカウントをクリックします。
7.[パスワードを作成する] をクリックします。
8.[新しいパスワードの入力] に、TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

■ Windows 2000 でのユーザ名とパスワード作成手順例

1.[スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
2.[ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。
3.[追加] をクリックします。
4.[ユーザー名] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。
5.[パスワード] に TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。
6.[標準ユーザー] を選択し、[完了] をクリックします。

■ Windows Me/98SE/98/95 でのユーザ名とパスワード設定

Windows 起動時の [ネットワークとパスワードの入力] 画面で、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

■ Windows NT4.0 でのユーザ名とパスワード設定

WindowsNT4.0 のユーザー登録を済ませている場合は、そのユーザ名とパスワードを TeraStation に設定してください。
ユーザー登録をまだしていない方は TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを登録してください。
([スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[（ドメイン）ユーザマネージャ])

■ Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 でのユーザ名とパスワード設定

アップルメニューから [セレクタ] ー [Apple Share] ー [TeraStation の名称] を選択し、[接続] をクリックすると、登録利用者の名前とパスワードを入力する画面が表示されます。TeraStaion の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

■ Mac OS X でのユーザ名とパスワード設定

[移動]-[サーバへ接続 ...] で TeraStation の IP アドレスを設定後、[接続] をクリックすると登録ユーザの名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

何人同時にアクセスできますか？

パソコン（Windows、Macintosh）から TeraStation に対して、同時使用する場合の推奨台数は、『8 台以下 』になります。
※同時使用とは、ファイルの読み書き、WEB 設定画面の表示等の操作を行っている状態です。
（パソコンと TeraStation の間でデータ通信が発生している状態）
※ 9 台以上のパソコンから同時使用がある場合は、本製品の処理速度が低下し、結果的にご利用が困難になる場合があります。処理速度の低下によってファイルの破損、ハードウェアの障害などは発生しません。

アクセス時にユーザ名パスワードを確認させないようにしたい

パソコン起動時のユーザ名とパスワードを TeraStation に登録することでアクセス時のパスワード入力画面は表示されなくなります。但し、アクセスが制限（禁止）されているユーザの場合は、ユーザ名、パスワードの画面が表示される場合があります。

別の容量のハードディスクを取り付けて動作しますか？ ハードディスクが故障した場合の交換用ハードディスクを教えて下さい。

TeraStation の内蔵ハードディスクを交換する場合は、弊社製ハードディスク TS-OPHD-HTGL シリーズのみドライブ交換が可能です。別の容量のハードディスクでは、正常に動作しません。
なお、RAID1、RAID5、RAID10 が構成されているハードディスクが一台故障した場合は、再構築（リビルド）を行うことで、故障前の状態に戻すことができます。RAID0 モード、通常モードで構成されている TeraStation では、上記操作を行った場合でも、故障前の状態に戻すことはできません。TeraStation のファームウェアは、「ハードディスク部分」と「ハードディスク以外の部分」で構成されます。上記対応製品以外の内蔵ハードディスクを取り付けた場合には整合性がとれなくなる為、正常動作させることはできません。

ファームウェアをダウンデートすることはできますか？

できません。

設定項目一覧

設定画面から設定できる項目は次のとおりです。

TOP 画面	
TeraStation 名	TeraStation の名称を表示します。
モデル名	TeraStation の型番を表示します。
IP アドレス	TeraStation の IP アドレスを表示します。
現在時刻	現在の時刻を表示します。
HDD 状態	TeraStation に内蔵のハードディスク、および TeraStation に接続したハードディスクの状態を表示します。
I'm here!	クリックすると TeraStation からメロディが鳴ります。

基本画面		
名称設定	TeraStation 名称	ネットワーク上で TeraStation を認識する名前を入力します。 ※半角英数 12 文字まで入力できます。 ※半角英数文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）を使用できます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	TeraStation 説明	ネットワーク上の TeraStation の名称を補足説明を入力します。 ※半角英数 50 文字（全角 25 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、半角スペースを使用できます。 ※先頭文字に半角スペースを使用することはできません。 ※ Windows でのみ表示されます。Macintosh では表示されません。
時刻設定	年月日	年月日を表示します。数字を入力して年月日を変更できます。
	時刻	時刻を表示します。数字を入力して時刻を変更できます。［設定中の PC から現在の時刻を取得］をクリックすると、パソコン上の現在の時刻を自動的に入力します。 ※ TeraStation 内蔵の時計は長期間使用 すると時間がずれることがあります。NTP 機能で自動的に修正することをおすすめします。
	タイムゾーン	タイムゾーンを指定します。 ※日本国内ではタイムゾーンを［GMT+9:00］以外に設定を変更しないでください。
NTP 設定	NTP 機能	ネットワークを通じて時刻を修正する機能を使用するかどうか選択します。
	NTP サーバアドレス	NTP サーバの DNS 名（FQDN）または IP アドレスを入力します。 入力例：ntp.jst.mfeed.ad.jp　または　192.168.11.123 ［デフォルトの NTP サーバ（ntp.jst.mfeed.ad.jp）を使用する］を選択すると ntp.jst.mfeed.ad.jp を NTP サーバとして指定します。
	NTP 更新頻度	NTP サーバにアクセスする（時間を調整する）タイミングを［3 時間に 1 回］、［1 日に 1 回］、［1 週間に 1 回］から選択します。 ※プロキシサーバ等を通して NTP サーバへアクセスする場合、ネットワーク環境によってはプロキシサーバ外部の NTP サーバへのアクセスが失敗することがあります。
言語設定	表示言語	使用する言語を選択します。 ※表示言語は、「日本語」でお使いください。本製品では、日本語以外の言語での使用はサポートしておりません。
	Windows クライアント言語	Windows クライアントで使用する言語を選択します。 ※ Windows クライアント言語は、「日本語」でお使いください。本製品では、日本語以外の言語での使用はサポートしておりません。

ネットワーク画面		
IP アドレス設定	DHCP クライアント機能	ネットワーク内に DHCP サーバがあるとき、DHCP クライアント（IP アドレス自動割り当て）機能を利用できます。
	IP アドレス	IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイが存在するとき、IP アドレスで指定します。
	優先 DNS サーバアドレス	優先する DNS サーバの IP アドレスで指定します。
	代替 DNS サーバアドレス	代替の DNS サーバの IP アドレスを指定します。
イーサネットフレームサイズ設定	NTP サーバアドレス	ーサネットフレームサイズ 一回で転送できるデータの最大サイズを変更して転送効率を向上させることができます。 ・1518 バイト（デフォルト） 出荷時には 1518bytes に設定されています。 ・4102 バイト（Jumbo Frame）4102bytes で転送を行います。 ・7422 バイト（Jumbo Frame）7422bytes で転送を行います。 ・9694 バイト（Jumbo Frame）9694bytes で転送を行います。
ワークグループ・ドメイン設定	ネットワーク参加方法	ネットワークに参加する方法（ワークグループまたは NT ドメイン、ActiveDirectory ドメイン）を選択します。通常は［ワークグループ］を選択します。ドメインで参加するには Microsoft ネットワークドメインの設定を知っている必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。
	ワークグループ名	ネットワーク参加方法にワークグループを選択したとき、Windows 搭載パソコン（Microsoft ネットワーククライアント）で TeraStation を所属させるグループ名を入力します。 ※半角英数 15 文字（全角 7 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）が使用できます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	WINS サーバアドレス	WINS サーバを利用する方は WINS サーバの IP アドレスを入力してください。
	NT ドメイン名 (NetBIOS 名)	ネットワーク参加方法に NT ドメインを選択したとき Microsoft ネットワークのドメイン名を入力します。 ※半角英数 15 文字（全角 7 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）が使用でき ます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	NT ドメインコントローラ名 (コンピュータ名)	ドメインコントローラのホスト名を入力します（ネットワーク参加方法で NT ドメインを選択時のみ）。ドメインでネットワークに参加させるときは、あらかじめドメインコントローラに TeraStation の名称と同一名のコンピュータアカウントを登録しておく必要があります。 ※半角英数 63 文字（全角 31 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用できます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	ActiveDirectory ドメイン名（NetBIOS 名）	ネットワーク参加方法に ActiveDirectory ドメインを選択したとき ActiveDirectory ドメイン名（NetBIOS 名）入力します。 ※半角英数 15 文字（全角 7 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）が使用でき ます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	ActiveDirectory ドメイン 名（DNS 名）	ネットワーク参加方法に ActiveDirectory ドメインを選択したとき ActiveDirectory ドメイン名（DNS 名）入力します。 ※半角英数 255 文字まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）が使用できます。
	ActiveDirectory ドメインコントローラ名（コンピュータ名）	ActiveDirectory ドメインコントローラのホスト名を入力します（ネットワーク参加方法で ActiveDirectory ドメインを選択時のみ）。 ※半角英数 63 文字（全角 31 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用でき ます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	Administrator ユーザ名	Administrator（管理者）のユーザ名を入力します。 ※半角英数 256 文字まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）が使用できます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。
	Administrator パスワード	Administrator（管理者）のパスワードを入力します。 ※半角英数 256 文字まで入力できま す。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用できます。 ※先頭文字に記号を使用することはできません。

認証設定	認証方法	TeraStation へのアクセスを許可するユーザ認証方法を選択します。 ［TeraStation のローカルユーザのみ認証する］ 通常はこちらを選択します。 TeraStation 設定画面で登録したユーザ（※）のみアクセスを許可します。 ※ TeraStation に登録するローカルユーザのユーザ名・パスワードは、Windows ログオン時のユーザ名・パスワードと一致させてください。 ［外部の SMB サーバに認証を委任する］ TeraStation にアクセスするユーザの権限を認証サーバで連携をとり、TeraStation へアクセス許可をさせたいときに選択します。 認証サーバと連携するには、Microsoft ネットワークを知っている必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。 ［認証サーバとして Windows ドメインコントローラを使用する］ （TeraStation 自体はドメインには参加しませんが）ドメインコントローラに対してユーザ認証を行ないたいときに選択します。 ※ Windows ドメインコントローラを外部の SMB 認証サーバとして指定する場合は、TeraStation のワークグループ名を Windows ドメインコントローラのドメイン名と一致させる必要があります。 ［外部認証ユーザに加えてローカルユーザも認証する］ 認証サーバへ認証を委任する外部認証ユーザに加え、TeraStation 設定画面で登録したローカルユーザにもアクセスを許可する場合に選択します。 ［ユーザの自動登録を有効にする］ 認証サーバから許可を受けたユーザを TeraStation の認証ユーザ一覧へ自動的に登録する場合に選択します。 使用例 : 自動登録で一定期間ユーザを取得してから、自動取得を無効にすることで認証テスト用共有フォルダにアクセスしたユーザが勝手に増えてしまうことを防ぐことができます。 ［認証テスト用共有フォルダを使用する］ 認証サーバへ登録してあるユーザがアクセスできるフォルダを認証テスト用フォルダとして使用します。
	認証サーバ名又は IP アドレス	認証方法で［外部の SMB サーバに認証を委任する］を選択した際に、ユーザ認証で用いる外部のサーバをサーバ名またはサーバの IP アドレスで指定します。 ※ AppleTalk 接続や FTP 接続時は IP アドレスで指定してください。サーバ名では認証できなことがあります。 ※別セグメント（ルータ越えのネットワークなど）のサーバを指定する際は IP アドレスを 入力してください。
	認証テスト用共有フォルダ名	認証方法で［外部の SMB サーバに認証を委任する］、［ユーザの自動登録を有効にする］、［認証テスト用共有フォルダを使用する］を選択した際に、認証テスト用共有フォルダのフォルダ名を指定します。認証テスト用共有フォルダを開いたユーザを自動的に TeraStation のユーザとして登録することができます。 ※認証テスト用共有フォルダは 2 個以上作ることはできません。 ※自動登録されたユーザは「hdusers」グループに所属します。 ※認証テスト用共有フォルダ名に既存の共有フォルダ名は使用 できません。 ※半角英数 12 文字（全角 6 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用でき ます。 ※先頭文字に数字や記号を使用することはできません。 ※ AppleTalk 接続、FTP 接続では、認証サーバ連携でユーザ情報を取得することはできません。
ローカルユーザ認証設定	ローカルユーザ認証	外部認証、NT ドメイン、ActiveDirectory ドメイン設定時に認証されるユーザに加えてローカルユーザもアクセスを許可するか選択します。

<table>
<tr><th colspan="3">ディスク管理画面</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ディ スク情報</td><td>RAID アレイ情報</td><td>現在の RAID アレイの詳細情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>ディスク情報</td><td>現在のハードディスクの詳細情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>USB ディスク情報</td><td>USB コネクタに接続しているハードディスクの詳細情報を表示します。
TeraStation の USB コネクタにハードディスクを取り付けると自動的に割り当てられます（最大 2 つまで）。
3 種類以上のハードディスクを取り扱いたいときは、使用しない USB ディスクの［USB ディスクの割当て解除］をクリックしてください。
USB ディスクの割当て解除は、［ディスク管理］－［USB ディスク設定］－［割当て USB ディスク］－［USB ディスク *］－［USB ディスクの割当て解除］で行うことができます。
<table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>接続されていません</td><td>割当て済みの USB ハードディスクが接続されていない状態です。</td></tr><tr><td>割当てられていません</td><td>新しい USB ハードディスクの割当てができる状態です。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>RAID 設定</td><td>RAID 設定</td><td>ディスク管理 (RAID 設定) 画面で名称をクリックすると表示されます。
RAID をまだ設定していないときは、[RAID5]、[RAID1]、[RAID10]、[RAID0] から選択できます。どれも選択しない場合、通常モード (4 つのハードディスク) として使用されます。

構成ディスク：
RAID を構成しているハードディスクを表示しています。RAID を設定するときは、RAID モードによって以下のようにチェックを行い、[RAID アレイの設定] をクリックします。
・RAID1 を設定（構築）するときは、使用するディスク 2 台をクリックしチェックマークをつけます。
※ RAID1 は、disk1、disk2 の組み合わせ、もしくは disk3、disk4 の組み合わせでのみ構築が可能です。
・RAID5、RAID10、RAID0 を設定（構築）するときは、全てのディスクをクリックしチェックマークをつけます。
・RAID 構成を削除するときは、[RAID アレイを削除] をクリックします。
※ RAID の設定を変更・削除するとハードディスク内のデータも削除されます。大切なデータは必ずバックアップをとってから行ってください。
※下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画 面が表示されます。
・RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除)
・共有フォルダの削除
・TeraStation の初期化
・TeraStation のディスク消去
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td rowspan="2"></td>
<td>RAID メンテナンス設定</td>
<td>RAID メンテナンス機能とは、RAID1、5、10 を構築しているハードディスクのデータ領域に対して、全データ読込チェックを行う機能です。
チェック中に発見した修復できるエラー※（不良セクタ）は、自動修復します。
また、通常のファイル操作で発見された修復できるエラー※については、RAID メンテナンス機能を使用する、しないにかかわらず自動的に修復します。

<table>
<tr><td>状態</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>修復できるエラー※</td><td>・RAID1、5、10 で構成されているデータ領域中のリードエラー（システム領域 RAID1 を含む）</td></tr>
<tr><td>修復できないエラー</td><td>・書き込みエラー
・RAID 管理領域のエラー
・ドライブパーティション情報領域のエラー
・ドライブ識別不良　など</td></tr>
</table>
RAID を構築するハードディスクの一つに、修復できるエラー※（不 良クラスタ）が多く検出された場合、該当ディスクを除いた状態で、縮退（デグレード）モードに自動的に移行します。
デグレードモードでは、データの保護状態ではないため、早急なエラーハードディスクの交換を強くお薦めします。
RAID メンテナンス機能を初めて実行する場合は、予め TeraStation 内のデータのバックアップを強くお薦めします。

RAID メンテナンス機能：
RAID メンテナンス機能を使用するかしないか設定します。
実行スケジュール：
RAID メンテナンス機能を実行するスケジュールを選択します。
・毎週 [日 - 土] 曜日
・第 1 [日 - 土] 曜日
・第 2 [日 - 土] 曜日
・第 3 [日 - 土] 曜日
・第 4 [日 - 土] 曜日
・第 1、3 [日 - 土] 曜日
・第 2、4 [日 - 土] 曜日
・毎月 1 日
[今すぐ RAID メンテナンス機能を実行する] を選択して、[設定] をクリックするとすぐに実行できます。
開始時刻：
RAID メンテナンス機能を開始する時刻 (0 〜 23 時) を選択します。
※ RAID メンテナンス機能実行を中止したいときは、[RAID メンテナンス機能の中断] をクリックしてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>障害発生時のシャットダウン</td>
<td>RAID アレイにエラーが発生したとき、データを保護するため自動的にシャットダウンします (RAID1、5、10 で使用しているときのみの機能で す。通常モード、RAID0 では機能しません)。初期設定では、「行う」に設定されています。
※ RAID0、通常モードでは機能しません。</td>
</tr>
<tr>
<td>USB ディスク設定</td>
<td>割り当て USB ディスク</td>
<td>USB ディスク設定画面で、［USB ディスク］の名称をクリックする表示されます。
USB コネクタに接続しているハードディスクの詳細情報を表示します。
TeraStation の USB コネクタにハードディスクを取り付けると自動的に割り当てられます（最大 2 つまで）。
3 種類以上のハードディスクを取り扱いたいときは、使用しない USB ディスクの［USB ディスクの割当て解除］をクリックしてください。
［USB ディスクのフォーマット］をクリックするとフォーマット画面が表示されます。

<table>
<tr><td>状態</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>接続されていません</td><td>割当て済みの USB ハードディスクが接続されていない状態です。</td></tr>
<tr><td>割当てられていません</td><td>新しい USB ハードディスクの割当てができる状態です。</td></tr>
</table></td>
</tr>
</table>

ディスク チェック	ディ スクチェック	TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクをチェックします。使用している容量によってチェックに必要な時間は異なります（数十分間〜数十時間）。 ※バックアップを設定しているときは、ディスクチェックは実行できません。 ※ディスクチェック中はファイル共有サービスが停止します。 Mac OS から接続中に、停電など正常な手段で接続が解除できなかった場合、Mac OS が作成するデータベース等が破損し、接続できなくなることがあります。このようなときは［Mac OS の固有情報を削除］を選択し、ディスクチェックを実行してください。下記のファイルが全て（サブディレクトリ含む）を削除され、接続できるようになることがあります。 ・.AppleDB ・.AppleDesktop ・.AppleDouble ・TheVolumeSettingsFolder ・Network Trash Folder ※ディスクチェックを実行する前に本 TeraStation が他の TeraStation のバックアップデバイスとして設定されていないことを確認して下さい。バックアップデバイスとして設定されている場合はディスクチェックを実行しないで下さい。

<table>
<tr>
<td>フォーマット</td>
<td>フォーマット</td>
<td>TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクをフォーマットします。
フォーマットを実行すると、データは全て消去されます。大切 なデータを失うことのないようご注意ください。ハードディスクの容量によってフォーマットに必要な時間は異なります（数分間）。
※バックアップを設定しているときは、フォーマットは実行できません。
※下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画面が表示されます。
・RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除)
・共有フォルダの削除
・TeraStation の初期化
・TeraStation のディスク消去
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、［設定］をクリックします。

警告：
フォーマットを実行する前に本 TeraStation が他の TeraStation のバックアップデバイスとして設定されていないことを確認して下さい。バックアップデバイスとして設定されている場合はフォーマットを実行しないで下さい。またフォーマットを実行すると、保存されているデータも消去されます。フォーマットを実行する前にバックアップデータの有無を必ず確認して下さい。

※フォーマット形式について
以下の形式でフォーマットすることができます。
<table>
<tr><td>フォーマット形式</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>FAT32</td><td>ハードディスクをパソコンに接続しなおしてデータを確認したい場合におすすめします。
TeraStation が故障しても、Windows パソコンに接続して使用することができます。
・読取専用（バックアップ時のみ書込可能）。
・1 ファイル 4GB 以上のデータはコピー、バックアップできません。
・「：」など Mac OS X で使用する一部の文字が使用できません。</td></tr>
<tr><td>EXT3</td><td>TeraStation/LinkStation に接続しなおして使用することがある場合におすすめします。
・読取 / 書込どちらもできます。
・ジャーナリングファイルシステム対応。
・TeraStation に接続しても使用可能。
・フォーマットに時間がかかります（数分〜 10 分）。
・フォーマット後に使用できる容量が XFS に比べて少ない。
・1 つのフォルダにファイルの数が多くなるほどアクセスが遅くなります。
※パソコンに直接接続しても読み出しできません。</td></tr>
<tr><td>XFS</td><td>TeraStation/LinkStation で増設したハードディスクを使用する場合におすすめします。
・読取 / 書込どちらもできます。
・ジャーナリングファイルシステム対応。
・フォーマット後に使用できる容量が EXT3 に比べて多い。
・1 つのフォルダにファイルの数が多くなってもアクセスが遅くならない。
TeraStation、LS-GL 以降の LinkStation シリーズ専用（LS-GL シリーズより前の LinkStation で使用不可）
※パソコンに直接接続しても読み出しできません。</td></tr>
<tr><td>NTFS</td><td>TeraStation の設定画面ではフォーマットできません。読取専用です。Windows Vista/XP/2000 に接続して使用することができます。
・読取専用（バックアップ時も書込不可）
・TeraStation の仕様により、ファイル名フォルダ名に使用されている日本語（2 バイト文字）は全て文字化けします。</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><td>ディスク消去</td><td>ディスク消去</td><td>［ディスク消去を開始］をクリックすると、TeraStation のハードディスク内のデータを完全に消去します。
※消去したデータを復旧することはできません。
※消去実行中は TeraStation の設定を変更することはできません。
※下記の処理を行うとき、誤操作に よるトラブルを防ぐために、通信の確認画 面が表示されます。
・RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除)
・共有フォルダの削除
・TeraStation の初期化
・TeraStation のディスク消去
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、［設定］をクリックします。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">共有フォルダ管理画面</th></tr>
<tr><td rowspan="2">共有フォルダ設定</td><td>共有フォルダ設定</td><td>［共有フォルダの追加］をクリックすると新規共有フォルダ追加画面になります。
共有フォルダ名をクリックすると共有フォルダ情報編集画面になります。
共有フォルダを選択して［共有フォルダの削除］をクリックすると共有フォルダを削除します。
※下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画面が表示されます。
・RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除)
・共有フォルダの削除
・TeraStation の初期化
・TeraStation のディスク消去
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、［設定］をクリックします。</td></tr>
<tr><td>ゴミ箱を空にする</td><td>[全ての共有フォルダ内のゴミ箱を空にする] をクリックすると、全ての共有フォルダ内のゴミ箱フォルダ (trashbox) にあるファイルを一括で削除します。
※使用状況によって削除が完了するまでの時間がかかることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">共有フォルダの追加
※共有フォルダ設定画面で［共有フォルダの追加］をクリックすると表示されます。</td><td>共有フォルダ名</td><td>共有フォルダの名称入力します。
※半角英数 12 文字（全角 6 文字）まで入力できます。
※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用できます。
※先頭文字に数字や記号を使用することはできません。</td></tr>
<tr><td>共有フォルダの説明</td><td>共有フォルダの説明を入力します。
※半角英数 50 文字（全角 25 文字) まで入力できます。
※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、半角 スペースが使用できます。</td></tr>
<tr><td>ディスク領域</td><td>共有フォルダを作成するハードディスク領域を選択します。</td></tr>
<tr><td>公開先</td><td>共有フォルダの公開先を選択します。<table><tr><th>公開先</th><th>説明</th></tr><tr><td>Win/MacOS(SMB)</td><td>割当て済みの USB ハードディスクが接続されていない状態です。</td></tr><tr><td>MacOS(AFP)</td><td>MacOS からの Appletalk（AFP）での接続の可否 を設定できます。</td></tr><tr><td>FTP</td><td>FTP 接続時操作できるフォルダの可否を設定できます。
※あらかじめ［共有フォルダ管理］－［共有サービス設定］－［FTP 機能］にて［使用する］の設定が必要です。</td></tr><tr><td>バックアップ</td><td>バックアップ先として使用の可否を設定できます。</td></tr></table>※［Win/MacOS(SMB)］、［MacOS(AFP)］、［FTP］のチェックをはずし、［バックアップ］にのみチェックを入れると、バックアップ元を設定した TeraStation からしか見えなくなり、バックアップ時のセキュリティが高くなります（逆にバックアップ先のフォルダを Windows パソコンから見たい場合は［Win/MacOS(SMB)］にチェックを入れないと読み出すことができません）。</td></tr>
</table>

	共有フォルダ属性	共有フォルダを読取専用にするか書込可能にするか選択します。 ※隠し共有 (SMB のみ) を選択した場合、設定した共有フォルダは見えなくなります。 ※公開先 [MacOS(AFP)][FTP] のチェックボックスにチェックマークが表示されていると、[隠し共有] は選択できません。 ※隠し共有にした共有フォルダを開くには、[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、名前に　¥¥TeraStation 名 ¥ 共有フォルダ名 $¥　と入力してください。 例：TeraStation 名 =TS-HTGL001、 共 有 フ ォ ル ダ 名 =share の 場 合、 ¥¥TS-HTGL001¥share$¥　となります。
	ゴミ箱機能	設定された共有フォルダ、usbdisk の中のファイルを削除すると、共有フォルダ内に［trashbox］フォルダが自動作成され、ファイルは移動されます。 ※［trashbox］にはディレクトリ情報が保持されたまま移動されます。 ※［trashbox］フォルダは、TeraStation の共有フォルダ、usbdisk1、usbdisk2 にそれぞれ一つずつ設定ができます。 ※ usbdisk1、usbdisk2 においてゴミ箱機能を使用するためには、TeraStation 独自フォーマット（EXT3）、TeraStation 独自フォーマット（XFS）である必要があります（NTFS、FAT32 フォーマットの場合は、ファイル削除ができないため）。 ※ AFP 接続（Appletalk 通信）時は使用できません。 ※ FTP 接続時は使用できません。
	ファイル操作ログ	ファイル操作ログを有効にするか無効にするかを選択します。 ※記録した操作ログは、TeraStation の設定画面 [メンテナンス]-[ログ情報] で保存することができます。
	バックアップ公開パスワード	ネットワーク経由で他の TeraStation から本製品にバックアップするとき、誤ってバックアップ先に選択されないようパスワードを設定することがで きます。 ※半角英数字とハイフン（-)、アンダーバー（_）を 8 文字まで設定が可能です。 ※ 1 文字目にハイフン（-）を使用することはできません。
	オフラインファイル	オフラインファイル機能を設定します。 [オフラインファイル 無効] オフラインファイル機能を使用しません。 [ドキュメントの手動キャッシュ] オフライン機能を使用します。オフラインで使用するファイルを自分で選択する必要があります。 [ドキュメントの自動キャッシュ] オフライン機能を使用します。開いたファイルをローカルにキャッシュしてオフラインで使用できるにします。以前のファイルで同期が取れていないものは自動的に削除され、新しいものに置き換えられます。 [プログラムとドキュメントの自動キャッシュ] オフライン機能を使用します。開いたファイルをローカルにキャッシュしてオフラインで使用できるにします。以前のファイルやネットワークから実行されるアプリケーションで同期が取れていないものは自動的に削除され、新しいものに置き換えられます。
アクセス制限 共有フォルダ設定画面で［共有フォルダの追加］をクリックすると表示されます。	アクセス制限機能	アクセス制限機能を使用するかしないか選択します。 ［全グループ / ユーザ］のグループ名、ユーザ名を選択して［←］をクリックすると、［読取専用］、［読取 / 書込可能］に移動させることができます。 ・同一ユーザにおいて「ユーザ単位」と「グループ単位」のそれぞれのアクセス制限を使用し、「書込可能」「読取専用」の両設定がされた場合は、「読取専用」にて動作します。 例 1） userA が groupG に所属している場合、 userA：読取専用、groupG：書込可能　の場合、userA は読取専用になります。 userA：書込可能、groupG：読取専用　の場合、userA は読取専用になります。 例 2） userA が groupG、groupH に所属している場合、 groupG：書込可能、groupH：読取専用　の場合、userA は読取専用になります。 groupG：読取専用、groupH：書込可能　の場合、userA は読取専用になります。 ・FAT16/32 でフォーマットされた USB ハードディスクは、バックアップ時のみ書込可能。共有フォルダ公開時は読取専用になります。 ・共有フォルダに共有フォルダ属性を設定し、さらに各ユーザ / グループ毎にアクセス制限を設定した場合、共有フォルダに設定した共有フォルダ属性が優先されます。 ※ Macintosh 使用時、FTP ユーザ接続時は、ユーザ単位のアクセス制限のみ設定が可能です。

共有サービス設定	AppleTalk 機能	［使用する］［使用しない］を選択します。 ※「使用しない」に設定すると、共有フォルダ設定の公開先において［Macintosh］を追加しても Macintosh から AFP 接続できなくなります。
	FTP 機能	［使用する］［使用しない］を選択します。 ※「使用しない」設定すると、共有フォルダ設定の公開先において［FTP］を追加しても FTP 接続できなくなります。
DFS 設定	DFS 機能	Distributed File System(DFS) 機能を使用するかを選択します。
	DFS ルートに DFS リンクを設定する	DFS ルートに DFS リンクを設定するかを選択します。 DFS ルートに DFS リンクを設定することで、DFS ルートが通常の共有フォルダのように表示 / 操作することができます。
DFS 情報の編集	DFS ルートフォルダ名称	DFS ルートフォルダの SMB 上での表示名称を入力します。 ※既に登録済みの共有フォルダ名は使用できません。 ※半角英数 12 文字（全角 6 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用できます。 ※先頭文字に数字や記号を使用することはできません。
	DFS リンク先	リンク先共有フォルダの UNC を入力します。 SMB による名前解決が可能である環境の場合、ホスト名を用いた UNC を利用することができますが、名前解決ができない場合は IP アドレスを用いた UNC を入力する必要があります。

グループ管理画面		
グループ設定	グループ設定	グループ名とグループの説明を表示します。 ［グループの追加］をクリックすると新規グループ追加画面になります。 グループ名をクリックするとグループ情報編集画面になります。 グループを選択して［グループの削除］をクリックするとグループを削除します。
グループの追加 グループ設定画面で［グループの追加］をクリックすると表示されます。	グループ名	グループの名称を入力します。 ※半角英数 12 文字まで入力できます。 ※半角英数文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ドット）が使用できます。 ※先頭文字に記号（アンダーバー除く）を使用することはできません。
	グループの説明	グループの説明を入力します。 ※半角英数 50 文字（全角 25 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、半角スペースが使用できます。 ※先頭文字に半角スペースを使用することはできません。
グループに参加するユーザ	ユーザ名	グループに所属させるユーザの名称を選択します。 ※ドメインコントローラより取得したドメインユーザはグループに所属させることはできません。
	ユーザの説明	グループに所属させるユーザの説明を表示します。
ドメイングループ一覧	ドメイングループ一覧	ドメインで参加している場合に、ドメインのグループの一覧を表示します。

ユーザ管理画面		
ローカルユーザー覧	ローカルユーザー覧	ユーザ名とユーザの説明を表示します。 ［ローカルユーザの追加］をクリックすると新規ユーザ追加画面になります。 ユーザ名をクリックするとユーザ編集画面になります。ローカルユーザを選択して［ローカルユーザの削除］をクリックするとユーザを削除します。 認証設定で［外部の SMB サーバに認証を委任する］［ユーザの自動登録を有効にする］を選択していた場合に、［ローカルユーザを外部認証ユーザへ変換する］をクリックすると、TeraStation で登録したユーザを外部の SMB サーバの認証ユーザに変換することができます。 ※出荷時設定では、［admin］、［guest］が設けられています。編集・削除はできません。 ※ドメインでネットワークに参加しているときは、上記画面に［ドメインユーザー覧］が追加表示されます。
ローカルユーザの追加 ローカルユーザー覧画面で［ローカルユーザの追加］をクリックすると表示されます。	ユーザ名	TeraStation のアクセスに必要なパスワードを入力します。 ※半角英数 20 文字まで入力できます。 ※半角英数文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用できます。 ※先頭文字に記号（アンダーバー除く）を使用することはできません。 ※ TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。MacOS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。
	パスワード（20 文字以内）	TeraStation のアクセスに必要なパスワードを入力します。 ※半角英数 20 文字まで入力できます。 ※半角英数文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）が使用できます。 ※先頭文字に記号（アンダーバー除く）を使用することはできません。 ※ TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。MacOS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。
	確認用パスワード	確認のため再度入力します。
	ユーザの説明	ユーザの説明を入力します。 ※半角英数 50 文字（全角 25 文字）まで入力できます。 ※半角英数文字、全角文字、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、半角ス ペースを使用できます。 ※先頭文字に半角スペースを使用する ことはできません。 ※追加したユーザは自動的に［hdusers］グループに所属します。所属 を他のグループに変更したいときは、ユーザグループ設定から行ってください。
外部認証ユーザー覧	外部認証ユーザー覧	［ネットワーク］－［ワークグループ設定］－［認証設定］で［外部の SMB サーバに認証を委任する］［ユーザの自動登録を有効にする］が選択され、ユーザが自動登録されているときは自動登録されたユーザが一覧で表示されます。 ユーザを選択し、［外部認証ユーザの削除］をクリックすると、自動登録されたユーザを削除することができます。
ドメインユーザー覧	ドメインユーザー覧	［ネットワーク］－［ワークグループ設定］－［ワークグループ・ドメイン設定］にて［ドメイン］が選択され、ドメインコントローラより自動取得したドメインユーザが一覧で表示されます。

バックアップ設定画面

バックアップ設定 ／ バックアップ設定

バックアップタスクが 8 個用意されています。バックアップタイマー設定を最大 8 個設定することができます。タスク番号をクリックするとバックアップ設定画面が表示されます。
TeraStation に保存されているデータを、時間設定して自動的に USB 外付けディスク、又は別の TeraStation にバックアップします。
※バックアップ機能を USB ディスクに対し使用する場合、USB ディスクのフォーマット形式は FAT32、XFS、EXT3 である必要があります（USB ハードディスクのフォーマット形式は TeraStation 設定画面［ディスク管理］－［ディスク情報］に表示されています）。
※ USB ディスクのフォーマット形式が FAT32 の場合、バックアップ可能な最大ファイルサイズは 4GB となります。バックアップ時以外は、書き込むことができません。
※バックアップ実行中は TeraStation に接続されている LAN ケーブルや、USB ディスクの取り外しは絶対に行わないでください。
※バックアップ実行中に TeraStation の初期化、フォーマット、ディスクチェック、バックアップ設定、及び共有フォルダ・ユーザグループ・ユーザの追加・編集・削除を行わないでください。行った場合、エラー終了します。
※スケジュールバックアップ（毎日 / 毎週）でエラーが発生した場合、以降エラーの発生したバックアップタスクは実行されません。エラーの発生したバックアップタスクを再設定することで、バックアップを行うことができます。ただし、「エラー終了した場合も強制的に次回バックアップを実行する」のオプションが設定されている場合は、この限りではありません。

バックアップ先検索用パスワード ／ 検索用パスワード

ネットワーク経由で他の TeraStation の共有フォルダをバックアップ先にしたい場合に入力します。他の TeraStation で共有フォルダに設定したバックアップ検索パスワードを入力します。入力しない場合、認証用パスワードを設定した共有フォルダへのバックアップはできません。
※バックアップ元 TeraStation に入力できる「バックアップ先検索用パスワード」は一つのみです。
※「バックアップ公開用パスワード」が異なる共有フォルダを、同時にバックアップ先として設定することはできません。
※「バックアップ先検索用パスワード」を入力によるバックアップ先共有フォルダの検索は、バックアップ元以外の別の TeraStation にのみ有効です。

■設定手順

1．バックアップ先の TeraStation の設定画面にて共有フォルダのそれぞれに、「バックアップ公開用パスワード」を設定します。

2．バックアップ元 TeraStation のバックアップ設定時、バックアップ先として表示させたい共有フォルダに設定した「バックアップ公開用パスワード」と同一のパスワードを「バックアップ先検索用パスワード」に設定します。

3．バックアップ元 TeraStation にて、バックアップ設定を行います。
バックアップ先共有フォルダは以下より選択することができます。※
・バックアップ元 TeraStation 内の共有フォルダ
・バックアップ元 TeraStation に接続されている USB ハードディスク
・バックアップ先 TeraStation 内の「バックアップ公開用パスワード」が設定されていない共有フォルダ
・バックアップ先 TeraStation 内の「バックアップ公開用パスワード」が「バックアップ先検索用パスワード」と一致している共有フォルダ
※共有フォルダ設定時に公開先として「バックアップ」が有効になっている必要があります。

■設定例
バックアップ先 TeraStation の設定

共有フォルダ名	share1	share2	share_free
バックアップ公 開用パスワード	111	222	なし

■設定例
バックアップ元 TeraStation の設定

バックアップ元 TeraStation の「バックアップ先検索用パスワード」に「111」と設定した場合に表示されるバックアップ先共有フォルダ	表示	非表示	表示
バックアップ元 TeraStation の「バックアッ プ先検索用パスワード」に「222」と設定した場合に表示されるバックアップ先共有フォルダ	非表示	表示	表示
パスワードを入れない場合に表示されるバックアップ先共有フォルダ	非表示	非表示	表示

<table>
<tr><td rowspan="4">バックアップタスク編集
バックアップ設定画面でタスク番号をクリックすると表示されます。</td><td>タスク番号</td><td>バックアップ設定画面に表示されているタスク番号です。</td></tr>
<tr><td>バックアップ実行スケジュール</td><td>[未実行][今すぐ実行][毎日][毎週] からバックアップするスケジュールを選択します。</td></tr>
<tr><td>バックアップ実行日</td><td>バックアップを実行する曜日を選択します。</td></tr>
<tr><td>バックアップ動作モード</td><td>バックアップ動作モードを下記から選択します。
・通常バックアップ
・上書きバックアップ（完全 / 増分バックアップ）
・上書きバックアップ（完全 / 差分バックアップ）
・上書きバックアップ（増分バックアップ）
・上書きバックアップ（差分バックアップ）
※「上書きバックアップ（差分）」を使用した場合、コピー元に存在しないコピー先のファイルは削除確認画面もなく削除されます。必要なデータを消失しないようご注意ください。
※通常バックアップ以外の動作モードはデータをバックアップ先に全て上書きします。必要なデータを消失しないようご注意ください。
※バックアップ実行中に、バックアップ元フォルダ内のファイルを操作（ファイル名の変更 / 削除など）しないでください。操作するとバックアップがエラー終了することがあります。
それぞれの動作モードでの動 作の内容は下記の表の通りです。
バックアップオプションで［バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する］を選択したかで動作は大きく異なります。
※バックアップ先フォルダを「/target」とした場合の例で説明しています。
・USB ハードディスクにバックアップした場合、下記の「target」は「usbdisk*」と表示されます。
* には 1 〜 2 の数字が入ります。
・TeraStation にバックアップした場合、下記の「target」はバックアップ先共有フォルダ名が表示されます。
・バックアップログはバックアップ元フォルダ内に以下の名前で作成されます。
backuplog（バックアップタスク番号）_（バックアップ開始時刻）.txt
例　2004 年 3 月 27 日 19 時 55 分の場合、”backuplog1_200403271955.txt” が作成されます。
※バックアップモードが、『上書き（差分）』、『上書き（完全 / 差分）』設定時、バックアップの設定内容によってはバックアップ先のデータを削除する場合があります。
<table>
<tr><td colspan="4">■通常
（毎回全てのファイルをバックアップを上書きしないでコピーする）</td></tr>
<tr><td>バックアップ元が識別可能なフォルダ</td><td>バックアップ元フォルダ</td><td>バックアップ先フォルダ・結果</td><td>備考</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作成する（強制）</td><td>/share</td><td>/target/（日時）*1/share</td><td></td></tr>
<tr><td>/share/folder</td><td>/target/（日時）*1/share/folder</td><td></td></tr>
</table>
<table>
<tr><td colspan="4">■上書き（完全 / 増分）
（バックアップ実行時に毎回全てのファイルを上書きコピーする）</td></tr>
<tr><td>バックアップ元が識別可能なフォルダ</td><td>バックアップ元フォルダ</td><td>バックアップ先フォルダ・結果</td><td>備考</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作成する</td><td>/share</td><td>/target/_backups/share</td><td></td></tr>
<tr><td>/share</td><td>/target/_backups/share/folder</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">作成しない</td><td>/share</td><td>/target</td><td></td></tr>
<tr><td>/share/folder</td><td>/target/folder</td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

■上書き（完全 / 差分）
（バックアップ実行時に毎回全てのファイルを上書きコピーする）
※バックアップ先にのみ存在するファイル / フォルダは 削除されます。

バックアップ元が識別可能なフォルダ	バックアップ元フォルダ	バックアップ先フォルダ・結果	備考
作成する	/share	/target/_backups/share	
	/share/folder	/target/_backups/share/folder	*3
作成しない	/share	/target	
	/share/folder	/target/folder	*3

■上書き（増分）
（ファイルサイズ / タイムスタンプ *2 に変化のあるファイルのみ上書きコピーする）

バックアップ元が識別可能なフォルダ	バックアップ元フォルダ	バックアップ先フォルダ・結果	備考
作成する	/share	/target/_backups/share	
	/share/folder	/target/_backups/share/folder	
作成しない	/share	/target	
	/share/folder	/target/folder	

■上書き（差分）
（ファイルサイズ / タイムスタンプ *2 に変化のあるファイルのみ上書きコピーする）
※バックアップ先にのみ存在するファイル / フォルダは 削除されます。

バックアップ元が識別可能なフォルダ	バックアップ元フォルダ	バックアップ先フォルダ・結果	備考
作成する	/share	/target/_backups/share	
	/share	/target/_backups/share/folder	*3
作成しない	/share	/target	
	/share/folder	/target/folder	*3

*1　日時には、バックアップ開始時刻を、yyyymmddhhmm 形式で作成 されます。
例　2004 年 3 月 27 日 19 時 55 分の場合、フォルダ名は "200403271955"
と表示されます。
*2　ここでの「タイムスタンプ」とは Windows、Macintosh から確認が できる時刻情報ではなく、TeraStation が管理している時刻情報です。
*3　バックアップフォルダより上の共有フォルダ内でのファイルの差異が合った場合は、ファイル削除されることはありません。

	バックアップオプション	［バックアップ元が識別可能なフォルダを作成する］ バックアップ動作モードで選択した項目によって動作が大きく異なります。動作モードに記載の表をご参照ください。 ［暗号化転送を使用する］ バックアップする際データを暗号化して転送するかしないか選択します。 ※暗号化を有効にするとスループットが低下します。 ※バックアップ先が USB ハードディスクの場合、選択しないでください。 ［圧縮転送を使用する］ バックアップする際データを圧縮してから転送するかしないか選択します。 ※ネットワーク経由でバックアップをするときに、ネットワーク帯域がせまい場合に、圧縮転送すると転送速度が向上することがあります（データを 1 つのアーカイブにしてバックアップするわけではありません）。 ※バックアップ先が USB ハードディスクの場合、選択しないでください。 [ゴミ箱 (trashbox フォルダ) をバックアップしない] バックアップ対象からごみ箱フォルダ (trashbox) を除外してバックアップします。 ［バックアップログファイルを作成する］ バックアップのログファイルを作成します。 ［エラー終了した場合も強制的に次回バックアップを実行する］ エラー終了していても、次回のバックアップを実行します。

バックアップタスク対象フォルダ バックアップ設定画面でタスク番号をクリックすると表示されます。	バックアップ対象フォルダ	バックアップ元とバックアップ先の共有フォルダを選択し［バックアップ対象の追加］をクリックします。 バックアップ先共有フォルダは、以下のフォルダを選択することができます。 ・［TeraStation 一覧］で表示される TeraStation の共有フォルダ ・バックアップ元 TeraStation に接続されている usbdisk1、usbdisk2 ※フォルダ名に半角カタカナを含むフォルダをバックアップ元フォルダとして指定しないでください。含まれる場合、バックアップはエラー終了します。
TeraStation 一覧	Tera/LinkStation 一覧	ネットワーク上にある TeraStation/LinkStation（※）の一覧を表示します。 ［更新］をクリックすると一覧を最新の情報に更新します。 各 TeraStation/LinkStation の IP アドレスをクリックすると、WEB 設定画面を表示させることができます。 ※注意：ネットワーク経由のバックアップに対応した TeraStation のみ表示されます。
検索対象アドレス	Tera/LinkStation 手動検索対象	一覧に表示されない TeraStation/LinkStation（※）があった場合、または異なるネットワークにある TeraStation/LinkStation（※）を追加する場合は、TeraStation/LinkStation（※）の IP アドレスを入力し、［検索対象の追加］をクリックします。追加した TeraStation/LinkStation（※）を選択し［検索対象 IP アドレスの削除］をクリックすると、登録を削除できます。 ※注意：ネットワーク経由のバックアップに対応した TeraStation のみ登録することが可能です。

メンテナンス画面		
メール通知設定	メール通知機能	メール通知機能を使用するか選択します。メール通知機能で次の内容を送信します。 ※メールサーバが【POP before SMTP（メールの送信前に指定した POP サーバにて認証を行うことによって、SMTP サーバの使用許可を与える方式)】の設定がされている場合は、本機能を使用することができません。
	SMTP サーバ アドレス	SMTP サーバアドレス（メールサーバアドレス）を入力します。
	SMTP ポート番号	SMTP ポート番号を入力します。 ※指定のない場合は標準のポート番号(25)が使用されます。また、ユーザ認証方式を「使用しない」や「pop before smtp」に設定した場合は、この欄に入力した番号にかかわらず、標準のポート番号（25）が使用されます。
	POP3 サーバアドレス	POP3 サーバアドレスを入力します (pop before smtp 設定時のみ)。
	POP3 ポート番号	POP3 ポート番号を入力します。 ※指定のない場合は、標準ポート (110) が使用されます。
	ユーザ認証方式	ユーザ認証方式（使用しない /pop before smtp/login（SMTP-AUTH）/cram-md5（SMTP-AUTH)）を選択します。
	ユーザ名	認証で使用するユーザ名を入力します。
	パスワード	認証で使用するパスワードを入力します。
	SSL/TLS	保護された接続を使用する場合、その方式（SSL/TLS）を選択します。
	通知メール件名	送信するメールの件名を指定します。［デフォルトに戻す］をクリックすると件名が「TeraStation Status Report」となります。 ※半角文字にしてください。全角文字を使うと文字化けすることがあります。
	送信先メールアドレス 1 ～ 5	送信先メールアドレスを入力します。 ※最大 5 つのメールアドレスを送信先として登録できます。
	送信条件設定	メール通知で送信する内容を選択します。 ・HDD 状態定期報告 ［HDD 状態送信時刻］で設定した時刻に TeraStation のハードディスク状態を送信します。 ・システム通知 システムの起動、シャットダウン時に送信します。 ・ディスクに異常が発生した時 TeraStation のハードディスクに異常が発生した時に送信します。 ・ファンに異常が発生した時 TeraStation のファンに異常が発生した時に送信します。 ・ バックアップが完了した時 TeraStation のバックアップが完了した時に送信します。
	HDD 状態送信時刻	ハードディスクの状態を定期的に送信する際、送信する時刻を設定します。
	テストメール送信	送信先メールアドレスにテストメールを送信します。

UPS 連動機能設定	UPS 連動機能	停電などの影響によって UPS がバッテリ駆動状態になった際、TeraStation を自動的にシャットダウンさせる機能です。 UPS 連動機能を使用するときは［使用する］を選択します。 ※本設定は、必ず USB ケーブルで UPS と TeraStation を接続後に行ってください。
	UPS 接続方式	UPS の接続方式を選択します。 ※［USB 接続 /APC 製 (またはオムロン製)］は、APC 製 USB 接続 UPS を接続している状態でしか設定できません。
	電源異常時の TeraStation シャットダウン条件	電源異常が何秒続いたらシャットダウンするかを設定できます。 または、UPS から "Battery Low" を検出した場合にシャットダウンするよう設定することもできます。 ※ Battery Low によるシャットダウンは USB 接続 UPS 使用時のみ利用できます。
	TeraStation シャットダウン後の UPS 動作	電源異常が何秒続いたらシャットダウンするかを設定できます。 または、UPS から "Battery Low" を検出した場合にシャットダウンするよう設定することもできます。 ※ Battery Low によるシャットダウンは USB 接続 UPS 使用時のみ利用できます。
	UPS リカバー機能	UPS への AC 電源供給復旧後、自動的に TeraStation を再起動します。
警告音設定	警告音条件設定	［温度が超過した時］、［ディスクに異常が発生した時］、［ファンに異常が発生した時］、［UPS 電源異常を検知した時］から警告音を鳴らす条件を選択します。
表示パネル設定	LCD 表示項目設定	TeraStation 前面の液晶ディスプレイ表示させる項目を [ホスト名]、[HDD 使用量]、[ディスクモード]、[時刻] から選択します。
	LCD 表示自動切替	液晶ディスプレイに表示させている項目を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
	LCD バックライト設定	液晶ディスプレイのバックライトの明るさを 5 段階調整します。
	LED 輝度設定（通常時）	TeraStation 前面の LED ランプの明るさを 5 段階調整します。
	LED 輝度時刻連動設定	LED の輝度を時刻と連動して可変させる機能を使用するか選択します。例えば、昼間と夜間で別の輝度に設定することができます。
	LED 輝度設定（減光時）	LED の輝度を時刻と連動して可変させる機能を使用するか選択します。例えば、昼間と夜間で別の輝度に設定することができます。
	LED 輝度通常時刻	LED 輝度を通常設定に戻す時刻（0 ～ 23 時）を設定します。1 時間刻みの 00 分ジャストに設定できます。
	LED 輝度減光時刻	LED 輝度を減光設定にする時刻（0 ～ 23 時）を設定します。1 時間刻みの 00 分ジャストに設定できます。
シャットダウン	TeraStation のシャットダウン	［シャットダウン実行］をクリックして TeraStation の電源を切ることができます。 ・設定画面から TeraStation の電源を ON にすることはできません。電源を ON にするときは、TeraStation の電源スイッチを押してください。 ※データの破損を防ぐため、シャットダウン前に作業中のデータがないことを 確認してください。
	TeraStation の再起動	［再起動実行］をクリックすると TeraStation が再起動されます。 ※データの破損を防ぐため、シャットダウン前に作業中のデータがないことを確認してください。
初期化	本体初期化スイッチ設定	前面扉内部にある初期化スイッチを押した際に、TeraStation 管理者のパスワードを初期化するか選択します。 ※［初期化しない］を選択した場合、パスワードを忘れると TeraStation の設定ができなくなります。必ずパスワードは忘れないように書き留めておいてください。
	TeraStation の初期化を実行	［初期化を実行］をクリックすると、次の設定が初期化されます。 TeraStation 名、説明、NTP 設定、ワークグループ設定、共有サービス設定、共有フォルダのアクセス制限、ユーザ設定、ユーザグループ設定、メール通知機能設定、UPS 連動機能設定、バックアップ設定、管理者パスワード ※下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画が表示されます。 ・RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除) ・共有フォルダの削除 ・TeraStation の初期化 ・TeraStation のディスク消去 60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、［設定］をクリックします。

システム状態画面		
システム情報	TeraStation 名称	ネットワーク上で TeraStation を認識する名前です。 ※ネットワーク上で TeraStation を識別する名前です。初期設定では、TS-HTGLxxx、または TS-RHTGLxxx（xxx は MAC アドレスの下位 3 桁）で設定されています。
TeraStation 説明	TeraStation 説明	ネットワーク上の TeraStation の名称を説明です。Windows でのみ表示されます。Macintosh では表示されません。
	モデル名	TeraStation のモデル名 (型番) を表示します。
	ファームウェアバージョン	TeraStation の動作を制御しているプログラムのバージョンです。
	現在時刻	現在時刻を表示します。
	タイムゾーン	設定されているタイムゾーンを表示します。
	Windows ワークグループ・ドメイン	Windows で TeraStation を所属させたときのグループ名です。 ※ Microsoft ネットワークドメイン設定時は表示されません。
	AppleTalk 機能	AppleTalk 機能の使用する / しないを表示します。 ※ネットワーク上にゾーンが設定されていない場合は表示されません。
	AppleShare ゾーン名	Macintosh で TeraStation を所属させるゾーン名です。
	FTP サーバ機能	TeraStation の FTP サーバ機能の使用する / しないを表示します。
	NTP 機能	ネットワークを通じて時刻を自動修正する NTP 機能の使用する / しないを表示します。
	E メール通知	E メール通知機能を使用する / しないを表示します。
	ファン状態	ファンの状態を表示します。
USB 情報	USB 情報	USB コネクタに接続した機器の情報を表示します。
ディスク情報	RAID アレイ情報	RAID アレイの詳細情報を表示します。
	ディスク情報	ディスクの詳細情報を表示します。
	USB ディスク情報	USB コネクタに接続した機器の情報を表示します。
ネットワーク情報	MAC アドレス	TeraStation の MAC アドレスです。
	IP アドレス	TeraStation の IP アドレスです。
	サブネットマスク	TeraStation のサブネットマスクです。
	優先 DNS サーバアドレス	優先する DNS サーバの IP アドレスです。
	代替 DNS サーバアドレス	代替の DNS サーバの IP アドレスです。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスです。
	イーサネットフレームサイズ	一度に転送できる最大データサイズです。
	リンク速度	接続している LAN の規格上の通信速度です。
	受信パケット数	受信パケットの数です。
	受信パケットエラー数	受信パケットエラーの数です。
	送信パケット数	送信パケットの数です。
	送信パケットエラー数	送信パケットエラーの数です。
ログ情報	ログの種類	[システムログ] [ファイル操作ログ (SMB)] [ファイル操作ログ (FTP)] からログの種類を選択し、[保存] をクリックすると選択したログファイルを指定する場所に保存します。

ログアウト
TeraStation の設定画面からログアウトします。

設定事例

新たにバックアップ用に購入した 2 台目の TeraStation(B) に、TeraStation(A) のデータのバックアップをする

1 P50 の手順でバックアップ先 TeraStation(B) 設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3

バックアップ先にしたい共有フォルダをクリックします。

4

① [バックアップ] をクリックしチェックマークを表示させせます。

② バックアップ先フォルダとして使用するために任意のパスワードを入力します。

5 画面の一番下の [設定] をクリックします。

以上でバックアップ先 TeraStation(B) の設定は完了です。

6 P50 の手順でバックアップ先 TeraStation(B) 設定画面を表示します。

7 [バックアップ]-[バックアップ設定] をクリックします。

※ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

8

手順 4 で入力したパスワードを入力し、[設定] をクリックします。

次のページへ続く

9

[タスク 1] をクリックします。

10

バックアップ元 TeraStation(A) とバックアップ先 TeraStation(B) フォルダを選択し、[バックアップ対象の追加] をクリックします。

11

① [毎週] をクリックします。

② [日曜日][0 時 00 分][上書きバックアップ (完全 / 増分バックアップ)] を選択します。

③バックアップオプションのチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。

④ [設定] をクリックします。

※ここでは、毎週日曜 0 時に上書きバックアップ (完全 / 増分) を例に説明しています。

以上で設定は完了です。

新たにバックアップ用に購入した USB 接続ハードディスクに、TeraStation のデータのバックアップをする

1 USB 接続ハードディスクを TeraStation の USB コネクタに接続します。

2 P50 の手順でバックアップ先 TeraStation(B) 設定画面を表示します。

3 [バックアップ]-[バックアップ設定] をクリックします。

※ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

4

5

バックアップ元 TeraStation とバックアップ先 USB 接続ハードディスクのフォルダを選択し、[バックアップ対象の追加] をクリックします。

6

① [毎週] をクリックします。

② [日曜日][0 時 00 分][上書きバックアップ (完全 / 増分バックアップ)] を選択します。

③バックアップオプションのチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。

④ [設定] をクリックします。

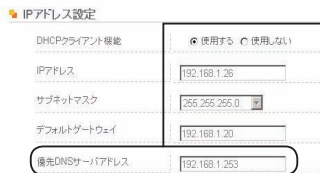
※ここでは、毎週日曜 0 時に上書きバックアップ (完全 / 増分) を例に説明しています。

以上で設定は完了です。

ActiveDirectory 環境における認証サーバ連携によるアクセス制限

ここでは以下の環境を例に説明します。

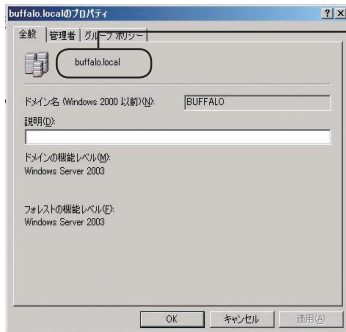
- ActiveDirectory サーバの IP アドレス　「192.168.1.253」
- ActiveDirectory のドメイン名　「buffalo.local」
- ドメイン名（NetBIOS）　「buffalo」
- TeraStation 名　「terapro」

1 ActiveDirectory ドメインへ TeraStation を参加させるために、ActiveDirectory ドメインの名前解決を行うことができる DNS サーバを TeraStation の設定画面 [ネットワーク]-[IP アドレス設定] で指定します。

※ ActiveDirectory サーバの IP アドレス

TeraStation のネットワーク設定にて、[優先 DNS サーバアドレス] は下記 DNS サーバを登録しておく必要があります。

左の画面は、認証に利用される ActiveDirectory サーバが DNS サーバを兼ねている例です。

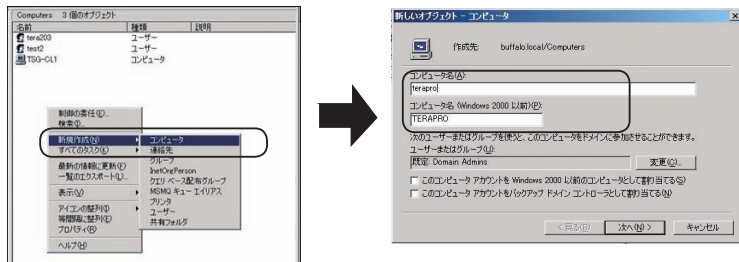
[(すべての) プログラム]-[管理ツール]-[DNS] をクリックすると DNS サーバの管理画面を表示できます。

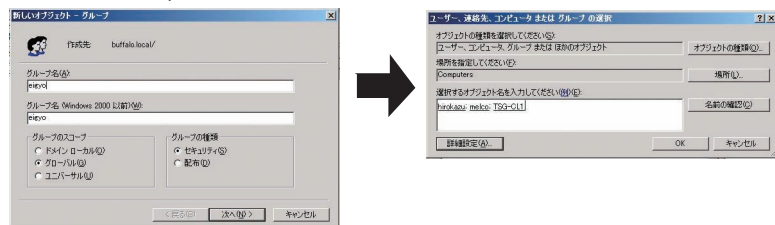
2 ActiveDirectory のドメイン名を確認します。

※ ActiveDirectory のドメイン名　「buffalo.local」（NetBIOS ドメイン名は、Windows NT などで利用される名前です。通常は、ActiveDirectory ドメイン名より（ .local、.co.jp 等）を除いたものとなります。ここでは「buffalo」となります。

※ ActiveDirectory に関する操作は、Windows のヘルプまたはマニュアルをご参照ください。

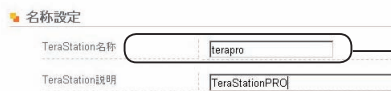
[(すべての) プログラム]-[管理ツール]-[ActiveDirectory ユーザーとコンピュータ] をクリックすると ActiveDirectory の管理画面を表示できます。ドメインを右クリックしたメニューから [プロパティ] をクリックすると上の画面が表示されます。

次のページへ続く

3 ActiveDirectory に TeraStation を登録します。

※ ActiveDirectory の管理画面で右クリックメニューから [新規作成]-[コンピュータ] をクリックすると登録画面になります。
※ここでは、「terapro」を、ドメインユーザとして登録した例を説明しています。
※ ActiveDirectory に関する操作は、Windows のヘルプまたはマニュアルをご参照ください。

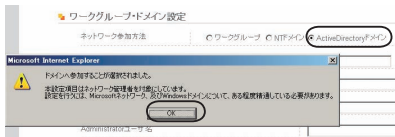
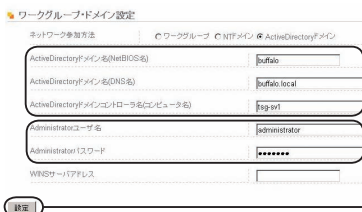
4 ActiveDirectory へグループを登録します。

※ ActiveDirectory の管理画面で右クリックメニューから [新規作成]-[グループ] をクリックすると登録画面になります。
※グループ名を入力した後、所属するメンバを登録します。
※ ActiveDirectory に関する操作は、Windows のヘルプまたはマニュアルをご参照ください。

5 P50 の手順で TeraStation 設定画面を表示します。

6 [基本] をクリックします。

TeraStation 名（ActiveDirectory へ登録したコンピュータ、ユーザ名）を入力し、[設定] をクリックします。

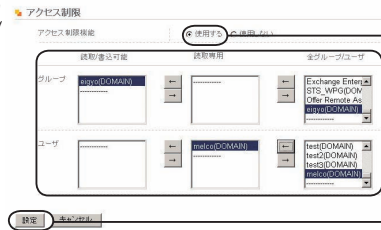
7 [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。

次のページへ続く

8 [ActiveDirectory ドメイン]-[OK] の順にクリックします。

9

設定が完了すると、ActiveDirectory サーバのユーザ情報、グループ情報が TeraStation に取り込まれています。

10 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

11 アクセス制限を設定したい共有フォルダをクリックします。

12

※画面のグループ「eigyo(DOMAIN)」は、ドメインより取得したグループです。(ActiveDirectory サーバに設定した「eigyo」) これを利用することで、既に ActiveDirectory サーバに登録されているグループを、そのままアクセス制限の設定に利用することが出来ます。

以上で設定は完了です。